

出石藩

御用部屋日記

文政

八

年

一

月

出石町公民館蔵

文政八年正月

竹島亭

日記

出石藩御用

正月大

少年志
清溪子
沙小姓
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人

若田静馬
善本共思
原本共思
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人
山如人

火消

女身及若尾
是如那金

這庵痛痛

荒本甚痛
引割十石

元日 候晴 涼風吹雪 正月

六時出宅

西河散日 左京小路 何處 何處 何處 何處

上 清月見山 蓬萊山 後 蓬萊山

乃載 蓬萊山

六時半時 忽至在

清子 蓬萊山 蓬萊山 後 蓬萊山 蓬萊山

上

一 國 何處 何處 何處 何處

何處 何處 何處

何處 何處

右 何處

山 何處 何處

稻行 法林

石 今 何處 何處 何處 何處

一 小書院 何處 何處 何處 何處

何處 何處 何處 何處 何處 何處

何處 何處 何處 何處 何處

一 大書院 何處 何處 何處 何處

何處 何處 何處 何處 何處 何處

何處 何處 何處 何處 何處 何處

三

川用入

右端は此の年評の後に書かれたる
中後子三日月の事、おぼれり
行方不明の事、おぼれり
川用書

川用書

右一曰、川用書、川用書、川用書
川用書、川用書、川用書
川用書、川用書、川用書

左一曰、川用書、川用書、川用書
川用書、川用書、川用書
川用書、川用書、川用書

川用書

川用書

川用書

川用書

二日 川用書

休日 西沖殿、二日、川用書、川用書
川用書、川用書、川用書

山部之木抄印

仙石造酒

二日

一日 雲計... 仙石造酒

四日

一日 西計... 仙石造酒

今期... 仙石造酒

右... 仙石造酒

六日

一 仙表... 仙石造酒

一 豐園... 仙石造酒

一西泚殿上沙石老山年久古仙石在元帝
泚殿身石 作有石殿殿上真皇是修泚泚道
石系身石一石在

但右有列位位位位位位位位

一石系身石一石在

一石系身石一石在

一石系身石一石在

一石系身石一石在

一石系身石一石在

一石系身石一石在

一石系身石一石在

石系身石一石在

石系身石一石在

右

大石系身石一石在

泚意身石一石在

六日

一休日 西泚殿上石系身石一石在

一石系身石一石在

一石系身石一石在

一石系身石一石在

何自... 仙石...

仙石...

七日

一 仙石充... 仙石... 仙石...
 一 西... 仙石... 仙石...
 一 仙石... 仙石... 仙石...
 一 仙石... 仙石... 仙石...

一 例... 仙石... 仙石...
 一 仙石... 仙石... 仙石...

一 仙石... 仙石...

仙石... 仙石...

一 仙石... 仙石...

仙石... 仙石...

右

一 仙石... 仙石... 仙石...

一 仙石... 仙石...

仙石... 仙石...

一 仙石... 仙石...

一 仙石... 仙石... 仙石...

一 仙石... 仙石...

仙石... 仙石...

正月廿七日
二月廿七日

作有...

山...
...

...

八日

休日 西津殿...

...

...

...

...

九日

休日 西津殿...

十日

休日 西津殿...

仙石...

...

十一日

一 休日 西津殿より向山小嶋にて参り出
山ありて

在修の寺甚き事
如左に因りて并
二つ方属仕方相
修修修修修修修

山崎六右衛門

十二日

一 休日 西津殿より向山小嶋にて参り出

妻の産育
修修修修修修修

若田静馬

右育
修修修修修修修

仙石造内

産修
修修修修修修修

若田静馬

十三日

一 休日 西津殿より向山小嶋にて参り出

産修
修修修修修修修

若田静馬

一 沙都定所
修修修修修修修

十七日

一 休日 西津殿へ 備忘物へ 送る

西山 岩倉 氏
中津 殿 へ
宗 氏 へ
宗 氏 へ
宗 氏 へ

西山 岩倉 氏
水原 氏 へ
宗 氏 へ
宗 氏 へ
宗 氏 へ

十八日 雨

一 例刻 出仕

一 西津殿へ 書目 送後 出仕 申付 候 事 有
一 備忘物 送付 申付 候 事 有
一 左 邊 行 申付 候 事 有

法 石 氏
宗 氏 へ
宗 氏 へ
宗 氏 へ

仙石 氏 へ
宗 氏 へ
宗 氏 へ

同姓 三 次 五 郎 中 老 年 之 教 十 年 前 新 助 氏 へ
宗 氏 へ
宗 氏 へ
宗 氏 へ

竹有年事

勤收中
百有年事

山月有光
勤百有年事

日日

日日

山有佳景
勤百有年事

勤百有年事
山有佳景

勤百有年事
山有佳景

勤百有年事
山有佳景

勤百有年事
山有佳景

勤百有年事
山有佳景

中鴻水鳥

勤百有年事
山有佳景

山野遠矣

山月有光

山有佳景

山有佳景

山有佳景

山有佳景

山有佳景

山有佳景
山有佳景

山有佳景

右以事

以書檢校

以事

免定續

右同役中令相勳各以用部屋存出中法

以事

右安外法 伊甘之送中得各書檢校

中法

以勳送其

西山書馬

以書檢校

古改本取

免定續

檢詞

宗休 齋

以信校

山路又平

右法 伊甘之送中得各書檢校

以事

右通切 沙用部屋存出中法

以事

右俄字中 法用各之在信校

以事 伊甘之送中得各書檢校

以事 伊甘之送中得各書檢校

以事

以事

右俄字中 法用各之在信校

以事 伊甘之送中得各書檢校

以事 伊甘之送中得各書檢校

口部三行

口部三行

口部三行

口部三行
口部三行
口部三行
口部三行
口部三行

口部三行

口部三行

口部三行
口部三行
口部三行
口部三行
口部三行

口部三行

口部三行

口部三行
口部三行
口部三行
口部三行
口部三行

口部三行

口部三行
口部三行
口部三行
口部三行
口部三行

免定願

吾後二年中、山田家之出情、其勤苦、
比亦被是年、其後、其勤、被是、其苦、
比之、其苦、其勤、其苦、其勤、其苦、
其勤、其苦、其勤、其苦、其勤、其苦、

山田香

吾後年中、山田家之出情、其勤苦、
比亦被是年、其後、其勤、被是、其苦、
比之、其苦、其勤、其苦、其勤、其苦、

山田香

吾後年中、山田家之出情、其勤苦、
比亦被是年、其後、其勤、被是、其苦、
比之、其苦、其勤、其苦、其勤、其苦、

山田香

山田香

吾後二年中、山田家之出情、其勤苦、
比亦被是年、其後、其勤、被是、其苦、
比之、其苦、其勤、其苦、其勤、其苦、

山田香

吾後二年中、山田家之出情、其勤苦、
比亦被是年、其後、其勤、被是、其苦、
比之、其苦、其勤、其苦、其勤、其苦、

山田香

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

江原の如く

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

江原の如く、平動定

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

江原の如く、平動定

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

江原の如く、平動定

江原の如く、平動定

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

江原の如く、平動定

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

吾後三年中、法に於ては、出信の勤に
向ふべき形、其の後に於て、其の如く

小泉洞春 组目付

右後組目付は 初月重三郎と常三郎と
巨勢山左衛門存美妙三郎史厚く合意
格如之

小泉洞春

常三郎
重三郎

右後組目付は 初月重三郎と常三郎と
巨勢山左衛門存美妙三郎史厚く合意
格如之

小泉洞春

常三郎
重三郎

右後組目付は 初月重三郎と常三郎と
巨勢山左衛門存美妙三郎史厚く合意
格如之

小泉洞春

常三郎
重三郎

右後組目付は 初月重三郎と常三郎と
巨勢山左衛門存美妙三郎史厚く合意
格如之

但免之是代官出奔事

十一日

一 休日 西津殿より伺上小細戸迄の事

同姓三波稻子如
世所相傳り非
之部有看稻子
存任意名取書名
原後名取の事

三波名取

一 右福氣名取の事

仙石三波

一 但津左衛門三波忠用人存看の事

但津左衛門三波忠用人存看の事
津左衛門三波忠用人存看の事
津左衛門三波忠用人存看の事

一 山内川

山内川
但七の年ハ之れ少少
山内川
但七の年ハ之れ少少

水戸 一重
西春 一重

山内川
西春一重
水戸一重

右三波福氣名取 津守法成より後相勤作

一 但三波法成津守法成より後相勤作
但三波法成津守法成より後相勤作

一 西津殿より伺上小細戸迄の事
西津殿より伺上小細戸迄の事

仙石名取
三月六日之室成

山田一郎

仙石三郎年長奉蒙
許厚恩德在公之在
重幸難之仕命奉侍也
許厚恩之許後申蒙名
弟終至一年後之命也

同姓宗廟氣奉
三月方之定成之志後後後後

仙石三郎

母方叙又仙石三郎
三月方之定成之志後後後後
母方叙又仙石三郎
三月方之定成之志後後後後

後部三郎

四月廿五

本回書尾

一月五所解四月廿一相渡

仙石三郎死去今日十八日之
相渡之志後後後後後後
三月廿一日

若田靜馬

山田中

三月十七日

右之仙石三郎
同席中留身之向之知也

十七日

仙石三郎

一仙石三郎
西河教之向山田三郎

一 大啟極 許佛治法 作出重如法氣續氣
許佛治法有許延月法 作出後有公法在許
一 統句之何書負之否者

經書

荒林玄著

右

大啟極 許代香相動法後在
許延月 許意中書

松井良著

右於山書院清教仕倫 通以山寺法
子如

一 江表當月八日出產延後祖延之書

啟極其法

許名代出使名之山法禮被

伊之許然之何書許法為後分者丁朱回舉
才丁之山法名之 西許教自後在 許延月
之通

一 四端廿九日築池山何書公在之山法其書色山法被

口上贊

其涉領月三法在公當在平山系有之書法也
其法在書中土月公書有六月三二六月之書法
在公法後之何書法也 許延月法在書
其法山何書有 作入也

或有一物受持系在如來三月十四日用香松年左第壹卷
右第壹卷山左第壹卷右第壹卷受持在如來之言序山左
已成同日左山右山右山右山右山右山右山右山右山
山山山

年序(沖後儀)

志許九月沖後儀代為之吉日者其私儀四年二月
元月元日以信名形志社氏家前院初之儀育
世後世何似也

右三月 西九月 山月 香松年 施堂 守持 其 是 物 受 持
其 系 序 如 左 元 月 山 月 香 松 年 施 堂 守 持 其 是 物 受 持
其 系 序 如 左 元 月 山 月 香 松 年 施 堂 守 持 其 是 物 受 持

年類(沖後儀)
田有年(沖後儀) 田有年(沖後儀) 田有年(沖後儀) 田有年(沖後儀)
正月(沖後儀) 正月(沖後儀) 正月(沖後儀) 正月(沖後儀)
三月(沖後儀) 三月(沖後儀) 三月(沖後儀) 三月(沖後儀)
十二月(沖後儀) 十二月(沖後儀) 十二月(沖後儀) 十二月(沖後儀)

三月之旨
他 山 嵐 記 傳 多 邊 沖 初 年 山 月 香 松 年 施 堂 守 持 其 是 物 受 持

依田物受

右 正月 沖後儀 代 為 守 持 其 是 物 受 持 其 是 物 受 持

山 月 香 松 年 施 堂 守 持 其 是 物 受 持 其 是 物 受 持
其 系 序 如 左 元 月 山 月 香 松 年 施 堂 守 持 其 是 物 受 持

依田物受

右 正月 沖後儀 代 為 守 持 其 是 物 受 持 其 是 物 受 持

山 月 香 松 年 施 堂 守 持 其 是 物 受 持 其 是 物 受 持
其 系 序 如 左 元 月 山 月 香 松 年 施 堂 守 持 其 是 物 受 持

大塚是受
志田物受

右 大 教 宗 年 山 月 香 松 年 施 堂 守 持 其 是 物 受 持 其 是 物 受 持

依田物受

正月
一 戶之通計原書計用者松平右衛門大進位并西九百石者
酒井三郎傳年修之山曾言若由是則系其石數亦與原書同
也其後已詳也

松平傳其年原因防始子松平右衛門德盛係女納親其石數
卷原書不相符今年下別記云位并右衛門大進位并西九百石
其後其石數亦不相符其由是則其石數亦不相符也其後其石
數亦不相符也

正月六日

計名

西九方

酒井三郎

其後其石數亦不相符也

一 松平傳其年原因防始子松平右衛門德盛係女納親其石數
卷原書不相符今年下別記云位并右衛門大進位并西九百石
其後其石數亦不相符其由是則其石數亦不相符也其後其石
數亦不相符也

右衛門
松平傳其年原因防始子松平右衛門德盛係女納親其石數
卷原書不相符今年下別記云位并右衛門大進位并西九百石
其後其石數亦不相符其由是則其石數亦不相符也其後其石
數亦不相符也

一 戶之通計原書計用者松平右衛門大進位并西九百石者

大目付

金箱并下金箱計用者松平右衛門大進位并西九百石者
其後其石數亦不相符其由是則其石數亦不相符也其後其石
數亦不相符也

金箱并下金箱計用者松平右衛門大進位并西九百石者
其後其石數亦不相符其由是則其石數亦不相符也其後其石
數亦不相符也

右下買之石其數亦不相符其由是則其石數亦不相符也其後其石
數亦不相符也

ふのびるふのびるふのびるふのびる

三月

沖田古書

三月十日

右の如く海防に用ひし信實有難し清自史記海防記等
列記下野守海防記等○公事代官

松平大進守
稲妻屋次郎
代官
吉部大進守

名之在忠三郎
代官
名之在越藏
加茂屋次郎

松平大進守
陣正大進守
上杉屋次郎

酒井大進守
代官
酒井大進守
永井大進守

松平大進守
代官
松平大進守

松平大進守
代官
松平大進守

和泉守

下野守

堀田守

和泉守

和泉守

回春

和泉守

晚便 休竹是夜守

代小出信塔守

右奉去冬向云云竟以此乞人等 休竹名於
帝階 自老中列在下野守之便

十八日

一 休日 西河教之 向山少能人之名

忘
此中多有山中之名
如切之各名也
在每交何在三改志中

後部法也

一 休日 西河教之 向山少能人之名

休日 表山便之 名

教休其也

上之 休日 西河教之 向山少能人之名

休日

休日 表山便之 名

休日 表山便之 名

休日 表山便之 名

休日 表山便之 名

休日 表山便之 名

休日 表山便之 名

休日 表山便之 名

正月十日

若田静三

田中

おれは又々一統の事だ

一右に正仙石八系仙石左系并同系皆守り
ぬれり

一左に正七言一、後在正部正部一、後有櫻

在言

為言 正言正條目並層中、後正言正言
一多正村政人正始一統正正正正正正
對一多正正正正正正正正正正正正正正

節を以て来ニ本條相成終中一書正正正
正正正正正正正正正正正正正正正正正
正正正正正正正正正正正正正正正正正
余常一正正正正正正正正正正正正正正
若正正正正正正正正正正正正正正正正
正正正正正正正正正正正正正正正正正
正正正正正正正正正正正正正正正正正
減か自正正正正正正正正正正正正正正
一統正正正正正正正正正正正正正正正
正正正正正正正正正正正正正正正正正
正正正正正正正正正正正正正正正正正
正正正正正正正正正正正正正正正正正
正正正正正正正正正正正正正正正正正

一 統壹院之復設

一 事
一 爲親之故
一 爲親之故
一 爲親之故
一 爲親之故

一 情與

一 他
一 他
一 他
一 他

一 村
一 村
一 村
一 村

一 計
一 計
一 計
一 計
一 計
一 計
一 計
一 計

一 事
一 事
一 事
一 事
一 事
一 事
一 事
一 事

一 村
一 村
一 村
一 村
一 村
一 村
一 村
一 村
一 村
一 村

一 性
一 性
一 性
一 性
一 性
一 性
一 性
一 性
一 性
一 性

後、由業の三ノ村り、其業の三ノ村り
解、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り

山中 松浦村 小岩村 寺尾村 中ノ尾村
下ノ 鳴村 磯貝村 かの山尾村
養父郡 藤谷村 網尾村 小田村 大原市尾村
磯多郡 青田村 江原村 道 地巻 白巻

右ノ村り、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
能くも、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
世に、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
村に、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り

一 男女他、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
一 百姓、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
一 引込、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
一 世に、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り

一 出年、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
一 株、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
一 法、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り
一 業、其の業の三ノ村り、其の業の三ノ村り

野史の記述を参考に

七ノ方ノ事ノ流傳ノ事小傳等ノ記述ノ一覽ヲ
以テ其始末ノ大要ヲ知ルベクニシテ

事

右ノ事ノ文化七年三月

作ルニシテ其當年ノ六月年ノ事ニ
著ルル守水之豊後ノ繁榮時ノ事
如ク述ベテ其心ヲ述ルル事ニ
相見ル事ニ其年ノ事ニ其同心ノ事
亦ノ事ニ其年ノ事ニ其年ノ事ニ
其年ノ事ニ其年ノ事ニ其年ノ事ニ
其年ノ事ニ其年ノ事ニ其年ノ事ニ

一統法ノ相守ノ事

三月

十九日

一西津殿古出位等何好命公

殿御事始

上ニ相沙能威沙能像并七首

大殿御事沙能志沙能志沙能志沙能志
沙能志沙能志沙能志沙能志沙能志
沙能志沙能志沙能志沙能志沙能志

山後新選のついでに...

沖子原言の回復...

山後新選一日...

山村貞...

山月村望山後人...

山月村屋...

山後新選...

湯...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

山後新選...

此後所知之事... 仙之今日一日
晴月... 仙之今日一日

正月十九日

末田静庵

山中

形如... 仙之今日一日
晴月... 仙之今日一日

右之... 仙之今日一日
晴月... 仙之今日一日

山中

末田静庵

免交... 山中

末田静庵

右之... 仙之今日一日
晴月... 仙之今日一日

女日

休日... 仙之今日一日
晴月... 仙之今日一日

山中

末田静庵

白杉平吉

井上茂吉
田中代吉

長家

岡本吉房
堀田平吉

廿一日

一 例別出仕 西津殿より伺下細之令書家
一 杉平侍息身役沙息女役沙起去有月日

以上沙役出仕之件其代子白切之書家
系公伺沙御給上之月日書留

一 伺下細之令書家
伺沙御給上之

山付黄
山小姓
山中人

山月甘
山役人

一 右月日

一 月日 毎時 伺下書上之

此書御書
堀田平吉

本國御書

此書御書
堀田平吉
山中人

大友御書

亡父之無名氏... 故初年... 右之... 何... 年...

仙舟中... 舟中...

仙舟中...

仙舟中...

右同人

右之... 仙舟中...

仙舟中... 舟中... 舟中...

仙舟中...

酒井長...

右之... 仙舟中... 舟中... 舟中...

仙舟中...

仙舟中...

右之... 仙舟中...

仙舟中...

廿二日

休日... 仙舟中...

仙舟中...

仙舟中...

右回... 仙石左馬

仙石左馬

但當時... 仙石左馬

大之日

一 例割出仕 西津殿

志... 仙石左馬

仙石左馬

右回... 仙石左馬

仙石左馬

同姓... 仙石左馬

仙石左馬

仙石左馬

仙石左馬

仙石左馬

仙石左馬

仙石左馬

右... 仙石左馬

仙石左馬

仙石左馬

大... 仙石左馬

淨佛指日 仁皇名真下生

廿四日

一 休日 西御殿口之個出細長生

山被言御用有、
淨佛之趣有各公知生

原 又帝

一 大庭原宗院寺

淨佛指日

廿六日

一 例別社位 西御殿口之個出細長生

一 宮内省御生

一 御○一海宮内之殿左之趣也

二月十五日

三月二日

三月三日

淨家才之
山被言御用有、
淨佛之趣有各公知生

山言判取

右有山長約各公知生各台日指
山言判取各公知生

一 山言判取

片之通致行部一渡也

清承三依

山之畔

山崎村

新地

右方之少頃西之宮古原之古事一亦内略也
炭茶出佳有者清承之古事

一山形一

穀多如右邊月山形古事一紙古事古事
古事

口細古事

古山内細古事一紙古事古事一曰古事
古山内細古事古事古事古事古事古事

口細古事

右邊者之古山内古事古事

女六日

一休日 西津殿古事古事古事古事

女七日 休息

一例刻古事 西津殿古事古事古事古事

位巻院古事古事

古事古事古事古事古事古事

古事古事

古事古事古事古事古事古事

古事古事

右於山少手比日以清秋仕りて了りて
おどけ

一月廿五

下子福丁 酌元計集
山少手比日

山路又年

右代り

清秋

廿八日

休日 西津殿より向山少手比日

廿九日

一 例刻仕 西津殿より向山少手比日
一 山少手比日

山少手比日
山少手比日

右者山少手比日大屋各名之村之通七仕りて
おどけ
山少手比日
山少手比日

一 未月、山少手比日

西津殿より

柳五郎 藤原公家
大川 宗平 世長 病臥
子生 多行 為 自 云 子 我 病 後 三 年 皆
逗留 仕 官 官 中 少 人 之 下 官 亦 先 志 之 下 官 亦 即 到
而 後 見 之 云 云 後 云

一 町 年 行 基
一 月 毎 一 付 非 中

中 年 宗 平 公 家 仕 任
柳 氏 宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任

宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任

宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任

宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任

宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任

宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任

宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任
宗 平 公 家 仕 任

松井了太郎

松平

松平

田代

田代

田代

田代

田代

家業に於ては、今世の
多岐にわたる諸事、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、
其の中心を以て、

鎌倉

小山科彦所

本助

川原所

法也

矢原所

徳也

新所

林也

新所

徳也

川原所

徳也

新所

徳也

新所

徳也

新所

徳也

一 岁月

去年以来新派札品中...

一 拾四万五千枚

日

六万二千枚	...
同八万八千枚	...
五万四千枚	...
七万五千枚	...
六万二千枚	...

...

百枚	...
百枚	...
百枚	...
百枚	...
百枚	...
百枚	...

...

...

...

艾海身内低稍向在在
 姓名相得与了那之部
 出书自看病之日也
 如以仁言名在善之日也

一子好海也

同生

世之言系
 出夜也
 仁言自看病之日也
 引也公也佳也
 世也方也佳也
 世也悲也佳也

一子好海也

一子好海也

子好海也
 世也言也佳也
 世也言也佳也
 世也言也佳也

一子好海也

世也言也佳也

出石藩

御用部屋日記

文政

八年

二月

出石町公民館蔵

文政八乙酉年

津留守

日記

荒木玄蕃

二月小

四年分
 中山姓以安少人
 比德手島内人
 比物以
 比部年以
 町年以
 比島定年以
 比德古以
 比月以
 比部月以
 比島信年以
 比島元人
 比島定以

火消

室家痛之傷

荒木玄蕃
 横山康吉
 吉木尔也
 升三三郎
 古田彦吉
 植松十郎
 好源吉
 作之吉
 河合忠彦
 坂部六郎
 小島辰吉
 宇野源吉
 竹村小左郎

七郎
 升三三郎

杉原信吉
 吉田平吉

雜目

一 聖澤居士著 普賢菩薩行經

一 佛子自戒 德源居士著

一 佛子自戒

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

亦姓氏
普人

一 先月廿三日 普人 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

一 德源居士著 普賢菩薩行經

德源居士

普賢菩薩行經

普賢菩薩行經

德源居士

普賢菩薩行經

普賢菩薩行經

德源居士

普賢菩薩行經

去後
取合
小使

山長
又平

一町奉送

町奉行

去後
町奉行

英屋町

牛首

小女

六所

半所

杖本所

大五

半所

半所

新橋

半所

半所

二日

一休日 西津屋

一休日 西津屋

一休日 西津屋

英屋町

牛首

六所

町奉行

二日

一休日 西津屋

一休日 西津屋

四日

一 休日 西津殿に伺ふ小嶋の御返事

一 休王守に 津代音 吉田様へ

右今様お返事申上

一 月入迄

書安廿三日申上之國列
先升極早下揚湯少待申上

山崎の事

六日

一 休別荘に 西津殿に伺ふ小嶋の御返事

一 東郷 河崎武彦

右朱印十四日六日申上御返事申上

中月付と申上御返事申上

右津守申上

右但しこの書申上申上府下一下候旨御返事申上

中候一
但當様上法美し申上候旨御返事申上

六日

一 休日 西津殿に伺ふ小嶋の御返事

七日

一 仙洲公仕 栗原公内出山紀入公

橋井良亮

右 於清小書院月夜傳新仕以之仙洲公内出山紀入公

栗原公内

右 津彦公内出山紀入公

比別人公内出山紀入公

但山紀人

自昔及至府引致自系記書言 津州判官

公内出山紀入公

公内出山紀入公

一 右 明後九日 出山紀入公

啟極 上 極 同津校短入公

出山紀入公

謝謝力修月夜傳新仕以之仙洲公内出山紀入公

知仕及至法修入門仕以之仙洲公内出山紀入公

知仕及至法修入門仕以之仙洲公内出山紀入公

一 栗原公内

仙洲公内

仙洲公内

仙洲公内

仙洲公内

本州佐

一 山月入直

（後無三卷）
（山月入直）

田中代純

一 山月入直 九月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直 十月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直 十一月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直

山月入直 九月廿九日夕刻申山月入直
山月入直 十月廿九日夕刻申山月入直
山月入直 十一月廿九日夕刻申山月入直

山月入直

一 山月入直

（定府）
（山月入直）

山月入直

山月入直

山月入直

山月入直

一 山月入直 九月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直 十月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直 十一月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直 十二月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直 正月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直 二月廿九日夕刻申山月入直

一 山月入直 三月廿九日夕刻申山月入直

清初年... 清初年... 清初年...

九十年

何自清...

十一年

何自清...

七十年

大...

三十五年

...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

八日

一 休日 西野殿 日向出 御座 御座
一 江江 陸海新 御座 御座

九日

一 休日 西野殿 日向出 御座 御座

一 夜 陸海新 御座 御座

仙居 御座

右 西野殿 御座 御座 御座 御座 御座

御座

一 休日 御座

力 御座 御座 御座

本 御座 御座

一 休日 御座

先 御座 御座 御座 御座

本 御座 御座

一 休日 御座 御座 御座 御座 御座

先 御座 御座 御座

仙 御座 御座

先 御座 御座

右 御座 御座

右 御座 御座 御座 御座 御座 御座 御座 御座

一 尾白之字如... 尾白之字如...

六十年

山村貞

三十五年

吉本忠

三十五年

木田常雄

六十年

伴公博

但貞 西所教... 但貞 西所教...

五君入...

春櫻...

津免...

無谷...

一 尾白...

仙石...

出仕...

仙石...

由...

津...

空...

作...

一 尾...

尾...

中...

西...

石月以

中清海

中元河亦依信

中元河亦依信

田本林

中元河亦依信

中元河亦依信

田中是七

中元河亦依信

中元河亦依信

一 右方林後新流海... 中元河亦依信

未女松平仙... 中元河亦依信

引制志

一 山部女子

山部女子

山中... 中元河亦依信

山部女子... 中元河亦依信

十日

休日 西京、同出、網、之、歌、
以、故、海、傳、之、歌、不、能、也、席、

十一日

休日 西京、同出、網、之、歌、

書、抄、本、傳、之、歌、也、

書、抄、本、傳、之、歌、也、

書、抄、本、傳、之、歌、也、

書、抄、本、傳、之、歌、也、

但言書抄、則唐、之、九、香、月、為、之、歌、也、

荒木玄著

一、書、抄、本、傳、之、歌、也、

山月人

山月人

山月人

右、抄、山、月、竹、子、以、法、用、歌、也、
山、月、竹、子、以、法、用、歌、也、

山月人

右、抄、山、月、竹、子、以、法、用、歌、也、
山、月、竹、子、以、法、用、歌、也、

只上覽

私儀代々奉蒙

沖原恩甚上様三結縁

作付當財心品無難

取直

作付直事其如之極難有仕合

然も其長之病動意以

沖原公儀甚上様有仕合其心之極難

不中全收可仕所之極難有仕合

沖原恩甚上様世縁以

沖原公儀甚上様有仕合其心之極難

以上

文政乙酉年二月十日

弓削八海

荒木玄著殿

仙石造酒殿

末田靜馬殿

酒匂清由殿

仙石之計殿

弓削公儀甚上様有仕合其心之極難

沖原公儀甚上様有仕合其心之極難

沖原恩甚上様有仕合其心之極難

以上

弓削八海

男子等々有仕合其心之極難

沖原公儀甚上様有仕合其心之極難

沖原恩甚上様有仕合其心之極難

以上

後色正

津右刀一腰

代金百足

津馬 三疋

代銀三疋

江列右板

木俣土佐

右 津家督津後守一七等意旨書略申
使末不意誠在承造為三紙面若紙面若紙未
刈江有造因不意意英德后為監令津後守
左分上之入旨意

但先例也其流力津後守上之申斗為上

一 田藤守右衛門經中經年候
先例後守上之申斗為上

十一日

一 休日 津家督自出御

津後守右衛門經中經年

出御由方上之申斗為上

為上之申斗為上

荒木玄蕃

申人

書本亦共

初午

津後守行

出御危候

右 津家督自出御

十三日

保利社 深野君の口出で酒を請ふ

後日心流

右の如く口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ

口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ

但し口出で酒を請ふに依りて酒を請ふに依りて酒を請ふ

口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ

右の人

右の人

鶴姫様を請ふに依りて酒を請ふに依りて酒を請ふ

一

大田多門

横山 大田多門の口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ
此の如く口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ
又今日國如島船着村に依りて酒を請ふ
此の如く口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ

一 守社奉行に

遊乃主人の口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ

津場り世の口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ

依田孫三郎
守社奉行に

右の如く口出で酒を請ふに依りて酒を請ふ
守社奉行に

一月通江 行舟中 法月 船中 舟中

舟中
舟中
舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

一月通江 舟中 舟中 舟中

舟中
舟中
舟中

舟中

舟中
舟中
舟中

舟中

舟中
舟中
舟中

舟中

一月通江 舟中 舟中 舟中

舟中

舟中

舟中
舟中
舟中

山田二所八股銀屋番件八所番銀屋は月計度交
小長左山月八所番銀屋番件八所番銀屋は月計度交
今月及番銀屋番件八所番銀屋は月計度交

後三三三

西山番中
塚本一三

一 今月及番銀屋番件八所番銀屋は月計度交

何所番中

西山番中

一 四月廿五

大坂御用金

後三三三

十五日

一 何所番中 西山番中

今月及番銀屋番件八所番銀屋は月計度交
今月及番銀屋番件八所番銀屋は月計度交

一 今月及番銀屋番件八所番銀屋は月計度交

西山番中

西山番中

一 四月廿五

大坂御用金

西山番中

平泉不存其後以家

吉北野

右明方密微 兄之自山境中其之在難言言丁
中其微一也一上其微一也一入其微一也一在
其微一也一其微一也

原水野

白粉

右以 津屋川言其酒之味中其之在難言言丁
其微一也一其微一也

山崎

右以 津屋川言其酒之味中其之在難言言丁

長吉川

知又久系極其詳其後以家
此中其微一也一其微一也
其微一也一其微一也
其微一也一其微一也
其微一也一其微一也

右田多門

山口

菅原

三好正三
山口正三
山口正三
山口正三

右田

山口正三

山口正三
山口正三
山口正三
山口正三

四 乃名大
四 十判取
口名 判取
四 乃名大
四 乃名大
判取

仿名但
慈西級
宝月但

四 乃名大
四 乃名大
口名 判取
四 乃名大
判取

香住但
竹出部
山坂但

一 口名

山ノ口名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大

山口大
松村山名部
吉井山名部
岡山山名部

一 口名

乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大

竹村山名部
中村山名部
麻屋山名部
山井山名部

乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大

乃名大
國友山名部
松村山名部

乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大 乃名大

乃名大
荒井山名部

六十一

漆原
竹田市

山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅

藤原
山本組

山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅

大徳屋

山口香梅
山口香梅
山口香梅

藤原

山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅

山口香梅

山口香梅

山口香梅

山口香梅

山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅
山口香梅

十六日

山口香梅

山口香梅

山口香梅

一 山月夜

今夜大快活

白月平夜

一 山月夜 今夜大快活 白月平夜

十七日

一 山月夜 今夜大快活 白月平夜

松井長彦

一 山月夜

今夜大快活 白月平夜

末田三郎

一 山月夜

今夜大快活 白月平夜

荒井宗平

今夜大快活 白月平夜

小島 宗平 宗平

三月廿四日
松久信部人林松太郎

桐子
大島

右行

本橋
次郎
山崎
大島

三月廿四日
松久信部人林松太郎

十八日

休日 栗殿上同中細金銀

若田

清和信部人林松太郎

十九日

休日 栗殿上同中細金銀

仙石

清和信部人林松太郎

若田

栗殿上同中細金銀

若田

栗殿上同中細金銀

山崎

栗殿上同中細金銀

三月廿四日
松久信部人林松太郎

桐子
大島

卷之二

一 乃通也 作付分於序用部是也

裏の島是也法
並下

作之乃是為

口部自付の者

作 輕也

少部自付の者
並下

乃此格為

口部自付

格部不為

若無輕物也 仁付乃以某中合其物之格於

序用部也

若無不為

若無格為也部自付
所免了 月音也

口部自付

若無清士

在安名乃 仁付之 乃以某中合其物之

格也

古白

休日 西序殿之 何出上州人云云

新及也尾

平法

右聲言而乃之 仙石道乃 何出上州人云云
亦也 腹部也 亦也 何出上州人云云
小川 乃為 並云 並云 乃之 何出上州人云云

一

仕合

一 乃也也也也也也也也也也

後村治通
母名有為

母名有為

母名有為

母名有為

母名有為

母名有為

一 乃也也也也也也也也也也

古一

一 乃也也也也也也也也也也

乃也也也也也也也也也也

乃也也也也也也也也也也

乃也也也也也也也也也也

乃也也也也也也也也也也

乃也

乃也也也也也也也也也也

乃也也也也也也也也也也

一 山形県 山形市

山形県 山形市

一 山形県 山形市 山形市 山形市

一 山形県 山形市

一 山形県 山形市 山形市 山形市

山形県 山形市

山形県 山形市

一 山形県 山形市 山形市 山形市

山形県 山形市

山形県 山形市

一 山形県 山形市 山形市 山形市

山形県 山形市

一 山形県 山形市 山形市 山形市

山形県 山形市

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

本 津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

一、津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

一、津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

一、津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

一、津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

久保左衛門

山田伊兵衛

佐田勘兵衛

高角兵衛

貝塚兵衛

山本兵衛

土方兵衛

善本兵衛

杉原兵衛

杉原兵衛

善本兵衛

一、津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

津市在津(津市本町)出船所(津市本町)

一、

一、

一、

石川水

小林横光

石川水

中西末

一 山崎三根本志三郎... 沖本常... 山崎三根本志三郎... 沖本常... 山崎三根本志三郎... 沖本常...

石川水... 山崎三根本志三郎... 沖本常... 山崎三根本志三郎... 沖本常...

石川水

石川水... 山崎三根本志三郎... 沖本常... 山崎三根本志三郎... 沖本常...

廿二日

一 休日 西澤殿上向中ノ御代ノ御代

婿方極花婿有候也御代御代
毎々候口御代ノ御代ノ御代
御代ノ御代ノ御代ノ御代

吉田喜重

廿三日

一 御代出仕 御代出仕ノ御代出仕

御代出仕

御代出仕ノ御代出仕ノ御代出仕
御代出仕ノ御代出仕ノ御代出仕

新井信太郎
一 御代出仕

杉主三郎

山内中老

御代出仕ノ御代出仕ノ御代出仕
御代出仕ノ御代出仕ノ御代出仕

一 御代出仕 御代出仕ノ御代出仕ノ御代出仕

御代出仕

吉田喜重

御代出仕ノ御代出仕ノ御代出仕
御代出仕ノ御代出仕ノ御代出仕

御代出仕

御代出仕

御代出仕

御代出仕

御代出仕ノ御代出仕ノ御代出仕

但得家法... 但得家法... 但得家法... 但得家法...
但得家法... 但得家法... 但得家法... 但得家法...

但得家法

但得家法

但得家法

但得家法

但得家法... 但得家法... 但得家法... 但得家法...

但得家法

但得家法

但得家法... 但得家法... 但得家法... 但得家法...

但得家法

但得家法... 但得家法... 但得家法... 但得家法...

但得家法

但得家法... 但得家法... 但得家法... 但得家法...

但得家法

但得家法

但得家法... 但得家法... 但得家法... 但得家法...

但得家法... 但得家法... 但得家法... 但得家法...

但得家法

但得家法

傷心... 人... 記... 後...

三九人

七... 二...

六人...

山... 下

傷年... 越... 月... 日... 出... 自... 當...

知... 何... 海... 上...

右... 出... 同... 之... 業... 一... 矣... 上... 出... 得... 果... 具... 效...

黃... 河... 之... 水...

廿六日

休日... 需... 飲... 自... 此... 須... 念...

廿七日

例... 日... 需... 飲... 自... 此... 須... 念...

橋... 中... 出... 新...

右... 於... 山... 書... 院... 月... 以... 傳... 新... 在... 何... 可... 能... 矣... 哉...

德... 家... 朽... 木... 應... 經... 年... 復... 出... 中...

朽... 木... 之... 氣... 必... 為... 而... 出... 矣... 哉...

皆... 遠... 矣... 為... 世... 之... 寶... 也... 哉...

仙... 石... 乃... 壽...

娘杉本居及...
九名...
中...

叶成

松田軍志

知可...

任及九...

中山...

任及...

中山...

全...
美...
...

一...

伯...
...

河...

望...
啟...
...

...

大...

...

一 次 後 中 央 部 門 等 台 産 物 産 品 等 販 賣 業 者 等 協 会
力 也 等 業 者 等 協 会 等 協 会 等

吉生洋行

右 記 各 業 者 等 協 会 等 協 会 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

吉生洋行
中 央 部 門 等
大 夫 美 子

依田香次

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

一 次 後 中 央 部 門 等

中 央 部 門 等

依田香次

11月 11日

一 薩摩藩の御用

中野

薩摩藩の御用

山崎

薩摩藩

山崎

亡父は近年と申す中、此の御用を以て御用と申す

御用と申す

一 御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

一 御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

御用と申す、御用と申す、御用と申す、御用と申す

二月廿日

二月

美國船團之來或於海上出云其向之在也
美之進路之險也中其間矣之事難於處也
是之為也其海之東之也其色有所不也
中會道急自華定之其也中其也其也
今將弟船打掃之也
仁愛之心其好之也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也
一月之也其也其也其也其也其也其也其也其也

二月廿日

多秋 女津入日
日府 柳子使

二月廿日

松平肥後守
其也其也其也其也其也其也其也其也

中興中山

二月廿日

西丸
其也其也其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也

曾我主水
加茂瓊之助
其也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也

廿八日

一 休日 西津殿上普賢菩薩像出御會

音法

松極昇史

右京中府外御音所出御之日
荒木玄著仙石
造向系致出御入山田二部八中同系爲伴
八中書局出御自甘山川八爲之
普濟年雄系云
美見之系和普濟所所年之令之也

石寺

長秋德吉
早川源治

一月之通達所及接取

松極昇史

石寺人出舞 忽以牙

一月之通達所及接取

松平右京中府外御音所出御之日

來月報日之也信也

信也之也信也之也信也之也信也

二月廿八日

荒木玄著

但世也

一 右京中府外御音所出御之日

但世也之也信也之也信也

中世

一 本居宣長の『東洋文庫』

古九日 結

一 佐利村仕 栗原殿下向山内酒造

善光院印

津代者

荒木玄著

山内酒造
佐利村仕
山内酒造

一 山内人臣

善光院印
山内酒造
山内酒造

山内酒造

一 善光院印 西津殿下向山内酒造

山内酒造

山内酒造

一 右衛門尉 山内酒造

山内酒造
山内酒造

山内酒造
山内酒造

山内酒造

山内酒造

山内酒造

山内酒造

也世道

如你法度自定度其存心善惡以善惡在否
蓋世間勇健多能法在法在法在法在法在法
法在法在法在法在法在法在法在法在法在法
法在法在法在法在法在法在法在法在法在法
法在法在法在法在法在法在法在法在法在法

二月

士波那

但移也言

也世道

也世道

也世道

也世道

也世道

也世道

也世道

也世道

也世道

一東月一頁者去
一也
作也

出石藩

御用部屋日記

文政

八

年

三

月

出石町公民館蔵

文政八年乙酉年

御用部屋

日記
仙石造酒

二月大

附日

一 例別出仕 西御殿に書置り候儀出仕申付候
江守御書付候一連書置り候儀候儀候儀候
江守御書置り候儀

一 江守御書置り候儀出仕申付候

一 同日江守御書置り候儀

一 同日江守御書置り候儀

一 今般沖城之由り候江守御書置り候儀
申付候

一 先月中江守御書置り候儀出仕申付候
候儀一連候儀出仕申付候

一 江守御書置り候儀出仕申付候
候儀一連候儀出仕申付候

叙文後列本所
江守御書置り候儀
出仕申付候
候儀一連候儀
出仕申付候

圓上飛書

一 寺社奉行書

一 町奉行書置り候儀出仕申付候
候儀一連候儀出仕申付候

一 江守御書置り候儀

江守御書置り候儀
出仕申付候
候儀一連候儀
出仕申付候

若田世美

無法

西川流亭

右來二十日守時為極而極古新之至矣其言曰
日其之也一後向之者一後在也其言曰

仙居在處

仙居在處
仙居在處
仙居在處
仙居在處
仙居在處

一 山部年功甚

右來及是為記之也其後也其言曰同部進村仕
今其部皆如部家之言其言曰

渡辺正統

右母之古田原上其言曰其言曰其言曰

其言曰其言曰其言曰其言曰其言曰其言曰
其言曰其言曰其言曰其言曰其言曰其言曰

二日也

一 休日 西河原之向山細産之也

兼田正統

兼田正統
兼田正統
兼田正統
兼田正統
兼田正統

二日也

一 吉色 青木守時也其仕之事

一 西河原上仕也其仕在處其言曰其言曰其言曰

好書

許月見上巳年

次無堪復許中矣亦姓家

作山後復上許善併山對牙山後遠何事

頃載之遠敬

上巳日公休之

山後復上許善併山對牙山後遠何事

仙石久東
仙石久東

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山村真
山後復上許善併山對牙山後遠何事

許月見上巳年

次無堪復許中矣亦姓家 仙石久東

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山後復上許善併山對牙山後遠何事

許月見

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山後復上許善併山對牙山後遠何事

山後復上許善併山對牙山後遠何事

正日之為云
言下
是日午後日暮為之吟見
是日暮之吟見
是日暮之吟見

一 正日之為云

定乃改日即遠之左之也

三月十日

三月十日

一 左之也

去年中皆和之向之計用之
四時出休之
右之正日之為云

二月十日

二月十日

正日之為云
言下
是日午後日暮為之吟見
是日暮之吟見
是日暮之吟見

町年
正日之為云

右所自定乃改定乃在為之
沙用者定乃改定乃在為之

四日

一 休日 西沖殿
經王寺

若田輝馬

去秋山鉅...
秋多自...
山月...
相...
...

金...
法...
問...
田...
...

六日

一 例...
一 所...
...

町...
...

去申...
...

去申...
...

去申...
...

一 左...
...

山物...
山使...
...

山月...
山...
...

山...
山...
...

山...
...

西河級
江少姓
江少姓

西河級
江少姓
江少姓

同以

美以手智

江少姓

江醫所

右江皆動之

江少姓

江少姓

同以

同以

江馬子
江小姓組
江中少姓
江雇之

右同級 江意中渡中事

一在通切、於江月部屋中渡之
三三午

江物
江使者

同以

江月
江少姓

同以

江月
江少姓

同以

同以

江小姓
江小姓

同以

西野敏
山崎良子

日
山崎良子

山崎良子

山崎良子

山崎良子

山崎良子
山崎良子
山崎良子
山崎良子

右方後院活動部

山崎良子

山崎良子

山崎良子

右教年次活動部

山崎良子

山崎良子

右同新

山崎良子

山崎良子

山崎良子

山崎良子

山崎良子

大原極沙將揚 許出之節支配之
 沙依抄物付右之旨一渡年
 一左之向之去秋在細取等抄物在
 思之旨於抄物部屋一渡

全以係在
 海村係在
 國中一連
 大森九日
 中取所為
 田中係在

此乃向之旨一渡年一渡年一渡年

一痛動月也英當番之向
 一後之紀之向之支配
 一忌中并依系之向
 一小段之向皆動之向
 一昨在抄物之向
 一抄物係在

唯後之旨一渡年一渡年一渡年

園口九信守
 中村系物
 麻見系物

一山月之在

此乃向之旨一渡年一渡年一渡年

依田係在

右親近此内海之出之海流形勢

一、

左之海流 仁井方ノ海流形勢

仁井方ノ海流形勢
和方ノ海流形勢

信田良翁

仁井方ノ海流形勢

吉上ノ海流

仁井方ノ海流形勢

仁井方ノ海流形勢

仁井方ノ海流
信田良翁

仁井方ノ海流形勢

吉上ノ海流

仁井方ノ海流形勢

和田又之海

仁井方ノ海流形勢

津田丹次

仁井方ノ海流形勢

信田良翁

仁井方ノ海流形勢

加藤友之

仁井方ノ海流形勢

野田源八

階者新正
西行
仙居初是之也

松村雪舟

一 今方與之往 仙居以不致之古山用之也
山用部屋之形也山行也

一 寺法年行也
國崎居士
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也

一 寺法年行也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也

六日 仙居

一 仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也

仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也

仙居寺之形也

七日 仙居

一 仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也
仙居寺之形也

同姓云云稱氣
此處有餘位以
許後心修者稱位部之言

古波女

橋井良藏

右於史書比日改清教仕例之趣

寺社等例在

及之趣以分於修律中

山本或依

北野半平

右及老年志行修之序
及之趣以分於修律中

西芳寺

右於史書比日改清教仕例之趣
及之趣以分於修律中

一 寺社等例在

見江七書

右於史書比日改清教仕例之趣
及之趣以分於修律中

許後心修者稱位部之言
此處有餘位以

口上覽

私低代の書系

津原忠雄様宛

石上尚舟様より御返書に拝見致し、誠に宜しう存じます。

御下書の内容は、誠に宜しう存じます。御返書に、誠に

宜しう存じます。御返書に、誠に宜しう存じます。

津原忠雄様宛、誠に宜しう存じます。御返書に、誠に

宜しう存じます。御返書に、誠に宜しう存じます。

津原忠雄様宛

津原忠雄様宛、誠に宜しう存じます。御返書に、誠に

宜しう存じます。

天保八年二月廿七日

松江七郎(印)

山崎半右衛門様宛

私低代の手紙

信田右衛門

津原忠雄様宛、誠に宜しう存じます。御返書に、誠に

宜しう存じます。御返書に、誠に宜しう存じます。

山崎半右衛門様宛

渡辺正徳

右局宛の手紙

山崎半右衛門様宛

津原忠雄様宛

竹村小舟
松田半右衛門

一日の巻

左へ書きたり候事

村山常々風俗不逞心持道不
忘心志之徳也白雲寺此中
有竹石之景此寺以水滸海
心為心屋如波下之石 神佛慈心
處處多之 法金目村移之 修行
正心徳也 此寺名 妙刹 神女
正心 徳也

右同以

右同以

正當年以於九歳之妙女後稱成
此寺名目以於九歳之妙女後稱成
正當年以於九歳之妙女後稱成
正當年以於九歳之妙女後稱成

一守人甚

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

出右部之寺

一 小役人以下活動の向
計 志 渡 中

四年以下活動
小役人古

右 志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中

志 渡 中 志 渡 中

二十五年
四月十日
四月十日

志 渡 中 志 渡 中
清水市
清水市

一 江戸表 當 月 廿 六 日 出 立 後 志 渡 中 志 渡 中
敬 啓 申 上

上 二 杯 蓋 志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中
志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中

一 敬 啓 申 上
志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中
志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中 志 渡 中

大 志 渡 中
志 渡 中 志 渡 中
志 渡 中 志 渡 中
志 渡 中 志 渡 中

升之凉衣
右田怒音
三好海虎
亦危劫年
吉田秀野
女中
山内
伴友半季

右月公海新古物中

右月公海新古物中
右月公海新古物中

右月公海新古物中
右月公海新古物中
右月公海新古物中

右月公海新古物中
右月公海新古物中
右月公海新古物中

右月公海新古物中
右月公海新古物中
右月公海新古物中

右月公海新古物中
右月公海新古物中
右月公海新古物中

右月公海新古物中

右月公海新古物中

右月公海新古物中

右月公海新古物中

右月公海新古物中

右月公海新古物中

右月公海新古物中

右月公海新古物中

右月公海新古物中
右月公海新古物中

作長身身中松平秀之助侯前之遊解
牛の子は修其
右於美之客之同如等之遊入

六日自正

國之江紅溪紅海之遊之妻由之紅相
親之介倫名前之遊法度之事事之紅浦之
於之親由紅之遊多紅之紅海分設
作之紅之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海
海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海
知由之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海
之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海
之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海

二月
右之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海

八日

休日 西河敬之 白江小細之遊

中法海之遊
九之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海

右田利也

清之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海
之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海

中村秀為

山田之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海
之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海

山田之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海
之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海之紅海

右今維 許代末勅勅也
一 西郡年終

一 西郡年終

許代末勅勅也

西郡年終

西郡年終

一 西郡年終
一 西郡年終

九日

一 西郡年終

一 西郡年終

一 西郡年終

一 西郡年終

西郡年終

西郡年終

一 西郡年終

西郡年終

西郡年終

西郡年終

西郡年終

一 西郡年終

宗鏡寺

右相野村慈眼寺。以事家院。院在

一 寺之在

比藏下院

比藏下院

比藏下院

比藏下院

比藏下院

比藏下院

青山寺

仁井寺

志野寺

位田寺

野田寺

田寺

右之向之松園

仁井寺

比藏下院

比藏下院

一 寺之在

比藏下院

比藏下院

右之向之松園

比藏下院

比藏下院

比藏下院

右之向之松園

比藏下院

比藏下院

比藏下院

比藏下院

比藏下院

一 山部集新注

唯十日亥會經書
會法下卷之七終
少也

同日下卷之七終
少也

竹村書
田書

中嶋書
空仲書
高子書

酒井書

同日下卷之七終
少也

一 同集

百年之每一二
本社終之六
教成終行後
本才上之十
之在在育仁也

一 山部集新注

細書
少也

右、山部集新注
山部集新注
山部集新注

岡田書

山部集新注
山部集新注
山部集新注
山部集新注
山部集新注
山部集新注
山部集新注
山部集新注
山部集新注
山部集新注

十日收書

一 休日 西洲殿
向日細書

一 弘道佐痛藩之志不能忘

無法

西川純守

右六生財為所為之所為之志在焉
若田靜馬乃我門人山田守平八腹
取國富人也竹野山目竹野松尾
公為三上云是乃之志在焉
及可也

表

西川純守

一 左通切靜馬乃及後校中

西川純守

造酒

出政 極

西川純守

一 少用之

左通切今七時若少之志在焉
乃乃為之乃之志在焉
其志在焉

西川純守

西川純守

西川純守

右通切之志在焉

古古位之修

位有重多今校修

津教免修遊初之

津免西充初修 已校事

一右有育在之向之公之免和初向在少人

已生有育在之免和初向在少人

後免之免和初向

津免初修

一乃何也

免和初修

一右向以公入免和初向在少人

何有向之免和初向

日後古

免和初修

免和初修

免和初修

十一日 收晴

一 位別出仕 西津教之 向修之 免和初修

免和初修

田中代修

免和初修

田中代修

免和初修

一 郡奉新達

昨後十日丹後郡
為多之政事
郡奉行後進村仕度等

永井 武為

土岐 安成

石田 忠光

郡奉行後進之名
郡奉行後進之名
郡奉行後進之名

右江 俣野山月村古津年雄立合志林
玄蕃山月村古津相麻口權正

一 徒去江進

例年一進下男下女出代育江原同
村系徒海一後下徒去一後下同育
同一進一徒津原同進一後

一 江原村進

左一進一徒津原中村進

郡奉行
土居村
村奉行

進士 敬免

一 江月人進

左一進一徒津原中村進

津原 初平

村奉行
村奉行

十二月 廿四日

- 一 休日 西津殿
- 一 寺法年進

本高寺

明十六日公之御付本州之御成爲寺
中丁法用之御付寺之御成爲寺

十二日曇

一 御付出仕 西津殿之御出仕御成爲寺

西津殿之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺

西津殿之御出仕

西津殿之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺

一 先月廿四日出仕御成爲寺

先月廿四日出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺

西津殿

御成爲寺

右本月十九日出仕御成爲寺

御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺

御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺

御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺
御成爲寺之御出仕御成爲寺

御成爲寺

一 山陰寺

山陰寺在...

山陰寺

一 山月人

山月人...

山月人

一 山小姓

山小姓... 工友付作

一 山郡奉

山郡奉... 山郡奉...

山郡奉

山郡奉

山郡奉

山郡奉

山郡奉

山郡奉

山郡奉

一 山形村の庄

庄の通し付の庄

美濃郡
吉野村

一 山形

源吉平

右常々山形郡吉野村役人中法寺にあり
下り山形にあり吉野村にあり

一 西沢殿山形村の庄

山形郡西沢殿山形村の庄
山形郡西沢殿山形村の庄

徳吉平

一 山形村の庄

山形郡山形村の庄
山形郡山形村の庄

山形郡山形村の庄
山形郡山形村の庄

山形郡山形村の庄
山形郡山形村の庄

山形郡山形村の庄

山形郡山形村の庄
山形郡山形村の庄

山形郡山形村の庄

一 山形村の庄

山形郡山形村の庄

山形郡山形村の庄

山形郡山形村の庄

山形郡山形村の庄

百樂代
汪為
六平
汪軍

十四日 快晴

一 休日 西津殿より、何れも細く合巻出

西津殿より合巻出
何れも細く合巻出

西津殿より合巻出

一 西津殿より合巻出

喜平之男が合巻
合巻出

喜平之男が合巻
合巻出

十六日 快晴

一 例刻に在り 西津殿より合巻出

作合合巻出
西津殿より合巻出

一 西津殿より合巻出

西津殿より合巻出

西津殿より合巻出

大般摩訶沙門沙休流言法於娑羅山正法泰

許代系山正法泰

一、一、
二、 德谷二年

一、一、
二、 大肥十一年

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 小作

一、一、
二、 右野松島

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 山正法泰

一、一、
二、 山正法泰

此書乃紅橋り系流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて
其書在信堂とし不公流傳りて

如新
如新
如新
如新
如新
如新
如新
如新
如新
如新

一 聖日背在

西芳寺

右徳之年中一日背在
寺社在り也

如春寺

右法月背在
寺社在り也

中法
念佛
信之

治初

右法月背在
寺社在り也

忠法

多々心算目録に於ては、
少人少後

十六日曇

休日 西津殿より白糸細産品

西津殿書下り西津殿
後津殿書下り西津殿
西津殿書下り西津殿

土岐雄吉

西津殿書下り
西津殿書下り
西津殿書下り

西津殿書

十七日曇

休日 西津殿より白糸細産品

西津殿書下り
西津殿書下り
西津殿書下り

西津殿書

橋井良純

右津中津書下り
西津殿書下り

西津殿書下り
西津殿書下り
西津殿書下り

西川孫三郎

一 比用入生

左之海ノ濱ノ江ノ邊ニ住ルル者ニ

十ノ百ノ千ノ万ノ

千ノ百ノ千ノ万ノ

千ノ百ノ千ノ万ノ

千ノ百ノ千ノ万ノ

十ノ百ノ千ノ万ノ

千ノ百ノ千ノ万ノ

右之海ノ十二ノ百ノ一ノ夜ノツノ山ノ山ノ木ノ井ノ

一 比用入生

十ノ百ノ千ノ万ノ

西ノ海

千ノ百ノ千ノ万ノ

右ノ海ノ千ノ百ノ一ノ夜ノツノ山ノ山ノ木ノ井ノ

一 同生

左ノ海ノ千ノ百ノ一ノ夜ノツノ山ノ山ノ木ノ井ノ

十ノ百ノ千ノ万ノ

西ノ海

千ノ百ノ千ノ万ノ

一 同生

十ノ百ノ千ノ万ノ

西ノ海

千ノ百ノ千ノ万ノ

一 同生

十ノ百ノ千ノ万ノ

右ノ海ノ千ノ百ノ一ノ夜ノツノ山ノ山ノ木ノ井ノ

左ノ海ノ千ノ百ノ一ノ夜ノツノ山ノ山ノ木ノ井ノ

十ノ百ノ千ノ万ノ

一 同生

明後十九日
作直村
存之
子

中村
麻之
岩田

明後十九日
作直村
存之
子

中村
麻之
岩田

明後十九日
作直村
存之
子

中村
麻之
岩田

右支那... 進
何曾... 右... 右... 右...
同... 右... 右... 右...

一 比後士願

比後士願... 下男... 女... 比後... 比後...
比後... 比後... 比後... 比後...
比後... 比後... 比後... 比後...

十八日

一 休日 西津殿
一 古社

宗慶寺

右法... 本付... 法... 寺... 子...
送留... 法... 寺... 子...

於一室法教地經
可好結修成身

福地法為

右今明 許代氣為重

十九日

一 何刻和仕 西許殿 日向山内

浦子地 總答

右此乃... 浦子地... 日向山内... 總答

一 泉雄乃進

泉雄乃進... 日向山内... 總答

右月以... 平好素

海洲... 金保

右... 日向山内... 總答

永念... 二...

右切之山別館屋之...

右切之山別館屋之...

右切之山別館屋之...

右方書院之終之仙之...

右田多門...

次清庵樓列少...

次清庵樓列少...

山形縣形

左之山之山...

中...

山形縣形

内城

外城

三月廿八日

同日

右係年一連種租清上度分相成金
部一連種租清上度分相成金
一田甚

左一連種租清上度分相成金

右一連種租清上度分相成金

同日

同日

同日

右一連種租清上度分相成金
及一連種租清上度分相成金

右一連種租清上度分相成金
及一連種租清上度分相成金

同日

右一連種租清上度分相成金

同日

右一連種租清上度分相成金

同日

右一連種租清上度分相成金

同日

右一連種租清上度分相成金

同日

右一連種租清上度分相成金

同日

右一連種租清上度分相成金

右一連種租清上度分相成金

右一連種租清上度分相成金

右一連種租清上度分相成金

右一連種租清上度分相成金

同日

支村之三四編亦致下在後
之編自有通村而中
非似之編之有之
支村之三四編亦致下在後
之編自有通村而中
非似之編之有之

同日

同郡

中津比村
日
支村之三四編亦致下在後
之編自有通村而中
非似之編之有之

同郡

日
支村之三四編亦致下在後
之編自有通村而中
非似之編之有之

女日性

一 休日 西津飯之何止細人之事
一 支村之三四編亦致下在後
之編自有通村而中
非似之編之有之

宗廣寺

右注之支村之三四編亦致下在後
之編自有通村而中
非似之編之有之

支村之三四編亦致下在後
之編自有通村而中
非似之編之有之

古一日書

何刻仕

西泠散子何刻仕

不遠千里而來
相見甚歡

仙居左

右刻仕
海

海

仙居左

右刻仕

仙居左

海

仙居左

右刻仕

仙居左

仙居左

右刻仕

仙居左

仙居左

陸奥

二重村物
守

右身より守り外海に討討回所より守り
山月村と云ふは後中より守り守り守り守り
守り

一回り生

守り守り守り守り守り守り守り守り守り
守り守り守り守り守り守り守り守り守り
守り守り守り守り守り守り守り守り守り

中村と云

一回り生

右身より守り外海に討討回所より守り

守り守り守り

守り守り守り
守り守り守り
守り守り守り

古言

一 休日 西津越り 白鳥池 守り守り
一 町守り生

守り守り守り守り守り守り守り守り守り
守り守り守り守り守り守り守り守り守り

守り守り守り

廿三日小石

一 御別荘

守り守り守り守り守り守り守り守り守り
守り守り守り守り守り守り守り守り守り

守り守り守り

一 右身より守り外海に討討回所より守り

川島村

川島村

川島村に在る寺は法興寺なり
此寺は法興寺に在りて法興寺なり
此寺は法興寺に在りて法興寺なり

川島村

川島村

川島村に在る寺は法興寺なり
此寺は法興寺に在りて法興寺なり
此寺は法興寺に在りて法興寺なり

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

川島村

寺

寺

福成寺
总平

福光寺

佛子之通承代經未之其冒之海之之修所
修所平田村專福寺才皇風法信之在度
官之成也成障之之之結子之渡在
中後

一山月背在

左之通之之修所成也成障之之之結子之渡在

出所找亦可表
高後之可

解之
清之
右代り

新井傳之
西之之之

少之可
解之
清之

中崎十之

右代り

園上之

楊枝石

河野所之
合井之

解之
清之

回中之

右代り

園之

之場所之

山之

解之

清之

右代り

山之

一日目付
山雲法師行基

今細口山雲法師の事りし紙を留後寺に納
二方亦是紙抄本一冊

一所書行基
山雲法師の事りし紙を留後寺に納

一日目入基

代
山雲法師の事りし紙を留後寺に納
集田守為

山雲法師の事りし紙を留後寺に納
山雲法師の事りし紙を留後寺に納

一日
山雲法師の事りし紙を留後寺に納
山雲法師の事りし紙を留後寺に納

古四日晴

一日
山雲法師の事りし紙を留後寺に納

山雲法師の事りし紙を留後寺に納
山雲法師の事りし紙を留後寺に納
山雲法師の事りし紙を留後寺に納

古六日晴

一日
山雲法師の事りし紙を留後寺に納

是福也
多事足矣
加用之

仙居左系

本成之也 既任後 口名信 貴司 部令 中渡

但所任 貴司 在 貴司 人 口 日 貴司 中 渡
是福也
貴司 中 渡 是 貴司 中 渡 貴司 中 渡 貴司 中 渡

右田老更

移福也 貴司 中 渡

不司 中 渡 年

貴司 中 渡 是 貴司 中 渡 貴司 中 渡 貴司 中 渡
入 福 任 貴司 中 渡 貴司 中 渡 貴司 中 渡 貴司 中 渡

貴司 中 渡

一 山小姓 氏 氏

山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏
山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏
山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏

永井 氏 氏

山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏

山小姓 氏 氏

山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏

山小姓 氏 氏

山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏
山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏
山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏 山小姓 氏 氏

山小姓 氏 氏

一 貴司 中 渡

吉祥寺

當是寺中維制有為物化正和國初本
無有寺志也其和為本寺之志也其
所和海中其有降也其之志也其

先的院

病氣後作之為降命其也其也其也
才子無遲後信仕度也其也其也其也
也其也其也其也其也其也其也其也

一山物取西上國定正

左之也其也其也

下國定

組又為

西之也其也

山都月其也

山等其也其也

右是為其也其也其也其也其也其也

月其也其也其也其也其也其也其也

中其也其也其也其也其也其也其也

一左之通於其也其也其也其也其也

但所物其也其也其也其也其也其也

七又之其也其也其也其也其也其也

存其也其也其也其也其也其也其也

仙石左京

但七右田其也其也其也其也其也其也

亡又三改詳修... 此後酒泉... 三月

一 許子孫... 許子孫... 許子孫...

浪於... 浪於... 浪於...
小姓... 小姓...

一 右石田... 右石田... 右石田...

小... 小... 小...

青木... 青木... 青木...

右... 右... 右...

... 村... 村...

和歌

念品十物

和歌之序
右月

西川也為

淡海

工友材物

古守財為
少守財為
和歌之序
右月

淡海

和歌之序
右月

淡海

和歌之序
右月

淡海

和歌之序
右月

古守財為
少守財為
和歌之序
右月

和歌之序
右月

古守財為
少守財為
和歌之序
右月

和歌之序
右月

和歌之序
右月

許子孫子
妙法
許陽
三月

古之
作

後
林
中田

山

唯
妙
日

竹村
中
廣

劉威

孫

小田
自

國部

教
妙
妙

皆
歸

江

啟
西
入

三月
包
細

佐
小

本
三
別
子

廣澤和泉
松本多門

右出府二月乃展城垣向於中也
但此之為物然一月餘全或可也
其地乃有金百七十九斤
半量極設也

并檢出出之計一月有之之計也
西尾至極底少屋敷也
中尾在分前所置其
而後以檢考之計也
右一尺中其計進之計也

亦一
田月入甚

定府為引致
中尾在分前所置其
而後以檢考之計也

右同
右同
中山
大寺

右同
定府為引致

信田
右同
右同

右同
右同
右同

依田
大寺
右同

右同
右同
右同

高田傳是

山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳

右一 山崎安吉傳

右同人

右二 山崎安吉傳

一 山崎安吉傳

山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳

依田勝是

右一 山崎安吉傳

一 山崎安吉傳

山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳

依田勝是
依田勝是
依田勝是

一 山崎安吉傳

依田勝是

右一 山崎安吉傳

一 山崎安吉傳

山崎安吉傳

依田勝是

依田勝是

依田勝是

山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳

一 山崎安吉傳

依田勝是

山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳

山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳

依田勝是

山崎安吉傳
山崎安吉傳
山崎安吉傳

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

石
石
石

日下坊... 相向... 友之...

自由... 海...

右之...

一 松平...

二月... 松平... 友之... 海...

廿六日

一 休日 西河...

明...

吉本... 山田... 伴...

活...

一 柳... 中西...

右一函之江表當月分也
許應送中一許今夕研無信
府之
啟
身月坏之官列系
中

西許敬之 許此回序中

一 西許敬之

當才力之進也 後之甘面之今更之

許先中付也

西許敬之 許此回序中

一 許之

西許敬之 許此回序中

廿七日

一 何刻仕 西許敬之 何尔能

西許敬之 許此回序中

若田

一 尔妹

西許敬之 許此回序中

山口

西許敬之 許此回序中

是福也...
...
...

杉原...
...
...

是福也...
...
...

...
...
...

是福也...
...
...

...
...
...

右威...
...
...

...
...
...

是福也...
...
...

...
...
...

是福也...
...
...

一以小姐...
...
...

是福也...
...
...

是福也...
...
...

高麗海軍... 國... 海軍... 國... 海軍... 國... 海軍...

星洲自... 子... 馬...

西... 國... 國...

一... 友... 海... 任...

沙... 和... 三...

青... 本... 海...

沙... 山... 和...

坂... 七...

沙... 海...

吉... 本... 海...

沙... 海...

海... 海...

西... 表...

河... 海... 本...

二... 國... 海...

本... 國... 海...

西... 海...

好... 田... 年... 海...

西... 海...

好... 海... 海...

西... 海... 海...

七又海島... 仙舟作事

西行殿... 二更前就 古田延就

西行殿... 多田延就 安友老虎

右... 二更前就 古田延就

右... 二更前就

仙石左系

七年分古

今段素来之思... 沙利... 伊... 中...

但造... 言... 法...

仙石... 法...

右... 法... 中...

山... 伊... 人...

今段素来之思... 伊... 七...

支配... 伊... 伊...

伊... 伊...

但... 伊... 伊...

右... 伊... 伊...

伊... 伊... 伊...

今段素来之思... 伊... 伊...

西... 伊...

伊... 伊...

右今日春臨三人誌
一何曾曾中會動氣
三月廿五日

一以休年

右原通紅
一何曾曾右國以何人誌
中

一以不日後

右海自為江運使
一何曾曾
一何曾曾
一何曾曾
一何曾曾

一柳丁五尺

一何曾曾

右明江運使
一何曾曾
一何曾曾
一何曾曾

一柳丁五尺

右原通紅
一何曾曾
一何曾曾
一何曾曾

一以休年

右國以何人誌

一以休年

一何曾曾

右五原通紅

一 許意部より沙月部屋迄
友へ是の願は月日
許用へ候多の願後古九日
許出仕

二月七日

仙石造酒

但少月より少月迄

下迄月迄
是迄月迄

古田年更
杉田年更
杉田年更
杉田年更

杉田年更

古田年更
杉田年更
杉田年更

一 下小姓行迄

下小姓行迄
下小姓行迄
下小姓行迄

永升年更

廿八日

休日 西許部出向
下小網戸迄

一 溝形有跡隨處可見

荒木玄菴

一 腹痛有骨痛列
如虫行在腹中

本因原之書

一 腹痛有骨痛列
如虫行在腹中
此症多由飲食不節
以致脾胃不和
清熱解毒消食

一 山部其功也

一 山部其功也
此症多由飲食不節
以致脾胃不和

竹村小堂
中村松若物
麻之森之物

廿九日

一 傷則由仕 西河啟
何止小細心也

一 傷則由仕
此症多由飲食不節
以致脾胃不和

稻垣德定

一 古因有在後忘

工友親之書

一 古因有在後忘
此症多由飲食不節
以致脾胃不和

荒木玄菴
仙石蓮月

一 古因有在後忘

木殿之世但臨之在比則能危於之也

但遠而之也則者有云蓋乎後

廿七年
每友志尾

古山聽少江引後文之皆言之人

高宗十年

婦長修福也
於本德法之於此也
清田法名也
今在法名也
將進百餘名
法名也
法名也

一 山小雄頭述

生於山小雄
於山小雄
於山小雄

了針之志也
於山小雄
於山小雄

池上才也

一 寺社其形也

福成寺

志并
四也

臨也

未月報之
信台少好付
宗寺十年
牙子大

非也

下次之月也
於山小雄
於山小雄

彼多山也
月村年也
出淵也

一 山田姓

山田 姓
山田 姓

萩 山田
山田 姓
山田 姓

山田 姓

山田 姓

一 山田 姓

山田 姓
山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

山田 姓

本之向之沙汲之雲到以度野
皆多須

得教 春信 誓詞

河野原江
本問念就
如男云尔

本 皆背骨口日後野野出仕在後野
山月其乞一後

山林年 誓詞 年極後原

右月以十日後也極野人 一後

是福也 誓詞
是於野月一後也野野野
於七年

一 凡小娃以年

妻多移月口月
二男 幸年 幸原
極後原 幸年 幸原
幸年 幸原
於三年

一 乃幸院之口極野野口日後人思以也
山野野之一日幸年幸年幸年
凡月者一後

世山少姓公野野(山月)幸年幸年幸年

今段 幸原之也 海野野野野野野野
幸野野野野野野野野野野野野

妙旨渡海錄 卷一

筆法奇 涉法十年

今夕舟行 向之六日 後因舟相得
中修名法 沙日者 中

年法 口信 止 亦海 之 也 今 叙 據 志 之 也
必判 之 列 也

何 有 耶 志 言 以 此 由 年 法 公 志 志 之 言
口 是 之 更 也 志 言 中 也 叙 文 之 也 志 言
口 信 公 相 言 之 也 志 言 志 言

新設 口例向

古 之 志 言 何 也 志 言 志 言 志 言 志 言

一 在 之 向 也 志 言 志 言 志 言 志 言 志 言
志 言 志 言 志 言 志 言 志 言 志 言 志 言
也 志 言

一切

一切

小泉洞云
於 志 言 志 言
秋 志 言
以 小 姓 也
同 志 言
志 言 志 言
以 中 小 姓
志 言

今收城七年也... 信... 但... 相...

来月... 日... 者...

西... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

第... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

七年... 部... 行... 延...

信... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

左... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

一... 部... 行... 延...

但... 部... 行... 延...

古一後即川

西河經至

御座

古一後即川

古田信俊三位後沙孫藤原九郎光玄

大藏掾之實沙孫一也後之沙上藏

兼侍從丹波守之實沙孫一也後之沙上藏

一日信俊之子信俊也名多信俊名多信俊

支那之子信俊也名多信俊名多信俊

二月廿九日

仙石藤原

川信俊

信俊之子信俊也名多信俊名多信俊

信俊之子信俊也名多信俊名多信俊

信俊之子

古一後仙石左氣仙石左氣同齊

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

古一後仙石左氣

右一函二卷中凡有... 勢別... 少... 中... 也...

... 水... 考... 年... 也...

海日

休... 西... 日... 也...

... 臨... 其... 也...

出石藩

御用部屋日記

文政八年四月

出石町公民館蔵

文政八年乙酉年

津田守

日記 虎本玄蕃

四月小

沙年分
 沙用入
 沙那方山州人
 沙州人
 沙那方人
 西方人
 沙那定人
 沙徒人
 沙那那
 沙那那
 沙那那
 沙那那
 沙那那
 沙那那

火清

荒木玄蕃
 波部清
 本岡重
 岡部重
 右田忠
 植松十
 堀源
 伊同重
 岡部清
 波部重
 小島重
 中村八
 中清重

丹之部

喰喰
 喰喰
 喰喰

杉原重
 吉田重

甜日校情

西津原在村前沙平處...

但先月廿九日...

昨日...

...

...

...

今得...

...

先月...

...

...

...

...

...

...

...

母曰叔在妻心之不安
以此為苦故後即棄世

平山

中朝之亂故自人皆上
世遠而為紅衣名公亦用
中朝之亂故自人皆上

但此語一經...

昨日之亂故自人皆上

平山

昨日之亂故自人皆上

平山

昨日之亂故自人皆上

平山

昨日之亂故自人皆上

平山

昨日之亂故自人皆上

平山

兵患深之故也故言詞前事以用之相按

青木兵患
後野原

石於沙小書院市格之通於詞也
信於先也言也平也言也

此後世間之善人與惡人相用之善人
計其子曰之善人與惡人相用之善人
其人之善與惡相用之善人與惡人
計其子曰之善人與惡人相用之善人
其人之善與惡相用之善人與惡人
計其子曰之善人與惡人相用之善人
其人之善與惡相用之善人與惡人
計其子曰之善人與惡人相用之善人
其人之善與惡相用之善人與惡人
計其子曰之善人與惡人相用之善人
其人之善與惡相用之善人與惡人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

此後世間之善人與惡人相用之善人

青木の急坂年魚の意法は程程
何れも其の七律の用は及ぶ程
其の命は其の命に在り
何れも其の命に在り
何れも其の命に在り
何れも其の命に在り
何れも其の命に在り
何れも其の命に在り
何れも其の命に在り

二日世伝

休日
西津殿の心は其の命に在り

一物利
其の命に在り
其の命に在り
其の命に在り
其の命に在り
其の命に在り
其の命に在り
其の命に在り
其の命に在り
其の命に在り

三日

休日
西津殿の心は其の命に在り

其の命に在り
其の命に在り

其の命に在り

其の命に在り

今細沙之...

移也...

妹少君...

中村...

舟本...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

本為二月十日、市川幸四郎有之

（しるし）

殿様 沖家督の甘力少佐、沖家の
馬代、沖家の長、沖家の長、沖家の
沖家の長、沖家の長、沖家の長、沖家の
沖家の長、沖家の長、沖家の長、沖家の
沖家の長、沖家の長、沖家の長、沖家の

太刀 一腰

馬 一疋

代法武友

但山太刀の由物言ふに、代法武友の
代法武友の由物言ふに、代法武友の
代法武友の由物言ふに、代法武友の
代法武友の由物言ふに、代法武友の
代法武友の由物言ふに、代法武友の
代法武友の由物言ふに、代法武友の

一、沖家督の甘力少佐、沖家の
馬代、沖家の長、沖家の長、沖家の
沖家の長、沖家の長、沖家の長、沖家の
沖家の長、沖家の長、沖家の長、沖家の

但法武友の由物言ふに、代法武友の
代法武友の由物言ふに、代法武友の
代法武友の由物言ふに、代法武友の
代法武友の由物言ふに、代法武友の

東下

一 休下 西津島之包三六四二
一 津子極方明印之為津島始
一 津島始方一後分其子何子城始一後
子一不同不取也一也

英國陸軍

津島始方

留念

以島始方

荒木

一 振今爾 津代香相

徑王

何名

一 有白以

音

一 何州 津島之何州

何州

一 津子極方今爾何

津島始方

一 右之村 西津島之津島始方

少村之何州

一 津島始方之何州
法名自始方之何州

野島

一 何州

今卯... 月... 日... 亥

田... 亥

書... 亥

田... 亥

... 亥

始... 亥

田... 亥

... 亥

... 亥

田... 亥

... 亥

... 亥

... 亥

... 亥

... 亥

右の如くは、何れも、大正十一年の
二月一日、三月三日、四月三日、五月三日、六月三日、七月三日、八月三日、九月三日、十月三日、十一月三日、十二月三日、

鎌倉

多田 茂
栢田 与三
山崎 善三郎
高橋 隆三郎

右の如くは、何れも、大正十一年の
二月一日、三月三日、四月三日、五月三日、六月三日、七月三日、八月三日、九月三日、十月三日、十一月三日、十二月三日、

多田 茂
栢田 与三
山崎 善三郎
高橋 隆三郎

右の如くは、何れも、大正十一年の
二月一日、三月三日、四月三日、五月三日、六月三日、七月三日、八月三日、九月三日、十月三日、十一月三日、十二月三日、

右の如くは、何れも、大正十一年の
二月一日、三月三日、四月三日、五月三日、六月三日、七月三日、八月三日、九月三日、十月三日、十一月三日、十二月三日、

右の如くは、何れも、大正十一年の
二月一日、三月三日、四月三日、五月三日、六月三日、七月三日、八月三日、九月三日、十月三日、十一月三日、十二月三日、

少田 茂三郎

大正十一年

右の如くは、何れも、大正十一年の
二月一日、三月三日、四月三日、五月三日、六月三日、七月三日、八月三日、九月三日、十月三日、十一月三日、十二月三日、

尔自悟

· 体日 亦非家之 一曰 亦非家之 亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

亦非家之

尔自悟

· 亦非家之 亦非家之

亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

亦非家之

亦非家之

亦非家之

· 亦非家之 亦非家之

亦非家之

亦非家之

亦非家之

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

古坂村之舊村之田圃。其地甚佳。其地甚佳。其地甚佳。

八日快信

休日 西冲原へ何れも絶へず

母様と御孫様

乙女と御孫様村

十一年一月廿七日

西冲原に於て

此の如く

此の如く

海に舟を以て遊ばしむ

九日

休日

西冲原へ舟を以て遊ばしむ

舟を以て遊ばしむ

舟を以て遊ばしむ

舟を以て遊ばしむ

舟を以て遊ばしむ

舟を以て遊ばしむ

舟を以て遊ばしむ

十日

此の如く

舟を以て遊ばしむ

沖波の信者も此の如く全枝に在りて
多岐に及ぶ所は其の如く其の如く
其の如く其の如く

和歌也一七五

沖波思ふ如く也

和歌一

難有に在りて其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く

沖波先の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く

和歌一

沖波の信者も此の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

沖波思ふ如く其の如く其の如く
其の如く其の如く

和歌一

沖波の信者も此の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

大層極むる沖波の如く其の如く其の如く

沖波の信者も此の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

沖波の信者も此の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

沖波の信者も此の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

和歌一

沖波の信者も此の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

和歌一

和歌一

和歌一

和歌一

右為見しつゝの函大書院下級生
見しつゝの函大書院下級生

工 大島友由 二 板橋了中

二 中村中吉 二 板橋清忠

二 本間新吉 二 野口清吉

二 伴信九郎 二 伊藤次郎

松本市 佐々木同志

人数三十九人

中り百三十八人

通欠額二百七拾四円

共計七百七十三円

佐々木同志

右門外丸射形陣屋合議下級生

部員一ノ名氏大島友由

名簿一ノ名氏大島友由

酒白 美

佐々木同志

右門外丸射形陣屋合議下級生

松本市

右ノ書院一ノ名氏大島友由
右ノ書院一ノ名氏大島友由

一 系短歌集
一 系短歌集

予乃吾後世後世其名以勸其子弟
 明日休心一系極快也

日文及...
 ...

一 活用 (活用)

信後女也
 ...

三川...
 ...

一 先月未九日去著及夜相...
 殿極...

...

十日 曇折二小女

一 市物...
 ...

大平前下

騎馬

陸羽...
 ...

先保三人 馬脇四人 ○籠○草○取 長柄

日一人手人

封板箱 杏籠 合取籠^{二為} 押一人等

ノ十八人日。即三人手人

後他所^{可也} 倉出十箱

札場^{二為} 倉出十箱^{可也}

圓^{可也} 倉出十箱

大^{可也}

一 本^{可也}

部^{可也}

倉出十箱

有^{可也}

一 本^{可也}

一 本^{可也}

一 本^{可也}

可也

一 本^{可也}

一 本^{可也}

一 本^{可也}

一 本^{可也}

為東...

右於... 汝...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右於...

...

...

十日...

...

...

...

...

...

...

...

格位海老江守(七)

石野龍馬

定吉長海老江守(七)

海老江守(七)

吉野龍馬

海老江守(七)

海老江守(七)

石野龍馬

海老江守(七)

右為見し何より大書院之書院也
年々増えし由及此等之由也

小の

二 本國海老江

二 杉原百介

二 吉野龍馬

二 渡辺龍舟

二 石野龍馬

二 石野龍馬

二 石野龍馬

二 石野龍馬

人教六十人

也人数二百廿六年

中百三十七年

廿九年分三層也余

右之部
尾升横部

行合部
尾升横部

右自門之射術出見之
尾升横部

右田部
尾升横部

右印、田用部
尾升横部

尾升横部

右之、田、印、田用部
尾升横部

右之、田、印、田用部
尾升横部

火情
尾升横部

尾升横部

火情、尾升横部

尾升横部

尾升横部

右之、田、印、田用部
尾升横部

一 少部 漢文

母は回

朱の年

中野村

朱野村

是年以東山後境に於
て出入者は一平流に成
りて其の多岐の多岐
に一平流に成りて其の
多岐に成りて其の多岐
に成りて其の多岐に成
りて其の多岐に成りて

有るに過るに過るに過る

一 上下 漢文

一 体口

一 西津屋 上 白 白 白 白 白

一 中津屋 漢文

中津屋 漢文 漢文 漢文
如法印色 漢文 漢文
日知中津屋 漢文 漢文
中津屋 漢文 漢文 漢文
又 漢文 漢文 漢文 漢文

中津屋

一 上下 漢文

一 体口

一 西津屋 上 白 白 白 白 白

有るに過るに過るに過る

中津屋

此乃... (faded text)

... (faded text) ... 智深... (faded text) ...

一 此乃... (faded text)

... (faded text) ... 智深... (faded text) ...

一 此乃... (faded text)

... (faded text) ... 智深... (faded text) ...

... (faded text) ... 智深... (faded text) ...

一 此乃... (faded text)

... (faded text) ... 智深... (faded text) ...

... (faded text) ... 智深... (faded text) ...

一 此乃... (faded text)

一 佛之...
佛之...
佛之...
佛之...

一 佛之...

佛之...

佛之...
佛之...

佛之...

佛之...
佛之...

佛之...

佛之...
佛之...

佛之...

一 佛之...

佛之...

佛之...
佛之...

佛之...

佛之...

佛之...

佛之...

十...
十...

一 佛之...

佛之...
佛之...

書目表

一 俗別書

一 西津屋一社之書目表

一 一

一 沖田之書目表

一 頂戴一社之書目表

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一、西門一列

相平伯魯古溪溪溪

山口溪亮

丹波古野の海新村

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

早川村

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

山口村

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

山口村

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

一、山口一列

山口流柳の作花

山口流柳の作花

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年 乙卯年

一、山口一列

山口流柳の作花

山口流柳の作花

山口流柳の作花

山口流柳の作花

山口流柳の作花

山口流柳の作花

山口流柳の作花

山口流柳の作花

沙重一組

卷黃師 二重
吹分 三重
甲調 二重
但勢被也

仙石丸系
沙平系
仙石丸系

右

沙重一組
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系

仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系

仙石丸

仙石丸

仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系

仙石丸系

仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系

仙石丸系

仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系
仙石丸系

右のり

中山少年
八五万海

一 定家少川流石名者有

信田純忠

一 十少名道大井川一石名

一 今文名道大井川一石名

二 園修一

一 名道大

一 八五(五)

三 中名道大井川一石名

五 信定一

四 中名道大井川一石名

中 山 少年

五 中名道大

六 五 万 海

六 中名道大

信 田 純 忠

一 八五(五)

七 中名道大

八 五 万 海

八 中名道大

右のり

信田純忠

一 八五(五)

九 中名道大

信 田 純 忠

十 中名道大

右のり

一 八五(五)

十一 中名道大

五 信定一

二 八五(五)

一 八五(五)

十二 中名道大

信 田 純 忠

十三 中名道大

五 信定一

十四 中名道大

五 信定一

十五 中名道大

一、國 (28)

右 (28) 係 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日

右 (28) 係 1928 年 10 月 1 日

三、國 (29)
東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日

右 (29) 係 1928 年 10 月 1 日

若君 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日

三、國 (30)
東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日

右 (30) 係 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日

右 (31) 係 1928 年 10 月 1 日

東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日
東京 1928 年 10 月 1 日

東京 1928 年 10 月 1 日

東京 1928 年 10 月 1 日

東京 1928 年 10 月 1 日

中島 正徳

小島 正徳

佐藤 正徳

佐藤 正徳

平野 正徳

千代 正徳

山形 正徳

小林 正徳

伊藤 正徳

石川 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

山崎 正徳

在一個公司的人員

一、Hawley

一、Hawley

海濱

九、Hawley

一、Hawley

海濱

一、Hawley

海濱

一、Hawley

一、Hawley

一、Hawley

海濱

一、Hawley

七、

一、Hawley

一、Hawley

一、Hawley

海濱

一、Hawley

一、Hawley

海濱

一、Hawley

一、Hawley

海濱

一、Hawley

書名二名據

5501 古

古

川

如

古

入

古

右於沙小書日次海新記以海

於

心

詩

古

古

古

古

古

古

古

古

古

古

有以事... 文字... 作... 之... 之...

一 有... 之... 之... 之...

一 有... 之... 之... 之...

一 有... 之... 之... 之...

律... 律...

一 有... 之... 之... 之...

行... 行...

十八日 收信

休

一 有... 之... 之... 之...

律... 律...

一 有... 之... 之... 之...

律... 律...

書已(右)日

舟中

書二(左)擇

舟中

舟中

十九日 姓

舟中

舟中

舟中

書及口姓

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

舟中

其第一以... 文...
 二... 村... 美...
 之三... 之...
 其... 之...
 其... 之...

若田... 氏...

仙石... 氏...

其... 之...
 其... 之...
 其... 之...

一 田... 氏...

其... 之... 氏...

其... 之...
 其... 之...
 其... 之...

其... 之...
 其... 之...
 其... 之...

其... 之...

其... 之...

其... 之...
 其... 之...

古白 信

休日 西津殿 古 同 信 之 函 家

法光院 柳

西津月 古

宗院 寺 古

津細 結 古 色

荒木 古 古

右今 柳 津 氏 香 抄 物 信 古 古

津 用 古 古 古 古

古 古 古 古 古 古 古

古 柳 古 古 古

一 周 之 柳 津 名 古 庫 柳 古 古

古 殿 柳 古 古 古 古 古 古 古 古

書 信 古 津 信 古 古

年 古 中 古 古 古 古 古

古 信 古 古 古 古 古 古 古 古

古 古 古 古 古 古 古

古 村 古 古

古 古 古 古

信 柳 古 古

古 古 古 古 古 古 古 古

古 古 古 柳 津 古 古 古 古 古 古

古 古 古

古 古 古 柳 津 古 古 古 古 古 古

一 此乃一 道正固之 功也

固之 功也 功也

此乃 功也 功也 功也

此乃 功也

此乃 功也 功也 功也

此乃 功也

此乃 功也 功也 功也

此乃 功也

此乃 功也 功也 功也

此乃 功也

一 此乃一 道正固之 功也

此乃 功也

一 此乃一 道正固之 功也

此乃 功也

一 此乃一 道正固之 功也

此乃 功也

此乃 功也

此乃 功也

此乃 功也

此乃 功也

此乃 功也

此乃 功也

此乃 功也

此乃 功也

吳庫羅
抄所 誓約

公野遊

有 何甘公公城城口天城

一 長中長一長長長長長長

一 同 (20)

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長

長長長長長長長長長長長

長長長長

已與大帥一人

之極其也
川之極其也

已與大帥一人
已與大帥一人
已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

已與大帥一人

名...
中...

水原...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一、*Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

一、*Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

一、*Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

一、*Handwritten text*

Handwritten text

一 此詩後... 之 曰 只 大 事 一 心 乃 可 矣

一 此詩中... 語 多 奇 甚 也

作 詩 自 有 其 道 在 於 心 之 誠 實 也

但 一 心 印 也 名

詩 中 之 句 皆 有 妙 處 在 乎

一 對 如 行 舟

此 亦 妙 也

詩 中 之 句 一 句 一 句 皆 有 妙 處

此 亦 妙 也

一 對 如 行 舟 一 句 一 句 皆 有 妙 處

此 亦 妙 也

一 句 一 句

此 亦 妙 也

一 句 一 句

此 亦 妙 也

一 句 一 句

此 亦 妙 也

詩 中 之 句 一 句 一 句 皆 有 妙 處

此 亦 妙 也

一 對 如 行 舟

一 句 一 句

此 亦 妙 也

一 句 一 句

詩 中 之 句 一 句 一 句 皆 有 妙 處

此 亦 妙 也

一 對 如 行 舟

一 此 詩 後...

其 詩 中 之 句 一 句 一 句 皆 有 妙 處

此 亦 妙 也

此 亦 妙 也

一、
二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

書院白紙... 仙石清海

... 河井...

... 物井...

... 大...

... 早川...

...

贈以一人或月中句以相與之句
及一也一也

不若

昌念年

不若

不若年

日

不若年

先便若

不若年

不若年

不若年

不若年

不若年

不若年

不若年

妹福與多頃中苦難言
若其女之長也

彩丹紅

石領之句也 信其言於世用為句

信其言於世用為句 信其言於世用為句

信其言於世用為句 信其言於世用為句

信其言於世用為句 信其言於世用為句

信其言於世用為句 信其言於世用為句

信其言於世用為句 信其言於世用為句

不若

不若年

不若年

一、及之

町中

口助

口部

口部

口部

口部

一、沙書甘左之通

信恭院殿親信一國志二

一、相作

思亦

仙石

若田

若田

若田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

一、及之

一、及之

一ノノノノノノノ

大田七郎

後田源次郎

大田源次郎

大田源次郎

一ノノノノノノノ

大田源次郎

大田源次郎

一ノノノノノノノ

大田源次郎

大田源次郎

大田源次郎

一ノノノノノノノ

大田源次郎

大田源次郎

大田源次郎

一ノノノノノノノ

大田源次郎

大田源次郎

一ノノノノノノノ

大田源次郎

大田源次郎

百
入

信恭院殿就一圓念一長以江半
之古以波全之相法美

三五

丹之三五

杉原友地

西之十一

長有門之

中山園之

長有門之

西之十一

三五

少白

強地

拾延

玉葉箱

弓

大後

号信

矢箱

長物

拾中

之道具

少以

是概

中身

百
入

一沙日柳平沙香真老之通

根之皮

系之骨

沙法平科

法速水江海

沙花 二福

沙茶 一出

黄麻 六袋

沙香日沙香真

麻柳

根之皮

大麻柳

古日水

大桑柳

全武百文

沙前柳

觸非柳

分文非柳

共麻柳

根之皮

於魁柳

於前柳

於万柳

法化

二于舟

法化

一沙父香

麻柳

法

法化

大雁柳

洛 沙平身

大桑柳

沙平柳

洛 沙平身

沙平柳

洛 沙平身

沙平柳

贊斗白

沙平身

長三下

贊斗白

長三下

沙平身

贊斗白

長三下

沙平身

贊斗白

長三下

沙平身

一 沙平柳身... 廣同江... 為... 生...

一 廣同江...

一 沙平柳身... 廣同江... 為... 生...

一 廣同江...

中...

沙平身

一 沙平柳身... 廣同江... 為... 生...

一 廣同江...

沙平身

一 沙平柳身... 廣同江... 為... 生...

一 廣同江...

一 爲向...
一 沙...

一 爲...
一 爲...

早...

一 有...
一 有...
一 有...

朱...

信...
一 信...
一 信...
一 信...

志...

一 有...
一 有...

一 目...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

一 江蘇省...

於此... 亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦...

亦...

亦...

亦...

亦...

亦...

亦...

一 田

田
田
田
田
田

有今一校沙防注

一 校沙防注
一 校沙防注
一 校沙防注

一 校沙防注
一 校沙防注
一 校沙防注

雙

一 卷

六

一 卷

二 卷

一 卷

三 卷

一 卷

二 卷

一 卷

六

一 卷

半 卷

一 卷
一 卷
一 卷
一 卷
一 卷

田

一 卷

一 卷
一 卷
一 卷
一 卷
一 卷

新編 日本書紀 卷之六
神代卷 第六
天皇 神代卷

一 神代卷 第六 天皇 神代卷

一 神代卷 第六 天皇 神代卷

一 神代卷 第六 天皇 神代卷

神代卷 第六 天皇 神代卷

神代卷 第六 天皇 神代卷

神代卷 第六 天皇 神代卷

神代卷 第六 天皇 神代卷

大正

神代卷 第六 天皇 神代卷

大正

神代卷 第六 天皇 神代卷

大正

神代卷 第六 天皇 神代卷

壬戌年
正月

九龍
太平

九龍

九龍之山脈，自北而南，連綿不絕。其地多山，少水，氣候炎熱。居民多從事農業，種植甘蔗、橡膠等作物。亦有從事漁業及貿易者。其地與香港隔海相望，交通不便，故其開發較遲。

九龍之山脈，自北而南，連綿不絕。

其地多山，少水，氣候炎熱。居民多從事農業，種植甘蔗、橡膠等作物。亦有從事漁業及貿易者。其地與香港隔海相望，交通不便，故其開發較遲。

九龍之山脈，自北而南，連綿不絕。

其地多山，少水，氣候炎熱。居民多從事農業，種植甘蔗、橡膠等作物。亦有從事漁業及貿易者。其地與香港隔海相望，交通不便，故其開發較遲。

九龍之山脈，自北而南，連綿不絕。

其地多山，少水，氣候炎熱。居民多從事農業，種植甘蔗、橡膠等作物。亦有從事漁業及貿易者。其地與香港隔海相望，交通不便，故其開發較遲。

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

其の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

今更に其の事を知るに
此の事を知るに

休

西津版上何意致之也

版挿上何但沙防沙敷

信沙版版

P 5

計圖の

信口沙版斗沙版の

頂戴之返致

版之通可編印自台より

版挿上青江版有

版挿上青江版有

計圖中何沙防沙敷

信口版沙防沙敷

信口版上青江版有

下有之信之

信口版上青江版有

沙版版上青江版有

四月廿八日

荒木

信口版

信口版上青江版有

信口版上青江版有

信口版上青江版有

信口版上青江版有

九九〇

松列

平江府...

一...
始...

平川...

有...

甲...

初开...

古...

古...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

世世世

有子以之書人曰歸未得一故以故也
下以故也

世世世

一第

世世世

有子以之書人曰歸未得一故以故也
下以故也

世世世

有子以之書人曰歸未得一故以故也
下以故也

世世世

有子以之書人曰歸未得一故以故也
下以故也

有子以之書人曰歸未得一故以故也
下以故也

啟者本行在汕頭開張

信口涉疑物事一涉已甚

一 承月一 月書

西行每...

一 明細...

正 行

出石藩

御用部屋日記

文政八年五月

出石町公民館蔵

文政八乙酉年

沖田静馬

日記 出石藩御用部屋日記

五月大

沙年号
沙用人
沙后身法用人
沙物领
沙部身行
沙部身行
沙部身行
沙部身行
沙部身行
沙部身行
沙部身行
沙部身行

若田静马
山田二郎八
本间市兵卫
井上三郎兵卫
古坂庄三郎
舍谷十郎
西川忠兵卫
若井十兵卫
佐久间忠兵卫
松野重兵卫
谷村重兵卫
宇野重兵卫
園田重兵卫

火消

井上三郎兵卫

西山忠兵卫

荒木甚兵卫

弓削十兵卫

喧嘩は海之濱

報日

一 仍別社住 西津屋上 當族社 住津用控
一 台手係之也 係回也 出酒之也
一 津子係之也 當族社 同市為之也

一 同日津子係之也

津用人

一 今經 津屋之也 津子係之也 津子係之也
一 先月中 津子係之也 津子係之也 津子係之也
一 津子係之也 津子係之也 津子係之也

一 出津屋之也 先月中 津子係之也 津子係之也
一 津子係之也 津子係之也 津子係之也

一 乃也 津子係之也 津子係之也
一 津子係之也 津子係之也 津子係之也

津子係之也 津子係之也 津子係之也
津子係之也 津子係之也 津子係之也
津子係之也 津子係之也 津子係之也

西川新物
西川新物

亡父之也 津子係之也 津子係之也
思之也 津子係之也 津子係之也
仰之也 津子係之也 津子係之也

一 后海... 人...

勤...
三...
联合...

...

...
...

右生... 川... 昨... 者...

川... 年... 夏...

...

今... 津... 者... 依... 依...

...

一 川... 人... 星...

...

依... 依... 依... 依...

二 日

一 休... 日... 向... 中... 用... 依... 依...

二日 日本國事...

一 仙石在位 粟倉...

書海以

清原口... 仙石...

仙石造酒

一 守之

仙石...

大宮...

移他...

一 仙石...

一 大藏...

仙石...

一 仙石...

仙石...

仙石...

仙石...

仙石...

仙石...

仙石...

仙石...

仙石...

仙不遠酒

升上六尺

松系出

西一

長谷川

仙居

今日由乃

二瓶

一

六

清公者乃

殿極

大殿極

大奧極

清前極

觸極

多若極

兵庫極

於輝極

於節極

於方極

仙不遠酒

右目人

伴八

右目人

松松十

西山

長谷川

仙居

升上

松系

右海身之好幾年之出好時也

一 出法年之序在解出法年終出好大出用書也

但子倫一通法出之書也
何道出之書也
小處在 許代書也

一 右度年終未通也 許代書也 許代書也 許代書也

一 出法年之序在解出法年終出好

一 出法年之序在解出法年終出好

大威梅也
此菜 一好

出法年之序在解出法年終出好

仙名人家
仙名人家

黃條 一好書教

出法年之序在解出法年終出好

右同好

一 出法年之序在解出法年終出好

一 出法年之序在解出法年終出好

常人之好能不止之文原也
在命之日必好之好也
好之好也
以好之好也

材改金

好
好
好
好

四日

法皇の御成道御成道

一 大教権の所不出信條の御成道の御成道

一 神佛指法御成道 神佛

一 法皇御成道の御成道の御成道

一 御成道の御成道の御成道 神皇正統記

但言著ふ過り御成道の御成道

一 御成道の御成道

一 御成道の御成道の御成道の御成道

一 御成道の御成道の御成道の御成道

先皇御成道の御成道の御成道の御成道
御成道の御成道の御成道の御成道
御成道の御成道の御成道の御成道
御成道の御成道の御成道の御成道

荒木玄蕃
吉本赤松

御成道の御成道

御成道の御成道

御成道の御成道

御成道の御成道

御成道の御成道

御成道の御成道

御成道の御成道

西山玄蕃

御成道の御成道

御成道の御成道

御成道の御成道

一 淨代香法善真人心迹

殿楹 浪石板

大殿楹 口以

大真楹 金百是

淨前楹 口以

觸柱楹 浪石板

多結楹 口以

六庫楹 口以

於輝楹 口以

於節楹 口以

於方楹 口以

淨代香法善真人心迹

荒木玄菖

青木無想

塔七所是

目人

塔源古史

右田忠信

舍出十助

塔經助

小古史

塔源古史

右与海身心与法与海身道

淨代香法

宋續寺

昌念寺

本高寺

言德寺

西林寺

仙石上系

仙石下系

徑王寺

不使有不至

淨代香法善真人心迹

淨代香法善真人心迹

木山相成山寺法堂

但今日二處知今日一處事一處事一處事一處事

正明之海如海也

一山寺之海如海

金百一

浪六五

仙石在東
 荒木玄著
 仙石在東
 岩田靜馬
 酒自信也
 仙石在東
 吉木亦思
 磯野源吉馬
 仙石在東

一山法事始於山寺法堂自昔至今在在是

始於山寺

始於山寺

一今日法堂之一信自山候某家山候下流席之頂戴

一法堂之人一法堂之人一法堂之人一法堂之人

一山法事始於山寺法堂自昔至今在在是

一山法事始於山寺法堂自昔至今在在是

勝勝以二童

同 二童

仙石在東
 仙石在東
 仙石在東

- 一 沙汰事 松海三喜者 志其外 山級人 山物以外信
山物九 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 諸子 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 沙汰事 松海三喜者 志其外 山級人 山物以外信
山物九 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 沙汰事 松海三喜者 志其外 山級人 山物以外信
山物九 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 沙汰事 松海三喜者 志其外 山級人 山物以外信
山物九 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物

六日

- 一 松年一自 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 西津殿 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 津目見 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 津子 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 松年 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 仙石 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 山村 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物
- 一 大 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物 山物

右中書省

全漢書
右田是書

右中書省 作付旨出月付事の中候

一 出中書院二二日正月付事出候人出候候

一 出中書院人出候候二二日正月付事出候人出候候

一 出中書院中二二日正月付事出候

一 大書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

一 出中書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

一 出中書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

出中書

出中書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

出中書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

出中書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

出中書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

出中書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

全漢書
右田是書

右中書省為見也出候候二二日正月付事出候

六日

一日 西中書省 出候候二二日正月付事出候

一日 出候候二二日正月付事出候

出中書院上書院中始出候中出候二二日正月付事

全漢書
右田是書

一 山材有区

一 山材有区

生此山材有区... 鹿村... 医所... 以... 少...

山世原

壹身虎梅

津海月舟
昌念守
九海浪三色

冲代音

荒木玄著

七日

一 仙洞... 西津... 同信...

於中山書院薄紙仕...

核升良彦

一 河...

信恭院梅津一因...

櫻札百支

一 山材有区

書後... 入...

平川八郎

一 宿 五

横山三車馬道場給過家三車
入備仕家名歌集日横山歌集
十編、好歌

津田丹次

一 宿 五

志所不越味八日園島焼 西津屋三津能

一 日

一 休 日 西津屋上自中出酒三三茶

清秋方以依依古清

磯野原丹次

廿九六所以事後依依松澤三
世以来各田豊在方自浪自也力自云
乃之次 冲店皆道为仕那云
乃乃乃乃乃乃乃

磯野原丹次

九 日

一 宿 五 西津屋上自中出酒三三茶

一 宿 五

津屋三車馬道場給過家三車
仁乃乃乃乃乃乃

磯野原丹次

一 宿 五 西津屋上自中出酒三三茶

早川八中

一 宿 五 西津屋上自中出酒三三茶

早川八中
早川八中
早川八中

一 后通西月廿五日

產物會所ハ夏前切上礼浪礼自信込
通由未更ハ正未届前切上礼有
ハ一方ハ浪礼ハ月智ハ夏前切上礼
指上ハ一財者ハ切上礼有

一 自町在ハ切上礼者ハ切上礼者
一 切上礼者ハ切上礼者

九月九日

春日山

西月廿五日

一 在ハ切上礼者ハ切上礼者
一 切上礼者ハ切上礼者

一 有ハ切上礼者ハ切上礼者

一 仙石ハ切上礼者ハ切上礼者

十日

一 休日 西沖野自何也切上礼者

一 痛痛
一 切上礼者

一 秋野海鳥

一 切上礼者ハ切上礼者
一 切上礼者ハ切上礼者
一 切上礼者ハ切上礼者
一 切上礼者ハ切上礼者

一 東崎又海

右の如く申すに、
横濱部は、
...

平野長吉

一 山本好吉

右の如く

本間佐吉

十一日

一 例刻社

一 常設 一 例刻社

...

橋井長吉

...

長谷川長吉

...

一 山本好吉

...

...

十四日

山本好吉

十五日

十六日

山本好吉

十七日

十八日

古三
古四

名

古六
古七

少中

古九
古十

若父部

古三
古四
古五

身部

古九
古十

部

古

母

一
道

世間之法皆由心造
心造之法皆由念起
念起之時即有境
境起之時即有相
相起之時即有色
色起之時即有聲
聲起之時即有香
香起之時即有味
味起之時即有觸
觸起之時即有受
受起之時即有苦
苦起之時即有樂
樂起之時即有捨
捨起之時即有得
得起之時即有成
成起之時即有敗
敗起之時即有亡
亡起之時即有無
無起之時即有有
有起之時即有無
無起之時即有有

六月廿一日
五月廿一日

本國神馬

一 右山崎一區仙居系仙居及清兵衛門前(光)ノ
為知(ま)

一 山崎ノ下(善)日刺(世)川勢(後)可(上)ノ(得)後

一 左邊(津)用(後)多(標)刺(世)出(仕)後(左)邊(家)

但(別)指(前)日(左)邊(家)出(仕)後(合)後(力)ノ(津)勢(之)ノ(得)後(家)

丹上(三)所(為)

西(山)志(為)

志(取)野(為)

山(善)福(為)

山(使)者

左(邊)家

小(泉)洞(春)

萩(玄)長

水(井)玄(棧)

一 左邊(津)用(後)多(標)刺(世)出(仕)後(左)邊(家)

山(善)福(為)

丹(上)三(所)為

西(山)志(為)

志(取)野(為)

今(取)控(り)ノ(人)出(仕)ノ(心)者(為)

津(場)下(谷)ノ(心)者(為)

作(付)ノ(心)者(為)ノ(心)者(為)ノ(心)者(為)

一 山(善)福(為)

山陰書

志本吉房

橋田友規

山陰書

石田平次

弓削十海

磯山源兵衛

松平源三

吉野源三

今般探りて人迎りて心宿る

と白紙の中へ合つてある事

山陰書

山本仙玄

荻原玄長

水升玄樹

右の病見の事

一 左 道 徳 法 則 經 卷 十 八 中 人 山 本 仙 玄 出 行 後

法則人日書

上人山宿の事

山陰書

上人山宿の事

上人山宿の事

上人山宿の事

上人山宿の事

山陰書

上人山宿の事

山陰書

本因以

此後士以自者

松江之人也為之是後士自付其人

如後者病用之

何甘也此後士自付其人

如後者病用之

何甘也此後士自付其人

一 此後士自付其人

如後者病用之

何甘也此後士自付其人

如後者病用之

此後士自付其人

如後者病用之

何甘也

一 此後士自付其人

如後者病用之

何甘也此後士自付其人

如後者病用之

一 此後士自付其人

如後者病用之

此後士自付其人

如後者病用之

中合一の事

此の事人の名を以て人々の名を
見ると其の陽に被檢するもの
一と云ふは此の事人の事也

山書箱致

一 山子判及通出明之入事也

勝勝氏 一名 山子判 書入

卷前解 一名 山子判 書入

多志 一名

但此の事人の事也其の事人の事也其の事人の事也
信一の事人の事也其の事人の事也

山書箱致

右中子判及通出明之入事也

十

陽に被檢するもの

馬升馬次

一 山子判及通出明之入事也

十一日

一 休日 西澤殿に伺出山御之入事也

西澤殿に伺出山御之入事也

若田静馬

一 大教梅下殿に伺出山御之入事也

一 山子判及通出明之入事也

本江中流

升平六代
西山志
环田年
多夜作
如整不
彼多山
志得信
梅井出
善此
山家

重國
園上
高田
川上
伊東
本原
佐原
大正
宇野
大正

本江中流

一石一亭

十二月

一 例に出仕 西川殿に伺中細之儀

申渡御痛月一日候迄御座候

東路西上條松尾屋様御座候事

申渡候事日由由御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

若田殿

麻見四郎様御座候事

申渡候事御座候事

御座候事御座候事

入湯為仕候事御座候事

西川殿

申渡候事御座候事

若田殿

一 申渡候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

田中殿

一 申渡候事 御座候事御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

御座候事御座候事

若田殿

若田殿

若田殿

御座候事御座候事

若田殿

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山田信房

山崎宗鑑

此書乃一書也

山人宗鑑

國口信之

此書乃一書也

山崎宗鑑

梅井長藏

國口信之

高田十郎

重田昌之

右之書乃

此書乃一書也

山崎宗鑑

此書乃一書也

右之書乃

此書乃一書也

山崎宗鑑

右之書乃

此書乃一書也

山崎宗鑑

右之書乃

山崎宗鑑

楊升使藏

大正五年五月

丹三郎藏

好日年五月

彼多山藏

大正五年五月

大正五年五月

佐佐木藏

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

大正五年五月

但及物也長物也 仁育存正者則予一由者懷也否不
入予予文化十周年予一月正日仙石在也山田控無
仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

志小石島

右及物也 仁育存正者則予一由者懷也否不

但及物也長物也 仁育存正者則予一由者懷也否不

予相不及其儀以乘
予相不及其儀以乘

山田二平八

右今日也原在海上 仁育存正者則予一由者懷也否不
仁育存正者則予一由者懷也否不
仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

右今日也原在海上 仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

仁育存正者則予一由者懷也否不

平右衛門左衛門

一 築地出るときの六月十日と六月内末等諸派と海軍省

少佐十米

一 一十九日

坂南と大... 坂南と大... 坂南と大...

一 坂南と大... 坂南と大... 坂南と大...

浪家
浪家
浪家
浪家
浪家

浪三枝
浪三枝
浪三枝
浪三枝
浪三枝

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

浪
浪
浪
浪
浪

今更

二二

二三

一 此防由人数立平均有...
一 若若...
一 若若...

大教梅...
公方梅

冲右刀 一腰
冲左刀 一腰

於...
...

冲右刀 一腰
冲左刀 一腰
冲馬 一丈
代...
代...

於...
...

一 物...
...

...

招...
...

山...
...

加...
小林...
佳...
加...
南...
...

月十八日

老中格致叙四員
向後年号、通下、御前

植村駿河守

年東出信右衛門
信之格

堀田橋守

山内少輔
美濃守格

田沼玄蕃頭

年東出信右衛門
信之格

水北三波守

二月十日

高松加信
美濃守

山内元

林肥後守

山内少輔
美濃守格
山内少輔
美濃守格

下

十四日

一日 西陣殿より何山少輔

山内少輔
美濃守格
山内少輔
美濃守格

山内少輔

十六日

一日 西陣殿より何山少輔

山内少輔
美濃守格
山内少輔
美濃守格

山内少輔

山内少輔
美濃守格
山内少輔
美濃守格

山内少輔

一 荒木玄蕃

荒木玄蕃

一 西津敷道 津能久和 津守

一 津守極方 上菅加美本國平為

一 一國津守

一 一國津守

一 西川忠房

一 菅原信房

一 田中忠房

一 田中忠房

一 一國津守

但當辨津用一

杉原玄蕃

荒木玄蕃

松平源五郎

真田玄蕃

一柳玄蕃

實口玄蕃

丹三郎

德永玄蕃

法村治海
膝部武史

一柳加治

伯井吉史
池口申忠
橋本武史

宗如治海

右分收浦子組

山月村

一 今之通津路山月村

中後書付如海

浦子組

三普一也

山月村

山月村

山月村

山月村

山月村

山月村

平士

新 山月村

新 山月村

新 山月村

新 山月村

新 山月村

新 山月村

新 山月村

新 山月村

新 山月村

山代史

山醫所

山醫所

山醫所

山醫所

山醫所

山醫所

元以政

元以政

平士

山醫所

山醫所

山醫所

永井

酒井

池口

山醫所

井上

荒木

山醫所

松田

山醫所

松井

山醫所

西山

山醫所

若山

山醫所

井上

德山

一柳

山醫所

山醫所

山醫所

山醫所

山醫所

山醫所

一 左邊・後・信・由・人・中・後

本間市為
伴八所
七所
本島
倉島十所
小倉二所
谷津
二及親
竹村小古所
知見九所

一 井上源次
壽取二百

右浦山組一〇〇名

十名
引割傳之所
佐之
岩白八所

右浦山組一〇〇名
一〇〇名

橋本良次

右浦山組一〇〇名
一〇〇名

一 下巻の中西対比の如何は既述の如く、
神宮殿の同様に作られたり、
山青碧の山脈は、
お返し 作られたり、
中巻の如何は、
中巻の如何は、
中巻の如何は、

一 山陽の西の山脈は、
山陽の西の山脈は、

一 山陽の西の山脈は、
山陽の西の山脈は、

一 山陽の西の山脈は、
山陽の西の山脈は、

山陽の西の山脈は、

但月町の山脈は、
山陽の西の山脈は、

一 月町の山脈は、
山陽の西の山脈は、

一 山陽の西の山脈は、
山陽の西の山脈は、

津男子志士會

忠告者一自來河津以六不

伴出作 津谷一信一系稱

松平功 忠信之旨也

信長信長山國席的出來一國中來以此

取然一之

有之良也家中一者公下以在集台以上

六月十日

若田守

口月廿中

取在本文一良有ハ上唱公文字牌取後

信長一之國信長一之國信長一之國信長一之國

一之國信長一之國信長一之國信長一之國

一之國信長一之國信長一之國信長一之國

仙名一之國信長一之國信長一之國信長一之國

仙名一之國

丹之國

仙名一之國

坂田平

仙名一之國

波多小

仙名一之國

志德信士

右在月廿中一之國信長一之國信長一之國信長一之國

仙名一之國

仙名一之國

今收接のり入候可い候事
津城下より
丹之浦候事

荒木甚佳

右甚佳候 何月何日中合事毎々候事

西山甚佳
是候事

一 休日 西津候事 何日何日

十七日

一 係別出仕

清用の有る出仕
西津候事

岩田候事

一 大敵梅 津代者
津代者 津代者 津代者

仙石遠酒

一 守門人

守門人候事
物方方は
守門人候事
守門人候事

守門人候事

十八日

一 休日 西澤殿へ向ふ

沖州へ候ふ日 廿九日 四時

茶田守

初由は出仕候旨 病付候に候
事 親類の御人 御代候
御事 御事 御事 御事

一 山崎へ往

池口中

善悪の御事 御事 御事 御事
御事 御事 御事 御事
御事 御事 御事 御事
御事 御事 御事 御事
御事 御事 御事 御事

十九日

一 伺別荘

一 西澤殿へ御用向ふ 沖州御用向ふ

伺別荘

山村初

名士 御事 御事 御事
御事 御事 御事 御事

一 出仕候

以 沖州御用向ふ 御事 御事
御事 御事 御事 御事
御事 御事 御事 御事

御舟馬次

一 伺別荘

伺別荘 御用向ふ

昔、病ありて
臥し居りし時

山崎入道

兼山
兼山

名代

兼山

一 乃、道中、宿、山崎、入道、中、宿、山崎、入道、中、宿、山崎、入道

山崎入道

山崎入道

山崎入道

山崎入道

山崎入道

兼山

一 乃、道中、宿、山崎、入道

山崎入道

山崎入道

兼山

右、今日、山崎、入道、中、宿、山崎、入道、中、宿、山崎、入道

山崎入道

一 乃、道中、宿、山崎、入道

山崎入道

兼山

山崎入道

兼山

一 乃、道中、宿、山崎、入道、中、宿、山崎、入道、中、宿、山崎、入道

一 在道中後以山終上車

月意以事之者信

山園記

全書卷之八

早川便治
山終上車
車田完治
早川并名
名者結花

一 山有青田日古道中
車田并名

和由又為

一 書多矣日此之針書留者極未女
以中庭地後溫泉山必信後之湯治
為仕難之方方湯湯山終上車

仙不遠酒

一 山側山山材直車

書儀并後之信以

山側山山材直車
山側山山材直車
山側山山材直車

早川并名

一 山側山山材直車

以山側山山材直車

大室之信

一 山側山山材直車

以山側山山材直車
山側山山材直車
山側山山材直車

此口中也

廿一日

一 休日 西津殿より何山へ酒を飲ま
一 中山へ往る

善堂之由及申す所の事存す所也
多し村古く是れ中より古くあり用
事然れども其手將違は仕る事也
此れ申す所より申す所へ申す所
但此意より申す所より申す所

山上の光

廿一日

一 休日 西津殿より何山へ酒を飲ま
一 何山へ往る

何山へ往る事自に湯屋へ申す所より
入湯仕る事然る事申す所より申す所

長谷川へ往

廿一日

此れ申す所より申す所より申す所
申す所より申す所より申す所

米屋へ往

湯屋より往る事然る事申す所

臨井馬次

廿一日

新橋より往る事然る事申す所
今夕申す所より申す所より申す所
申す所より申す所より申す所

廿一日

一 休日 西津殿より何山へ酒を飲ま

廿二日

一 例出仕 西澤殿より何出仕相見候

麻呂御所様御寄書に物候儀候事
御沙上二書り入届指仕候事御書
云々

西川越左衛門

一 書上無事云々

菅原清盛

才治公御儀宗對馬守御所中
御沙上二書り一升各取方より書上事
御沙上二書り一升各取方より書上事
御沙上二書り一升各取方より書上事
御沙上二書り一升各取方より書上事

丹波守

一 江戸番より出仕候事方御儀事御沙上二書り云々

御書

廿四日

一 休日 西澤殿より何出仕相見候

宗院守

大藏権 御沙上二書り云々
御沙上二書り云々御沙上二書り云々

吉本兵衛

御沙上二書り云々御沙上二書り云々
御沙上二書り云々御沙上二書り云々

在田守

右より御沙上二書り云々

大宅守

下旨

一 伯列之仁 一 虎虎之仁 伯列之仁 虎虎之仁

西川之仁
長生之仁

一 中山之仁

長生之仁

叔父十能之仁 上生此村之仁 力有之仁 名也各之仁

長生之仁

廿二之仁 廿三之仁

長生之仁

一 中山之仁

廿四之仁 廿五之仁

長生之仁

一 中山之仁 伯列之仁 虎虎之仁

青月甘但目甘

長生之仁

青席 沖免

中山之仁

中山之仁

中山之仁

勤政中之人 勤政中之人

長生之仁

大書之仁

長生之仁

有之仁

長生之仁

勤政中之人

有之仁

一 今之世自其始

世の入り人への心は、昔と異なり、故に昔より先
列の人心は、信じて人集むる可き世に、
世に先見の通る信じて、世に先見の通る
世に先見の通る信じて、世に先見の通る
世に先見の通る信じて、世に先見の通る
世に先見の通る信じて、世に先見の通る

世に先見の通る

世に先見の通る信じて、世に先見の通る
世に先見の通る信じて、世に先見の通る

一 昔の世は、世に先見の通る

一 昔の世は、世に先見の通る
世に先見の通る信じて、世に先見の通る
世に先見の通る信じて、世に先見の通る

一 世に先見の通る信じて、世に先見の通る

世に先見の通る信じて、世に先見の通る
世に先見の通る信じて、世に先見の通る

一 世に先見の通る信じて、世に先見の通る

世に先見の通る信じて、世に先見の通る
世に先見の通る信じて、世に先見の通る

古六日 世尊

一 休日 西澤殿の白土火焼の金銀

一 山登りの事

一 松り上人 今日中野成村に在りて

一 町奉行の事

一 松り上人 寺村の御事

松松十郎殿

松松十郎殿

西川五郎殿

一 柳下五郎

一 町奉行上人の御事

一 町奉行上人の御事

一 町奉行上人の御事

一 町奉行上人の御事

一 町奉行上人の御事

一 町奉行上人の御事

中野

松野

一 町奉行上人の御事

一 町奉行上人の御事

一 町奉行上人の御事

傳書

高張式人 若柳燈物式人 先信之入 口付式人
兼黨四人 陸 兼之右 長地 對右
皆能 而具部行 押

門 兼黨三人 一人 一人 一人 一人

以上正和

白署出在嘉治沙安令政成其由可治其政
今政之立其法也若其自為治其政也

梅春 一名 兼黨三人

右任之三人 兼黨一人 使荒本言者其言其出并治其

兼黨百包其目海者其出入以上正和之通

以上

今政就其通國之政其之政也其治其政也
其政其動可治其政其治其政也其治其政也
目海之道其治其政也

六月廿六日

但上杉原上包上正和之通

廿七日

一 例に出仕 澤野殿旨伺申細産迄出

肩痛の旨申付是令

若田殿馬

右より法合申付用者有也

荒木玄着

右

大数指進 沖能給言 沖能

沖意有、山澤津迄進 沖能

山澤津迄進

右列後田沖上知國船かり凡之程船程申
三年半程有、おのり遠山内法田山澤津迄進
右列後田沖上知國船かり凡之程船程申

右列後田沖上知國船かり凡之程船程申
三年半程有、おのり遠山内法田山澤津迄進
右列後田沖上知國船かり凡之程船程申
三年半程有、おのり遠山内法田山澤津迄進
右列後田沖上知國船かり凡之程船程申
三年半程有、おのり遠山内法田山澤津迄進

一 右列後田沖上知國船かり凡之程船程申
三年半程有、おのり遠山内法田山澤津迄進
右列後田沖上知國船かり凡之程船程申
三年半程有、おのり遠山内法田山澤津迄進

何事直薄心口相一也

但此心口不一也

一者自有何人教其如此也
自之如此也故直之於其心也
也格也或具其心故直之於其心也

一者社也

在何人公使信也

在何人

使信

何雲院

法法法法法法法法法法法法

今晚到湘美口當地

山則及宿年亦出丁

在何人公使信也

六月廿一日

金泉十物

信回友也

右明在何人

在何人公使信也

在何人

信

何願好

在何人

此信名或下宿仕合年好の破り家に
多成法在現重田信年今好律備前
心着仕有為信之可田信年今好律備前
宿下上夜中

六月廿六日

松井隆久

右今好律前之人今使信年一之好律備前好律

仕有法月好律前好律備前

但先係此使名者此田信年今好律備前好律備前

昭信之好律備前好律備前好律備前好律備前
好律備前好律備前好律備前好律備前

目錄

紙張茶 一名

好律前之人

使信 東雲院

大寺極蓋津重信法藏法在現重田信年今好律備前
今收物信年今好律備前好律備前好律備前
好律備前好律備前好律備前好律備前
好律備前好律備前好律備前好律備前
好律備前好律備前好律備前好律備前

是年八月廿一日

九月

一、

今秋地外... 已...

是年... 信... 藏... 信...

卷八

信... 藏... 信...

卷八

信... 藏... 信...

卷七

信... 藏... 信...

卷七

信... 藏... 信...

卷七

一、

今秋地外... 已...

信... 藏... 信...

卷七

今秋地外... 已...

除夫...

山小姓氏
山用人

山物氏

山住氏

山物氏

山月氏

山物氏

有...

一身...

任...

仕...

任...

但...

...

...

...

...

...

小月甘三人

右乘船一件有為又、其合部、其合部、其合部
同甘三人

一 山級月甘三人

昨日及今乘舟之人、山皇体、小月甘三人
おきる人等也

一 古社年日記

持舟之人、山皇体、其合部、其合部、其合部

一 火と山皇体

山皇体、其合部、其合部、其合部

持舟之人、山皇体、其合部、其合部、其合部
沖下火と山皇体、其合部、其合部、其合部

中道右儀、其合部、其合部

一 山級年日記

昨日、山皇体、其合部、其合部、其合部
おきる人等也

一 山級年日記

昨日、山皇体、其合部、其合部、其合部
おきる人等也

一 山級年日記

昨日、山皇体、其合部、其合部、其合部
おきる人等也

中道右儀
植松中道右儀

國師衛士
無程物

右昌志寺見也了之者如給後年一也乞上人書之

一 御面書之

関口能吉

叙文橋外大原安治川町
上井角控申部
正統の精進前物
先立公印別紙

一 先年津波甚しき時久しと免伯者大山院上控現
西林寺上津助信之入給上御也

一 津代系津波御事有之御事平一
津代系津波御事有之御事平一

一 上為津波御事津波久しと免伯者大山院上控現
津代系津波御事有之御事平一
別甚度御事有之御事平一

正八日

一 休日
西津敷
津波御事有之御事平一

西林寺
山村貞

右 津代系津波御事有之御事平一

一 已子孫公田

美善之風 敦厚之俗 忠孝之人 仁義之節 禮義之節 廉潔之節 忠孝之節 仁義之節 禮義之節 廉潔之節

山口公亮

一 已子孫公田

美善之風 敦厚之俗 忠孝之人 仁義之節 禮義之節 廉潔之節 忠孝之節 仁義之節 禮義之節 廉潔之節

美善之風 敦厚之俗 忠孝之人 仁義之節 禮義之節 廉潔之節 忠孝之節 仁義之節 禮義之節 廉潔之節

美善之風 敦厚之俗 忠孝之人 仁義之節 禮義之節 廉潔之節 忠孝之節 仁義之節 禮義之節 廉潔之節

美善之風 敦厚之俗 忠孝之人 仁義之節 禮義之節 廉潔之節 忠孝之節 仁義之節 禮義之節 廉潔之節

一

一 人数... 姓名...

古九日

一 初出仕 需... 同...

許... 之...

菅原... 喜... 秋...

早川... 浪治

山... 浪... 早...

右... 浪...

早川... 浪治

右... 浪...

男子... 浪... 早川浪治

山崎八徳次

山崎八徳次

一 山崎八徳次

福成寺
田

福成寺

一 福成寺
福成寺
福成寺

一 来月一日

西所

後日

一 休日 西所

一 明日 西所

一 西所

一 中山

西所

西所

西所

出石藩

御用部屋日記

文政

八年

六月

出石町公民館蔵

文政八乙酉年

御用
日記
磯野実彦

六月小

平年寄
 由勝子方中本人
 由本人
 由約法
 由那基以
 所育以
 由那基以
 由佐士以
 由月有
 由那月有
 由那月有
 由那月有
 由那月有
 由那月有
 由那月有

磯石海岸
 本間市街
 由 吉倉
 岡部岩屋
 福地海岸
 植松吉倉
 由 海岸
 岩 吉倉
 野崎市街
 如部岩屋
 小川吉倉
 小川岩屋
 竹村小岩屋

火消

西藤岩屋
 岡部岩屋

噴火台論稿
 杉原岩屋
 堀田年交

朔日 晴

一 俗別出紅 西冲敵當日冲敵俄在紅軍被獲者
例之道當日冲敵俄向冲敵俄之俄軍出動在
冲子標方當賀在商市處在以上

一因冲冲敵在
冲子標方當賀在商市處在以上

出用一人

一 今期 冲城見兵多如冲別系之出冲

冲城見兵多如冲別系之出冲

一 先月冲山家冲人別指城書系川在冲

先月冲山家冲人別指城書系川在冲

一 冲城打小先月中進在紅軍在

冲城打小先月中進在紅軍在

野間殺生

冲先

青友告

鐵軍

右之通江 冲名於冲城

但冲馬小冲後冲記冲在冲城

西冲敵在冲城

一 古之通江人冲月有冲後冲

古之通江人冲月有冲後冲

一 古之通江人冲月有冲後

冲

信恭流極冲一周忘相冲

信恭流極冲一周忘相冲

進之相為冲

六月 朔日

一 所定例程

當月中津城不築護戶之通入也

赤利帝

十五日

兵賊天

十六日
十七日

智明院觀者

十九日

一 山形寺例程

當月中在方集續戶之通入也

官民村觀者

十七日

中村寺家

廿四日

下口川下

廿九日

積福氣有引五萬年如以

津後公使養在任難在右任難在左任難在右任難在左

可任官中醫所在中使中使中使中使中使中使中使中使

伊河安

麻尾寺寺法將安之助儀以

津後城德運果公任後湯法為任難在右

相後任有付文之一也入為任後官願書以文之也

西川島

麻尾寺寺法將安之助儀以

津後城德運果公任後湯法為任難在右

西川島

一 寺社寺例程

戶之通入也天集續戶之通入也

東七十六日言六つ也

同日十七日言六つ也

伊河安

伊河安

伊河安

右今般赤利帝屋被及天被公使之行年也

伊河安

伊河安

明後二日黃文龍
為他處書局之公報錄也

園口江傳部
中村花柳

一 戶、市、浦、子、出、人、數、少、因、年、久、以
仙、背、台、別、序、於、上、後

學人
左田志氣
伴 管集

左田志氣
古田辰生

所子
金島十郎

山崎
山崎

山崎
山崎

山崎
山崎

家、村、及、海、邊、意、思、亦、大、行、場、也
而、長、在、此、有、海、邊、意、思、亦、大、行、場、也
亦、用、人、及、其、意、思、亦、大、行、場、也

河、野、浪、白

一 古、月、人、室

介、羽、江、戶、夜、
亦、多、也、

早、川、海、吹
山、崎、辰、生
重、田、景、次

一 同、別

一 亦、用、以、正、後、亦、大、行、場、也

早、川、海、吹
山、崎、辰、生

一 亦、能、古、月、也

山、崎、辰、生
亦、多、也、

亦、能、古、月、也、亦、能、古、月、也、亦、能、古、月、也、
亦、能、古、月、也、亦、能、古、月、也、亦、能、古、月、也、
亦、能、古、月、也、亦、能、古、月、也、亦、能、古、月、也、

香信行中... 念之... 國舟... 義

一 所行在

和利... 亦... 中... 該

其和... 其... 該

助升馬次

右... 備... 書... 中... 該... 及... 圖

中西

右... 該

作... 之... 表... 日... 日...

右... 日... 海... 行... 中... 該

二日

休日... 何... 日...

其... 該

每... 該

其... 該

其... 該

知... 該... 該

但二番田番目付自前年以來并去宿上之旨に於て改修に着手せり
舟より通す所

一 出用入直

産様は生々しく山に
四人女首今も
少くは時より後には
前記の中

四番田番目付

真野彦美

一 出日費

一 休日 粟津殿付何れも納戸に
経年寄

津代音

本國神馬

石今得お勤り後一

御家柄女徳波舟
山中大河津高
舟越
津産指違ふは
津有旨今
所産屋中流

河野使

一 六日

一 制別出仕

粟津殿上法
お仕奉る
何れも

河野彦美

一 四日付直

娘は色
今期
今期

本國神馬

一 今週冒雨の中

四月七日日曜日冒雨の中、山崎大助氏等
御交代に於て、中一の山崎少藏氏に
代りて此後、中一の山崎氏に
代りて此後、中一の山崎氏に

六月廿一日

秋田県立病院

山崎氏中

一 豊島七郎山崎氏等、中一の山崎氏に代りて、
昔は、山崎氏に代りて、中一の山崎氏に

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

一 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

山崎氏 山崎氏 山崎氏

按 聖德太子九年九月廿八日

廿八日 廿九日 三十日 三十一日 十月一日

所立之人
禪門之念
著人
祿人

一 出月入重

左通 腹 依世法 法華經

老若 加設 自有

采田 勝 處

一 可重行重

左通 可 依世法 法華經

退 行 重

小 泉 洞 者

右通 乃 止 人 伴 僧 病人 亦 一 個 樂 於 法 華 經

空 動 止

昌 念 寺

同 有 止

和 念 寺

退 行 重

如 夏 寺

同 有 重

山 白 台 寺

同 有 重

山 白 台 寺

同 有 重

山 白 台 寺

本 當 年 七 遊 乃 止 人 一 處 之 後 自 有 人 遊

山 白 台 寺 法 華 經

一 山 白 台 寺

養 父 能 高 地 著 信 宗
元 和 十 年 法 華 經 一 卷 終 止

國 山 白 台 寺
中 村 宗 師

六日 晴

一 休日 雨声敲之 留小纳户 云云

真龍院様

伊西月三台

經王寺様

浪卷寺

津代様

荒木玄翁

一 遊河之人 以能礼公比止宿之節 接授手文

書状 何事 乃云云 公比 有自 返書 若德 快入

莊 野之者 相渡 夜所 有乃 中 後 復

一 此月 入 草

文字 在 門 後 宿 氣 不 相 能 禮 公 比 有 着 意 手 帳 拜 願 仁 意 云 云 相 渡 夜 所 有 乃 中 後 復

以 津 宿 母 同 道 兼 妻 子 也 相 渡 夜 所 有 乃 中 後 復

心 依 陽 信 仁 意 云 云 相 渡 夜 所 有 乃 中 後 復

某日 晴

長谷川 為 現

一 寺社 寺 乃 在

見性寺

右 檀 中 齋 淨 新 在 乃 及 公 比 年 津 延 放

何 有 是 行 在 甚 入 深 乃 存 乃 公 比 年 津 延 放

張 乃 公 比 年 津 延 放 乃 公 比 年 津 延 放

乃 公 比 年 津 延 放 乃 公 比 年 津 延 放

乃 公 比 年 津 延 放 乃 公 比 年 津 延 放

右 乃 公 比 年 津 延 放 乃 公 比 年 津 延 放

寺 仁 怒 乃 公 比 年 津 延 放 乃 公 比 年 津 延 放

寺 乃 公 比 年 津 延 放 乃 公 比 年 津 延 放

寺 乃 公 比 年 津 延 放 乃 公 比 年 津 延 放

七日 曇菴著

一 西津殿上紅花紫左京平年著在仙衣左紫
結古署中何津機嫌上 津自是 作自
但津自著上上在

心刺出紅

一 津子樣市上署中何津機嫌不同市為上上

一 同津自津屋上署中
署中何津機嫌上上

一 津小姓次
津自人古

浦子津人教

一 反側方
津自想

荒不言著
岩田靜島

一 右通書 作自台了腹

一 山目有筆

竹村小左部古仁件
月為右部古仁

無定腹
中津自為

一 山目有以上古段人其不思代而一切津自為

署中何津機嫌上上

一 右通書 作自台津自部屋了腹

作自同案書

津自年能

一 右通書

一 右通書
右通書合右部古仁
津自部屋了腹

山目有筆
津自為

一 豈因沙家元中署中何狀其自公候而夏自

所書何沙家元公候返書為恐奉後
早奉行相渡

一 山目有筆

是病氣三引... 養生紅... 相... 願...

日蘇...

一 四月八日

右田...

右天氣... 十日... 和山... 試...

一 四月八日

右... 道中...

傳...

八日

一 休日

西...

一 四月八日

今... 志... 門... 武...

右... 傳... 楊...

右...

九日 晴

一 伯列公仁 西津殿 日向小細戸

其日通徳之廟後宿願之有城跡於尾崎
金毘羅之宮前日師春活為住意宿願書
其日即日願後治令自沙平部金中後

城上宿願

一 宿願 自有同新者宿願紅皮名願書
其日一人宿願書 即日願後同人之書

山田無左衛門
本間貞吉

一 明日以月願願後同人之書

日藤孝義

一 正月有整

今期右田志多小門書火矢試場所 其後年能
立之云々如相習候之云々也

一 所書所達
少部貞有

奥山川鹿 君后以是居一昨日切之相習書
小收最繕少如相習候之云々也

一 少部貞有

明後十日二島多那
伊豆村 菅信所書
其日也

中嶋信長
菅新 彌
高田嘉兵衛

一 正月有整

明後十日尾浦山全二日取合候
有之有同部大之部書 送為也 其日也

公波雄之丞

一 江戸春先月廿二日 本津渡書

殿様在候
上之様並申掛條紙 其日書在部 送別書云々
中津津用白左之通

四月廿八日

山為舟辰

信恭院掃淨一周至二月二十四日三夜二日
淨法事淨地以淨地之儀大至寺下淨地者
相前名中後之也

一 淨法事料出目錄左通

淨法事料

淨法事料

四月廿九日
一 淨法事料出目錄左通

信恭院掃淨一周至三月二十四日三夜二日
淨法事料出目錄左通之儀大至寺下淨地者
淨法事料出目錄左通

淨法事料

一 淨法事料出目錄左通

淨法事料

淨法事料

淨法事料

淨法事料

一 淨法事料出目錄左通

淨法事料

淨法事料

淨法事料

淨法事料
淨法事料
淨法事料
淨法事料
淨法事料

口 一人

口 一人

口 一人

口 一人

口 一人

口 一人

杉原三喜藏

藤田物左次

河野丹次

藤原良助

西村三男

松井良吉

白井新八

番士

葛岡半左

小林保

加納新次郎

清原清

小林保

小山成丸

早川保

西村門平

竹村繁吉

徳平自介

徳士

不津法事有山家平六之也其助勤修徳人

中後中

一 方 通 一 方 通 一 方 通

内 旨 漢 字 山 家 平 六 之 也 其 助 勤 修 徳 人

中 後 中 山 家 平 六 之 也 其 助 勤 修 徳 人

西 月

山 家 平 六

一 伝奉院御許一因家二夜三白津法事御旨二有
左一連大前寺一知路也

但此後御用入心止不承記御申付申下

酒白清也

喜来海邊

在東二舟也

依田知更

白井新八

度是年也

早川保

会田重介

西村門平
小林信也

山後土有村

山後土

山後

一 平代香乃一連

殿極

横濱院一折

大殿極

口行一折

大奥極

名山燒一折

汗前極

七人通一折

山白清也

名同人

神谷七六三

名同人

龍溪
多齋
因山
龍輝
於萬
於萬

汗苑一卦

漢
以級人

一 大奧極

汗前極分道消法事以

何有以執形有以主事以用人以平法也

以有法多料
根以收

一 以
以月有以主事以法分以向以法海法事以收
於多以以收以以以以以以

一 依卷院極汗一月家古汗日有以以以以
大書以以以以以以

但云後日以

法年
仙石主計

以月
信田七年

以月
林自山

以月
河此村次

以月
松升結發委

以月
小林沐向

以月
加約新第

以月
信以物

以月
竹村繁一
山成内

一 淨代香房通

教條

深斗夜

中後土月有
山後土
小次
法

大教條

根三夜

右同人

大奧條

全書是

右原新

淨前條

全書是

右同人

編始條
多教條
因山條
於舞條
於前條
於百條
与條是行宛

法
山後人

一 仙衣法

御月也

山後法事料

白後法

一 信恭沈條

山後大書与(山後)

山後法事料

津子家

酒白清

津子

大蔵

津子

橋本

津子

佐田

津子

西村

津子

平尾

津子

子川

津子

三田

津子

小林

西村

中尾

津子

山

東

一

津子

津子

津子

津子

一

津子

津子

仙石 津子
仙石 津子
仙石 津子
仙石 津子
仙石 津子
仙石 津子
仙石 津子
仙石 津子
仙石 津子
仙石 津子

根之五

法之五

法之五

全之五

法之五

一 法之五の法之五の法之五の法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

一 法之五の法之五の法之五の法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

法之五

不致入海江作名一様也

口

如後依國及中一様也

亦名者之

交致六十年八月

佐茂松

三時十時... 佐茂松

一 乃... 佐茂松

因... 佐茂松

無庫... 佐茂松

乃... 佐茂松

佐茂松

佐茂松

道中

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

予之通江始自年丁卯也

一上秋辞云大端欲涉一男每物涉涉事
其涉涉涉涉涉涉今居到涉涉涉白金
其涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉
權涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉

涉

清如水物

系川涉涉

涉涉士

涉涉

涉涉

山中忽忽忽忽忽忽忽忽

涉

涉涉涉涉

涉涉士

涉涉

一夜四时以下各通此火之通也通火之通
其通也通也通也通也通也通也通也通也
其通也通也通也通也通也通也通也通也
其通也通也通也通也通也通也通也通也
其通也通也通也通也通也通也通也通也

但本火之通也通也通也通也通也通也通也通也
其通也通也通也通也通也通也通也通也

六月九日 涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉

涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉

涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉

涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉

涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉

涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉涉

仙石正計

石 沖代者如動也
一四日付至

今細中書
出年一旨

小次 八
由 書 人
由 防 人
由 道 人
由 事 人
由 隆 人
由 馬 人
由 中 人
由 中 人
由 中 人

石 四日

石 四日

和 田 又 務
小 次
市 平
音 三
世 人

石 七日
一 四日 人 至

由 料 人 不 致
由 竹 枝 加
由 位 分 音 意 常
由 席 是 進 一 通

大 次 及 音

石 七日
一 四日 通 法
作 月 音 文 記 以 了 後 以 重

石 七日
一 四日 通 法
石 七日
一 四日 通 法

木 村 共 年

存一通本願口了畢所有但後子以次可了後了後

一 序 通沙名書沙日香多新到好身後出卷

城前古為身後由物多更持未多心多世序日序子
沙城之位一書

私養方叔文云汝國之亂係此度兵陣之改名仁仁

世每沙日香一書

六月十二日

升名

一 仙石修理社之當十八日大廣院沙一用忘沙法有存序

仙石修理社

仙石修理社

仙石修理社

一 野菜

一折

右山用一人 在凡上以多也

一 田島日出寺 序 通沙

田島日出寺

田島日出寺

田島日出寺

田島日出寺

一折

右山使者

新代樓名

新代樓名

但 古田使古田通書者 一相前之何 一知昔言古田義之史
引 古田之其多心一人區 古田之其多心一人區

沙日法書寫

六月廿四日

三折 仙石

仙石

甲斐石法書

不省故送有知者
作有公送故同卷并到
知好序一深一若年年并到也

大年福以之号
若云若年何
年合
与木带刀

不
作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

不
作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

日六日
作有公送故同卷并到

作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

不
作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

不
作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

不
作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

不
作有公送故同卷并到
作有公送故同卷并到

不省故送府北香也 你自名於彼人同雁行到東
如好身一似一若年年年年何也

大平場... 辛亥年正月

不之 你自名於彼人同雁行到東

你自名於彼人同雁行到東

不之 你自名於彼人同雁行到東

日六日 冲空同

日光... 冲空同

不之 你自名於彼人同雁行到東

日光... 冲空同

日光... 冲空同

不之 你自名於彼人同雁行到東

日光... 冲空同

不之 你自名於彼人同雁行到東

日光... 冲空同

日光... 冲空同

日光... 冲空同

不之 你自名於彼人同雁行到東

十日 收信

休日 西津殿より向山小納戸に参上

廿二日 西津殿より向山小納戸に参上
金花殿より向山小納戸に参上

水原寺

廿三日 西津殿より向山小納戸に参上
金花殿より向山小納戸に参上

山田惣左衛門
本間貞四郎

十一日 收信

一 信列知江 西津殿より向山小納戸に参上

一 少納戸に参上

中津藩より向山小納戸
月若相前より向山小納戸

奥山
関上氏傳

一 西津殿より向山小納戸に参上

左へ通し後戻りの向山小納戸に参上

此言の三條の信
形左衛門の信
江殿より向山小納戸に参上

八條より向山小納戸
向山小納戸

水原寺
小納戸
料也

一 西津殿より向山小納戸に参上

廿四日 西津殿より向山小納戸に参上
金花殿より向山小納戸に参上

津田丹次

九條より向山小納戸に参上

信左衛門より向山小納戸に参上

左へ通し向山小納戸に参上

改名

左へ通し向山小納戸に参上
左へ通し向山小納戸に参上

水原寺
本間惣左衛門
酒井多喜
相原多喜
去肥多喜

太願之通話

但吾願之通話

山形之通話

昨日山形野台菅原氏
為身之通話

塔田氏

宿願之通話
宿願之通話
宿願之通話
宿願之通話
宿願之通話
宿願之通話
宿願之通話
宿願之通話
宿願之通話
宿願之通話

山形之通話

太願之通話

但吾願之通話

塔田氏

山形之通話

塔田氏

太願之通話

山形之通話

但吾願之通話

塔田氏

昨日山形野台菅原氏
為身之通話

十二月一日

休日

西津殿之通話

昨日山形野台菅原氏
為身之通話

塔田氏

昨日山形野台菅原氏
為身之通話

見性寺

在空林影下為碧泉如畫後病為報從仁多有娘
道門前山名正一香元上於一香御回
冲免多欲中亦亦欲為居青行子以中道多有欲返
冲許為首一也情之御酒相成上如一有知得之
冷 冲因之意三亦道多之極其長身三仁德仍為仁中
底氣合復信之仁亦三亦長女之欲青社亦以三三三
東之下一也

見性寺中塔之遺跡中
平段之故少也人之了也

新在親
不長收如

十二日 曇久雷雨

仁別出仁

西所殿 自留小繩戶之也

長福之弟一有不如意一亦之當多事
長福之弟一有不如意一亦之當多事

亦不長

以 冲之屋作在也 亦得御屋之仁
湯治江那之台在也 仁有仁一也 入
仁之台在也 小川之也 仁有仁一也

亦不長

冲之屋作在也 亦得御屋之仁
湯治江那之台在也 仁有仁一也 入
仁之台在也 小川之也 仁有仁一也

亦不長

大願寺 仁之台在也 仁有仁一也 入
仁之台在也 小川之也 仁有仁一也

仁之台在也 小川之也 仁有仁一也
仁之台在也 小川之也 仁有仁一也

一月月付造

今日月居相聖位
丁建山堂

原六部在考

一 寺社奉行造

嘉利帝御流後御口他後御某有以御曾友八日付
正遷信住御座中丁建山堂

一 名三有前二之道

所代春相前御口御座中丁建山堂

花十六日御殿御口御座中丁建山堂
丁後御流御座中丁建山堂
御流御座中丁建山堂
御流御座中丁建山堂
御流御座中丁建山堂

一 山取奉行造

御流御座中丁建山堂

御流御座中丁建山堂

氣多御流御座中丁建山堂
委御口御流御座中丁建山堂

一 山管奉行造

五本御流御座中丁建山堂
御流御座中丁建山堂

御流御座中丁建山堂
御流御座中丁建山堂

御流御座中丁建山堂

一 山取人造

五本御流御座中丁建山堂

御流御座中丁建山堂
御流御座中丁建山堂

御流御座中丁建山堂

御流御座中丁建山堂
御流御座中丁建山堂

御流御座中丁建山堂

（長信）
取信於人 恩如雨露

長信

（附）
信如日月之明
信如金石之堅
信如松柏之茂

信如

一 日月入透

當面年一歲三山六海三至美 終所望各
年物上及通相向降化若何通一
為知
後報
一週
一春
一月
一月
一月
一月
一月
一月

（附）
一月

一月

古之所謂平均

米名

米名

米名

米名

米名

但字各平均
作同字
七

（附）
一月

十日 晴

一 昨日 西河殿 何書記 小絕戶 下午

明日 必 必 必 必 必 必

原 亦 能 奪 矣

一 昨日 西河殿 何書記 小絕戶 下午

昨日 必 必 必 必 必 必
今日 必 必 必 必 必 必
明日 必 必 必 必 必 必
後日 必 必 必 必 必 必
五日 必 必 必 必 必 必
六日 必 必 必 必 必 必

一 昨日 西河殿

昨日 必 必 必 必 必 必

本所 在 行 區 必 必 必 必 必 必
昨日 必 必 必 必 必 必
明日 必 必 必 必 必 必
後日 必 必 必 必 必 必

十日 晴

一 昨日 西河殿

一 昨日 西河殿

昨日 必 必 必 必 必 必

明日 必 必 必 必 必 必

一 昨日 西河殿 何書記 小絕戶 下午

昨日 必 必 必 必 必 必

一、因法本秋金...

山田...

一、利率...

原...

右介...

一、...

小...

一、戶通...

一、...

改...

一、...

左...

一、...

金...

一、...

官...

一、...

王...

一、...

山...

一、...

原...

一、...

中...

一、戶通...

一、...

公...

志在... 仰... 後...
... 中... 命... 動... 之... 位

十如... 古... 因... 以

平... 雅... 古... 因... 以

平... 雅... 古... 因... 以
... 依... 古... 因... 以

... 書... 後... 主人

... 書... 後... 主人

... 書... 後... 主人

... 書... 後... 主人

... 書... 後... 主人

一... 通... 津... 用... 後... 以... 官... 明... 後... 十... 百... 四... 村... 出... 土... 經... 戶... 後... 者

... 功... 事... 以... 中... 後

... 免... 是... 領... 川... 文... 地... 方... 政... 代... 官... 平... 勸... 定... 聖... 皇... 後

一... 乃... 南... 北... 雲... 洞... 石... 仰... 有... 以... 官... 奉... 在... 十... 九... 日... 前... 仕... 任... 後

... 平... 後... 官... 亦... 自... 有... 十... 九... 日... 後

... 政... 野... 傳... 定... 古... 田... 志... 是... 會... 只... 十... 物... 谷... 傳... 年... 能

... 若... 七... 年... 在

... 若... 知... 古... 及... 善... 後
... 以... 奉... 入... 官... 任

... 亦... 今... 自... 古... 凡... 十... 六... 年... 中... 後... 之... 事... 有... 人... 涉... 及... 不... 仕... 以... 亦... 亦... 合... 仕... 不... 官... 後... 仕... 如... 因... 後... 仕... 官... 有... 不... 仕... 及... 官... 不... 仕

... 石... 因... 以

... 政... 野... 傳... 定

... 亦... 今... 自... 古... 凡... 十... 六... 年... 中... 後... 之... 事... 有... 人... 涉... 及... 不... 仕... 以... 亦... 亦... 合... 仕... 不... 官... 後... 仕... 如... 因... 後... 仕... 官... 有... 不... 仕

一 右回りの文記の志は
入念に付る也

山崎信行

右支記の志已記未の及も、道中、有る自白
但先念、此の付録、其の宜相、其の後、其の及も、
意味、命、其の付録、其の後、其の及も、

一 乃、道中、自付、其の及

一 進来、子、其の完、亦、其の及、其の及、其の及、
其の及、其の及、其の及、其の及、其の及、
其の及、其の及、其の及、其の及、其の及、

右、後、前、中、後、其の及、其の及、其の及、
其の及、其の及、其の及、其の及、其の及、
其の及、其の及、其の及、其の及、其の及、

右、後、前、中、後、其の及、其の及、其の及、

六月十日

山崎信行

山崎信行

右、後、前、中、後、其の及、其の及、其の及、
其の及、其の及、其の及、其の及、其の及、
其の及、其の及、其の及、其の及、其の及、

一 右、後、前、中、後、其の及、其の及、其の及、

一 右、後、前、中、後、其の及、其の及、其の及、

一 山崎信行

乃、道中、自付、其の及

山崎信行

山崎信行

山崎信行

四但係空海一引後史口後致言
四角部在在在中途
但(四角部在在在中途)

四角部在在
四角部在在
四角部在在

五和友之友之友之友

五和友之友之友之友

本是之組月番上以次之(和今日係空海)此後有
以書信之形上及書信之形上及書信之形上
不食有出入之目人(此後係和同)每五家

麻是也(此後係和同)每五家
每(和同)每五家
冲(此後係和同)每五家
沙(此後係和同)每五家

右同(和同)每五家
右同(和同)每五家
右同(和同)每五家

十六日 收信

一 休日 需(和同)每五家
一 需(和同)每五家

小人(和同)每五家

二(和同)每五家
三(和同)每五家
四(和同)每五家

增(和同)每五家

仙(和同)每五家

三(和同)每五家

津免子通背介段
お前が在りたしと云

仙石左兵衛

石川内子百介段
お前が在りたしと云

仙石左兵衛

但し左兵衛は在りたしと云
お前が在りたしと云

津免子通背介段
お前が在りたしと云

仙石左兵衛

十七日 姓

一 伯別出仕

西津原の津免子の段
お前が在りたしと云

津原源左衛門

津免子の段
お前が在りたしと云

津原源左衛門

一 山形奉行

松尾外右衛門の段
お前が在りたしと云

松尾外右衛門

一 山形奉行

松尾外右衛門の段
お前が在りたしと云

松尾外右衛門

一乃、通印之終、用部屋申渡之

山月付格
中務省

山月付格
山月野添

山月付格
園上左八郎

今般倉長十郎山月野添行以

山月野添中務省格山月野添行以

但山月野添行以

山月野添

山月野添

山月野添行以

但山月野添

山月野添行以

一乃、通大書院之、山月野添行以

山月野添行以

今般倉長十郎山月野添行以

山月野添行以

山月野添行以

山月野添

山月野添

山月野添行以

山月野添行以

山月野添行以

山月野添行以

山月野添行以

山月野添行以

同人致文字念昨日。而予心付以少。得在延州。而予
予亦一後。遂入。其相。出。予。心。以。相。同。予。有。太。一。每。同
人。心。以。及。予。在。其。心。

辨天然此心

心初德德是包

六教成就德願日升

聖天下

心初德德是包

山田二麻八

本今朝 冲代春相前位位中

心初德德是包

久之人生野口代春相前位位中
福家一德心初德德是包
是之中心中

心初德德是包

一德之心

久之人生野口代春相前位位中

福家一德心初德德是包

心初德德是包

久之人生野口代春相前位位中
福家一德心初德德是包

心初德德是包

久之人生野口代春相前位位中

福家一德心初德德是包

久之人生野口代春相前位位中

心初德德是包

久之人生野口代春相前位位中

福家一德心初德德是包

十九日 雲

一 松別荘 西沖教之何向之道云

中略
所記之...

仙石左衛門

一 江戸春之...

一 江戸...

六月十日

井上章太郎

岡上...

右田延藏

新井...

江戸...

本當之... 江戸... 松別荘... 仙石...

青木準範

一 江戸...

中略...

江戸...

仙石...

仙石...

古く西の邊者北の邊者(評) 不加得...
相尋... 安... 國...

山崎の日記

備前守

山崎の日記

大田

山崎の日記

金...

山崎の日記

谷津...

古く月... 山崎の日記... 山崎の日記...

休日

休日 西津殿 相違機...

山崎の日記

山崎の日記... 山崎の日記... 山崎の日記... 山崎の日記... 山崎の日記...

後

廿一日 收信

一 物利出仕 一 澤野殿上何事不化...

一 大教採今朝六時三申勸上...

一 澤野 澤野六本...

澤野六本... 澤野六本...

高田...

一 少幼...

乃通...

関口...

中村...

麻屋...

一 少月人...

少月人...

少月人...

少月人...

一 目...

目...

目...

目...

目...

目...

九万六千八百零六夜

高台願室道東九百四日
中道以有少有人

中西朱

一 讀書居在

小人可也四十許年

廿二日

一 休日 西津教士相小紀產念

一 小國寶道

汗在子以作務場
誠意常於信也

右田也

廿二日 收信

一 仙引仕 西津教士相小紀產念

府痛... 中... 大... 汗... 汗...

出田神馬

小川...

先... 他... 汗...

指...

小川...

汗... 汗... 汗... 汗... 汗...

中西...

右... 汗... 汗... 汗... 汗...

難... 汗... 汗... 汗... 汗...

右... 汗... 汗... 汗... 汗...

敬... 汗... 汗... 汗... 汗...

一... 汗... 汗... 汗... 汗...

右田...

右... 汗... 汗... 汗... 汗... 汗... 汗... 汗... 汗...

汗... 汗... 汗... 汗... 汗...

東田...

汗... 汗... 汗... 汗... 汗... 汗... 汗... 汗... 汗...

廿四日 使信

一 休日 西津殿白之何止小細戸口居也

一 大殿板六の付津依候言 宗權等上 津押所迄

一 菊人並

由有諸として
今附か立法を

中西東

一 少納言迄

下口津様付家寄湯
又分り直道好御言上

園口乃守
中村巻切
麻是年也

一 菊人並

少納言言上菊人並
夕方召由之候上運出

白行半束
山崎宗文

廿五日 使信

一 侍列出仕

侍列出仕候
西津殿上居也

徳時宗等

一 菊人並

長来子也

一 菊人並

白行半束

一 衣大坂表の取口由之 西津殿上居也

一 右月より侍列出仕候言 宗權等上 津押所迄

一 寺社奉行並

本高寺

右法司身付本高寺 中々中々村迄候言

一 回遊
當市中、住用之義之經王寺打金、位中遊中、

在光明院、是迄、住者、老年、在、跡、古、役、
お尋ぐ、兼、智明院、は、是、年、一、名、田、根、付、
右、之、信、も、是、之、故、に、お、定、一、名、田、中、お、定、
本、古、表、し、お、海、本、古、し、信、状、并、古、し、信、文、書、
古、心、の、古、心、信、文、お、成、一、名、田、原、し、是、
外、通、し、對、し、信、中、信、

光明院

無蓮

智明院

之覺

廿六日 修行

一 休日 西津殿 江村小細 戸山 宗義

一 江戸是當、廿六日、江戸遊使、お、遊、多、如、

殿、様、御、始、し、し、之、様、是、津、城、始、始、之、是、津、是、始、

以、別、系、云、少、在、自、一、名、田、用、白、乃、之、返、

江戸共々

一 江戸遊習書之級

清如水 始

在、中、遊、中、 仁、村、守、志、山、田、部、尾、中、信、中、

江戸信少教
く、信、少、教、
乃、信、中、

修、乃、信、代、り

乃、信、少、教、
乃、信、中、

今田園者了

日共
一 山坂如田庵

山坂定行
杉原平庵
藤元中庵

右五平一平正身よりして身大都定如海身
と知り古山山崎如田庵なり也

山坂如田庵
一 全武了文

也少入心席

山崎鑊光
了角春庵

一 山坂如田庵
山坂如田庵

清水 将

右山坂如田庵 仙舟如田庵

先及中不意一巻
有し其受方如田
同有是合一度其意旨
但父七付三度其意旨一後

右山坂如田庵

右山坂如田庵 山坂如田庵

但 右山坂如田庵の法云云未八月山坂如田庵

僧上り山坂如田庵在燈塔石山坂如田庵種合山坂如田庵
終七文山坂如田庵如田庵之八山坂如田庵山坂如田庵
山坂如田庵如田庵之文二山坂如田庵山坂如田庵
山坂如田庵如田庵之山坂如田庵山坂如田庵
山坂如田庵如田庵之山坂如田庵山坂如田庵

一 山坂如田庵
山坂如田庵

山坂如田庵
山坂如田庵

右山坂如田庵

山坂如田庵 山坂如田庵

山坂如田庵 山坂如田庵

山坂如田庵

山坂如田庵

山坂如田庵 山坂如田庵

山坂如田庵

山坂如田庵

山坂如田庵 山坂如田庵

多目之拾夫

原花

不日乃更記以中後也

一少目人直

國根幸命

在道中後也

一石口行

中村徳吉

中村徳吉

在石口行

一石口行

中村保吉

中村保吉

一石口行

六年

中村保吉

也

在石口行

中村保吉

中村保吉

一石口行

中村保吉

中村保吉

在石口行

一石口行

合書是之

小林模範
友有吉也

右志

伝巻院極 津御利并

汗家督山入南出知定お海首取下言し後い也

一 公用入 有目付少共故人主以下忍代志相

沙飯屋中し上り也

一 是中い以上し半海常お年高娘出故人主と云

一 此等馬右右連

今朝 西所九に半海常出秋上常海常

一 少利人並

全之友

山徳士拾之人

あふ高耐い流し筋は在りぬ少後言し向し衆切

しぬ流し言合言有以来し形にさ致す下所以上

しぬ下り也

白漆一斤

山徳士拾之人
佐友春一郎

太志お出さし一前少後士ゆり也

伝付主い有し取下り也

一 伝巻院極津邊用代いり遊茶は下光懐子

松平安藤守候

○ 一 津掛丸 一幅 差尾 常伝守

但天比茶袋は地象也

松平上総守候

○ 一 二幅封

但天比茶袋は地象也

中巻書
石石 法信中巻書

收野曼前守杖

○一 南系清多葉粉盒 一面

但小道具也

石沙使者口留守后依田助多主和勤也

酒升維樂杖

大福也

○一 沙掛也

但天地茶純子體象也

一幅 清多葉粉

松平伊豆守杖

一 二幅射

研削子

標玉存也

但天地茶純子體象也

仙石丹波守杖

一 二幅射

山水

清信也

但天地茶純子體象也

仙石次書信杖

○一 沙掛也

沙大小 一腰

沙刀

備前林光

壽部人守也

沙柄 白鏡

三所也 色法也 香花也 金囊也 浦 泰山元堂作

小刀 行門守國印

沙依次茶相七 子色法作在

香信政以作

沙柄依松透

沙紐依卷二更金袋

沙切好段卷金袋小刺

沙踏自全

沙柄依杖銀四去系

沙下信似組貝ノ口

沙鞘端也

沙眼也

津田殿前守印廣

長井守人守也

涉柄 白髮

涉日 卷尾後篇附錄

涉小柄 卷尾後篇附錄

小刀 丹波舟 苦道

涉依改系附七子卷後作 卷尾改明作

涉柄 換了全透

涉澗 換卷二重全云

涉切 將後卷全系別

涉踏 日全

涉柄 系似傳四全

涉下 个係似傳員ノ口

涉鞘 端也

石 涉袋 卷尾化子

仙 石 次 無 傳 換 之

涉 新 造 換

涉 規 箱 但 黑 卷 相 与 后 已 松 府 傳 子 入 後

松 平 外 之 制 換

○ 涉 掛 也 一幅 賴 政 由 伝 等

但 天 地 傳 化 子

石 涉 使 者 涉 用 人 大 卷 畫 畫 動 之

何 月 守 後 以 德 后

升 上 中 傳 入 道 換

○ 涉 掛 也 一幅 雲 新 松 林 等

但 天 地 畫 經

石 卷 口 使 者 以 遠 卷 以 道 次 小 林 涉 如 以 和

仙 石 松 埋 也

○ 涉 掛 也 一幅 藤 大 新 山 伝 等

但 天 地 白 卷 後 換

○ 涉 口 掛

但 卷 畫 卷 畫 畫 經

月影与舟松

一 沙尖

二 子精尾与假岳

仙石山松与石

一 大幅竹 沙挂为

一幅 竹 看 探信年

但天地素然于松家力

松城石门松

奥方松

一 沙观箱

但黑漆布袋者于有松心全到地松样

本沙屋看沙庭物皆法也者也如部

仙石松与石

一 沙挂为

但天地素然于松家力

一幅 竹 看 探信年

一 黑漆布袋者于有松心全到地松样 沙小松

本沙屋人子儿上以庭

松平溪波与松沙岩文

玄著松松

奥方松

一 沙观箱

但黑漆布袋者于有松心全到地松样

增山行月音松

奥方松

一 沙观箱

但黑漆布袋者于有松心全到地松样

角升伊契与松

奥方松

一 淨觀如

但墨澹氣味醇法口製子比華茶法

右山使名更山内原新名如物

一 淨觀如

一 後山圓餅

但日本奇老人 淨觀茶天作白葉七子

一 淨觀如

一 冷木宗餅

但初秋之種僅存日記茶天作茶徒

一 淨觀如

一 星野丸茶

但籍昔者天作丁子茶徒

右山名古山作札之山名

一 淨觀如

一 玉光法及

但小智名宜輝圓茶一息掛意廣長茶天作餅徒

一 淨觀如

淨觀如

但柳年天作具右田水

清香

一 淨觀如

淨觀如

右山名古山作札之山名

一 淨觀如

一 仙石心區

但竹一為標位年天作茶徒

右山名古山作札之山名

右山名古山作札之山名

右山名古山作札之山名

一 淨觀如

淨觀如

右山名古山作札之山名

吳平大監書

○一沙苑生

但白子後龍飛

久西去并

右少例

一沙苑也

一 姑蘇沙苑

但高心口皓常依采了此律純子

一沙苑也

一 休而無子

但井子玉川月信采天比茶純

一沙苑也

一 伴遠後之純

但陳為探進原天比後更純子

○一沙苑也

一 小林劫平

但唐為鶴天比茶徒恭信采

一沙苑也

一 許川六信

但家山十將業川采天比後更純子

一沙苑也

一 二木多物

但共人信采舟采天比益於純子

一沙苑也

一 井上信七

但東破探信采天比茶純子

一沙苑也

一 福清茶苑

但至國信采天比茶徒

右沙苑人

但何道子後黃股沙包相若入似海書空回

○ 采之者以有命

己未日 收信

一 御別出仕 西洋殿上へ御出納の御返書

御別出仕の御返書は
西洋殿上へ御出納の御返書
御返書は御返書に
御返書は御返書に

一 御別出仕 西洋殿上へ御出納の御返書
御別出仕の御返書は
西洋殿上へ御出納の御返書
御返書は御返書に
御返書は御返書に

一 御別出仕

御別出仕の御返書は
西洋殿上へ御出納の御返書
御返書は御返書に
御返書は御返書に

一 御別出仕 西洋殿上へ御出納の御返書
御別出仕の御返書は
西洋殿上へ御出納の御返書
御返書は御返書に
御返書は御返書に

一 御別出仕 西洋殿上へ御出納の御返書

一 御別出仕 西洋殿上へ御出納の御返書

御別出仕

御別出仕

御別出仕

御別出仕

御別出仕の御返書は
西洋殿上へ御出納の御返書
御返書は御返書に
御返書は御返書に

御別出仕の御返書は
西洋殿上へ御出納の御返書
御返書は御返書に
御返書は御返書に

御別出仕の御返書は
西洋殿上へ御出納の御返書
御返書は御返書に
御返書は御返書に

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法
思品以事

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法

但夕言一在吾法亦入吾法中法

不友人

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法

不友人

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法

不友人

但夕言一在吾法亦入吾法中法

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法
但夕言一在吾法亦入吾法中法
何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法
但夕言一在吾法亦入吾法中法
何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法
但夕言一在吾法亦入吾法中法

一 何有回宅法

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法

不友人

一 何有回宅法

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法

不友人

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法
但夕言一在吾法亦入吾法中法
何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法
但夕言一在吾法亦入吾法中法

一 何有回宅法

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法

何有回宅法乃一舉以味亦何有回宅法

不友人

常... 員... 勳... 賞...
... 勳... 賞...
... 勳... 賞...

宋人 安年

... 勳... 賞...
... 勳... 賞...
... 勳... 賞...

佐久回書

古八日 收信

一 休日 雲... 散... 上... 當日... 沙... 夜... 故... 相... 誠... 感... 一... 紙... 回...
... 細... 戶... 也... 考... 上...

一 以道... 臨... 漢... 秋... 日... 一... 變... 一... 終... 吉... 常...

因鴻信士

... 勳... 賞...
... 勳... 賞...
... 勳... 賞...

一 以日... 付... 進...

... 勳... 賞...
... 勳... 賞...
... 勳... 賞...

谷野... 花... 雲...

一 ... 勳... 賞...
... 勳... 賞...
... 勳... 賞...

善... 友... 子... 恩...

一 ... 勳... 賞...
... 勳... 賞...
... 勳... 賞...

... 勳... 賞...
... 勳... 賞...
... 勳... 賞...

中居先生に對して
之を以て其の一人
と爲す所を以て
其の一人と爲す所を以て
其の一人と爲す所を以て

天會
下條村
法華寺

十九日 快晴

一 特別出仕 一 西津殿に相見納戸に上る

西津殿に上る所あり
出仕前あり

仙石道南

一 少納言の筆

一 十九日

大田村
坪井村

一 十七日

本田旭法住持の書
多分証書に對して
其の一人と爲す所を以て
其の一人と爲す所を以て
其の一人と爲す所を以て

長尾村
三好村

一 十九日

岩手町
与野町
谷山
張上村

本田新

一 昨日の書に對して
其の一人と爲す所を以て
其の一人と爲す所を以て

弓削嘉

一 九月一日 書

一 西津殿に上る

一 少納言の筆

凡一過一有在文記中一進中

真中一上縁路

四小人表七

四新入上縁路

四半組 七

一 江戸表の各之考 其有過則状一封中人表

一 四日和田上縁路

大蔵権沙彌大上縁の各元天高知し縁の考

二 日一試し縁の各元天高知し縁の考

一 四日祭日の上縁路

西洋教上一統當日縁の各元天高知し縁の考

一 四日名真の上縁路

一 四日名真の上縁路

四代五 水科表

和丹生浦沖城表縁路の各元天高知し縁の考

縁路の各元天高知し縁の考

出石藩

御用部屋日記

文政

八年

七月

出石町公民館蔵

文政八乙酉年

津田守

日記

多摩本字題

七月六

沛年考
沛德心京用人
沛用人
沛西預
沛彭年
町年
沛知是年
沛徒士以
沛日付
沛日付
沛善活年
沛歲元
免之定以

喜承子恩
原其
伴八
西
倉
谷
長
步
谷
谷
中
宗

火消

井上之野
西山園

遠家海場

荒本甚舊
弓胡才

朔日 小雨

例刻出仕

一 西津殿上 當祭沙汰後出仕沙用檢法

作出并當日沙汰後同沙汰檢法 法用檢法

一 津子極方上 當祭中同官在 志上上

一日沙用檢法
法用檢法

沙小姓
法用人

一 先月中 沙家申人 例僧減書家 例沙用檢法

一 法上 沙用 人上 檢法

一 法檢 打先月中 巡在 仕家 例檢法 檢法

中 巡在 檢法 檢法 檢法 檢法

一 今 例津 檢法 檢法 檢法 檢法

一 沙 檢法 檢法

先月中 在 官 檢法 檢法

九日十日

檢法 檢法

亦日

檢法 檢法

一 寺 社 檢法 檢法

二 寺 社 檢法 檢法 檢法 檢法

檢法 檢法 檢法 檢法

檢法 檢法

檢法 檢法

檢法 檢法

任王寺

昌合寺

六日卯時
實相院藏
十日卯時
法光院藏
十日卯時
津定但願方

未凡二十一日書附
例年一通云云
云云

日寺

宗澤

牛馬

一 町年法蓮

為月申 河方 龜尾 乃通一也

十七日 心光院 觀音 決旨 世系錄

本四日 山（大梅）

乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

在 津城 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

一 今日 乃通

乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

一 乃通 乃通

乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通 乃通

山口姓改遷

白鷺洲修業車道在在
醫所川越佐治方上
子銀右衛門一利文集
大痛之後了哉有為國云子銀以後了哉

後山

二日 曇

休日 西澤殿 尚山口納之念
山却走所式見 知不能出席
山却走所式

江東町
二丁目

下町
十丁目

右の如く付の付に去敷と云はるる
申取所の事と云はるる付の付に去敷と云はるる

山口姓改遷

又行本位修業車道在在
他村家修業車道在在
以清江修業車道在在
右の如く付の付に去敷と云はるる

後山

飯又梅利大坂西法川町
子銀右衛門一利文集
養子史書と云はるる
子銀右衛門一利文集

関口

山口

一 一

二百五

一 何刻起仕

一 雪津殿は之何中細戸は名如久

一 山姓氏連

妹は之に終身一人を誓安
吾等も其有願去る事

村山玄

村山玄妹若女は後升
即ち縁後には縁者

願書は兩人共願書に
實に難女若女縁後

其組中彼方在りたり

関口敷介

後井外は

一 江道徳清秋日一も又不能出席

一 寺社寺の在

妻父記
加藤村

法苑寺

本病氣自ら致難お勤有恩依士後任る事
其時お後へ主才子文山下中僧徳藏は後
を不し事しお毎々中檀中お供事申上り
お願ひ申左降事し申上り願通し存念中後

寺名

其父福也子は之を願ひて
其父は之を願ひて其父は之を願ひて
其父は之を願ひて其父は之を願ひて

一 町奉行在

乃一週一明白而深居一也

進退無失

本町
西宮
門前
上野

一 山中遊玩

宜母病時一薄志
有病之時有任
津屋子心之候有病に難く言ひ申上申也

一 櫻川遊

四日遊

一 休 西津殿と一泊して遊

櫻川遊

一 休 今期 津代書物初集一遊

一 遊 遊園一遊

一 遊 京都府市場村切所の友人と名取の遊
子遊

松尾源三郎
土波雄一
大田若夫
倉平也

Vertical text on the far right edge, partially cut off.

一 右山部... 山部人曰... 宗林... 佛村... 高上... 芦山... 交相... 山部人曰

六日

一 何到... 西津... 何物... 通家

六日

一 何自... 西津... 何出... 何物... 通家

津之... 宗林... 佛村... 高上... 芦山... 交相... 山部人曰

津代... 山部人曰

七日

一七夕有六世时思出仕

一出仕若仙才九家始涉年考无仙若后佳

西津殿上在系七夕涉夜夜中上

津月是江 作付津屋斗中夜在(一)里

以裁(一)安及

一七夕有社有(一)

仙才后系
仙才后系

津月是江上一回系
七夕涉夜夜中上

津月是江
津月是江

一津子极方(一)七夕涉夜夜本昌市在(一)系(一)

一崇小書院二之間出月有(一)及(一)津涉夜夜(一)

同(一)下(一)及(一)人(一)醫(一)仲(一)三(一)五(一)在(一)津(一)涉(一)夜(一)夜(一)自(一)所(一)

五之間(一)及(一)七夕涉夜夜(一)津涉夜夜(一)

但(一)津(一)涉(一)夜(一)夜(一)人(一)其(一)方(一)出(一)極(一)方(一)也(一)

一入書院(一)出(一)涉(一)夜(一)夜(一)始(一)為(一)持(一)津(一)中(一)小(一)姓(一)三(一)回(一)

並(一)在(一)津(一)年(一)考(一)在(一)極(一)公(一)七(一)夕(一)涉(一)夜(一)夜(一)津(一)涉(一)夜(一)夜(一)

年(一)之(一)云(一)美(一)自(一)公(一)核(一)核(一)有(一)人(一)

白田延藏

不(一)天(一)氣(一)涼(一)才(一)十(一)日(一)昔(一)日(一)二(一)日(一)三(一)日(一)氣(一)涼(一)極(一)揚(一)州(一)津(一)涉(一)夜(一)夜(一)
津涉夜夜(一)津涉夜夜(一)津涉夜夜(一)津涉夜夜(一)

八日

休日 西津殿より向古小紙片上書

法光院様

寺後馬廻り

一宗隆寺

清代者

徳造角

● 片之向、所用之紙多由九月四日付紅紙

片之紙云々

并支取紙上紙下紙

紙張書

小川公彦

横井良藏

西田金吾

片野良藏

川島良藏

三宅良藏

堀田良藏

松本半藏

杉本良藏

秋本良藏

支取紙上紙下紙

九月 著

一 临别出江

西泠湖上

自尔别后

沙汀

查九月中

如新诗

仙名正計之受矣

善本之類

而之通江之春台在江之

作有台之玄蓋了後之

一 月之通江

作有台之玄蓋了後之

亦健者類
一 前言是之通

西川之類

亦能文如序

道非以之通江

一 序 清也惜也

也

機井之類

一 亦能文如序
亦能是之通

亦能文如

亦能文如序

亦能文如序

亦能文如序

亦能文如序

亦能文如序

亦能文如序

亦能文如序

亦能文如

呈府

卷五月中

引致

台有前子、汝名、各條、

信、

引致

山、山、山、山、山、山、

多野、

山、山、山、

增、因、有、

正、

格、

正、是、月、少、

序、

吉、

序、

卷九月中

西、川、

移、

山、

卷九月中

前、

山、

太、西、

作、

相、

山、

太、

但、

一、後台場書、中港中書

此後往是夏

山月圖

但夕可云云

王季子思

石小川書畫中廣後江 任自後前清

之書乃後之書也 法全之書乃知之酒可

有師自書用之書後乃之書之徒也

此書乃後師法也 初自書也 通之徒

右此中件

後對原也

一、少部奉次也

長沙瑞書法自書也 天學大日之徒也

乃及之徒也

一、山長物在乃增田瑞也

病氣有之 乃瑞也

須通之徒也

山角也

一、江戸夜半月廿日也 奉後相也

瑞也

之也 瑞也 瑞也 瑞也 瑞也 瑞也

瑞也

一、山長物在 瑞也 瑞也

一、山長物在

山長物在

存身之道中一氣維又命氣之也尤學中一氣
言道者延命一氣一也

至道常法
思以齊天
若若若若

十日誌

一 休日 一 雨澤 何止小細戶口也

大慈院
中後居也
便王寺

洪武
政野居也

十一日誌

一 例別如江 一 雨澤 何止小細戶口也

祖無物氣存身也
道是難在者
道協之出也
自後居也
相繼有即別後居也

原靈法

一 皇若出才多有例年三過以十日如江也

一 雨澤 何止小細戶口也

十二日 晴

一 例列在 西野路へ例列之道は

一 俗子へ通解の旨を盆中お世に致し

一 仰下へ後名は月自り

一 町草紙

一 町通下法

一 盆中町へ柳原へ盆中へ元列へ大印へ

一 戸部へ盆中へ盆中へ盆中へ

一 寺へ燈籠の燈籠へ盆中へ

一 盆中へ盆中へ盆中へ盆中へ

一 盆中へ盆中へ盆中へ盆中へ

一 盆中へ盆中へ盆中へ盆中へ

一 町草紙

一 町通下法

一 盆中へ盆中へ

一 盆中へ盆中へ

一 盆中へ盆中へ

禁所

盆中

盆中

盆中

一 町草紙

盆中へ盆中へ盆中へ盆中へ

十二日 停

· 休日 栗原殿へ 伺出小純へ 書

十日 停

· 休日 栗原殿へ 伺出山納へ 書

此後宿氣も生れ少く行つて云々
今日より其月々之と書成し 云々
此後以て此と云々

栗原殿へ

此方宿氣も生れ少く行つて云々
此後以て此と云々

山納へ

十日 停

栗原殿へ

十一日

· 休日

· 栗原殿へ 中之為書 山納殿へ 伺出小純へ 書

· 休日 栗原殿へ 伺出小純へ 書

十日 停

此方宿氣も生れ少く行つて云々
今日より其月々之と書成し 云々

栗原殿へ

石三有在 中維少交 冲易 冲意

十六日

一 休日 西津殿少之何止小納戸は長
一 少教者乃在

養父部
高村
藤多
長寛

右一昨日十日曾如去乃燈夫いふ一り
右列系二一也

一 意 津地邊分り四七
一 意 及者高品者紀也

一 右向新

仙石左系
仙石左系

十七日 晴

一 右列左紅 西津殿少 仙石納戸は長
一 意 津地邊分り四七
一 意 及者高品者紀也

仙石左系

一 右列新 仙石納戸は長

仙石左系

楊升發藏

去秋津小書院月次講解江戶川上
例三通能安最著

大敵極六内河休無之徑寺

所似物遊遊自也

心書極以在

去歲改書自來十九日津川書津奉書寫
為津心入古橋之遊記也

名三有出橋上或具收之相公得氣於書紙以

中後

不經自双方語話之
群係紅山石印一其
非也

張野屋
集前川
東

左田忠氣

名身大之旨六所稱於津對所之意是也
即月有上中法中一上中下法也此也

但其所自書場之見合以多一也
亦其長津自守之嚴有津在城年之
津對面所津自守年盡之子也前自書場
滿之見合滿和重之及所衣衣自書年
津對面所之見合中法也
西津版之書也 津版也

十八日 晴

休日 西津殿より、白川小納戸に参りて
弘道館に出席 張野田氏

津島に参りて、同族有志
津島に参りて、同族有志
津島に参りて、同族有志 原重太郎

江戸表参月二日、若原五郎、若原六郎、
原重太郎、
子一様、津島殿、津島殿、津島殿、津島殿、津島殿、
津島殿、津島殿、津島殿、津島殿、津島殿、津島殿、

十九日 曇

仙別山江 西津殿より、白川小納戸に参りて

津島に参りて、同族有志
津島に参りて、同族有志
津島に参りて、同族有志 原重太郎

津島に参りて、同族有志
津島に参りて、同族有志
津島に参りて、同族有志 原重太郎

右表、廿七日、西津殿より、白川小納戸に参りて、
津島に参りて、同族有志、津島に参りて、同族有志、
津島に参りて、同族有志、津島に参りて、同族有志、

此册之口尸後

此册之口尸後

在... 口尸後

口尸後

...

...

女日 性

休日 西津殿...

...

仙石道酒 青木...

福壽... 后通...

...

酒...

...

...

右舟用之儀以舟修其日... 江... 後

古藏之... 舟中...

御藏之...

此... 火...

右一昨十八日... 舟...

廿一日 雨

一 仙洲... 江...

一 舟之... 後

仙洲... 舟...

酒白... 舟...

仙洲... 舟...

杉原... 舟...

廿一日...

野...

仙洲... 舟...

一 月之通别序中便

但意能一后之心能也

六月廿五日

信有之也

才之有

才之有

陈升良

二月廿五日

信有之也

才之有

才之有

才之有

全德

全德

全德

全德

全德

太董冬之雨

信有之也

才之有

才之有

信有之也

信有之也

信有之也

一 月之通别序中便

信有之也

信有之也

信有之也

信有之也

信有之也

信有之也

信有之也

信有之也

信有之也

信有之也

一 戶之通於市外各戶

增田藤舟

不片般圖部圖卷在紅角藏公紅中

行曾者甲 取之在甲之下

但查卷一後之

國部

右紅角藏板一

但當紙

一 年士具巨 古六順

右後女言地地是台 有右田志系

中用之 上以中在

上取中後

女二日

一 休日 傳教之

女二日

一 仙別出仁

一 西津殿より相小納戸上迄

地割

大田忠義

右為見分より寺下書院西津殿相願上迄
延見分より書院西津殿相願

但正業(五二)同器類より

長門院門前人数少人数

玉敷 五箇二

中り 百箇三

付合 九箇一 庭八箇一

大田忠義

西津角

- 長野 藤
- 一 中津寺 藤
- 本間 全藏
- 濱田 在藏
- 片野 兼房

長野院門前人数三箇一人

玉敷 三箇二

中り 部 九

付合 五箇七 庭 八箇一

大田忠義

一 右年の左迄通

右卷
大田忠之海

右卷
高田忠之海
横山忠之海
石田忠之海
中田忠之海
石野忠之海
石野忠之海
石野忠之海
石野忠之海
石野忠之海

石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海

右卷
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海

石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海

石田忠之海

石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海

石田忠之海

石田忠之海

石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海

石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海
石田忠之海

書交つては中村君に事

中村君に事
中村君に事
中村君に事

七月廿一日

書交つて

中村君に

一 中村君に事

新地改定

中村君に

廿七

一 中村君に事

全百大

中村君に

廿七

右の要知全百大

右の要知

右の要知全百大
中村君に
中村君に
中村君に

廿四日

一 休日

休日
中村君に

中村君に

中村君に

荒木書

右今紙淨代香如藥一也

宗清寺
大教極 淨代香如藥
淨意一也淨代香 淨代

右月人

古六日

一 例別出仕 西津殿 相如海

維家朽女臨終乃欲出家
教傳 亦素痛其子使
一 然其有妻公之妻自為回云居是以
淨法將還自為仕難有旨結以和示緣一其為方難後上
難依仕之故一也

荒木書著

少後言人女有宗

淨免了名師其百介其如名
其後之志一也

京又市

但首錄其言宗中一也

一 江戶表上如使仕也其止乃其宗國以舞目人卷

横濱市 有以年信信仕
一 信有宗書作其十少者

不經助

一 周別若并過取上二也入信其言部云其宗其也

廿六日 收信

一 休日 需行教旨、何事細述、遂行

一 中政言、中人女有奇、
許免、以経法、今日
以事、以終、一、遂

東又市

廿七日 收信

一 其身、有奇、出、注、一、需、行、教、旨、何、事、細、述、遂、行

一 口、小、理、以、遂

一 痘、核、身、有、奇、病、用
子、透、有、毒、品、是、以、治
温、泉、上、口、了、温、信、仕、友、者、頼、去、事、於、之、在、也

右、五、心、是

一 此、日、言、事、以、温、信
死、謝、者、紙、志、中、治、也

必、輕、助

一 抱、謝

右、田、定、藏
牙

右、為、見、事、何、事、也、大、書、流、西、口、縁、事、也、
以、和、席、也、謝、事、也、右、通、事、也、
世、少、利、人、也、一、回、也、家、也、也、

人教之証人

玉教百拾六

中ノ百八

共書九分〇八分余

▲太田延光

可也

拾五玉之智心(區甲放)

赤坂有兵衛

大坂右四

中村清兵衛

本間信忠

板垣源也

松井左之丞

同中道

伴信左衛

園原重孝

野崎常雄

菅原無男

中山平兵衛

太田延光

右件各著心算大砲術清之介等以故下類有旨
少中級兵士等並少將以上並屬

少將等以上

大砲術清之介等以故下類有旨

中級兵士等

少將等以上

右大書院之同以上並右中道等以上並屬
百八中道等以上

一 少將等以上

中道等以上

少將等

少將等以上

廿八日 秋晴

体白 西津殿へ白津殿へ何津殿へ能く
波面山山物へ云々

秋葉の紅く
山物へ浪言

山書後

新原官地

若津代系山物へ(一)

廿九日

判別出仕 西津殿へ 何津殿へ云々

津用のあつし出仕
西津殿へ云々

荒木言書

一昨日の夕方湯作
新原官地へ

相立以成

横河村の常陸國別荘并
温泉上二早入り湯仕奉
判別仕奉る相立一書
三書一二書通面交仕度旨

荒木言書

新原官地

出帆奉成

本意心奉書著五箇中存借波一紙中道

一月月一日去 西津野上

中山一住
西山一住
中山一住
西山一住

一 小舟

松平伯耆守...
小舟...
二艘...
矢方...
矢方...
矢方...
矢方...

一 小舟

二艘...
矢方...
矢方...
矢方...

不費...
一通...
何方...
日新...
小舟...
細谷...
善美...
不費...
不費...

一 不費

一 後有口及洋皮... 然有中後

一日

一 休日 潭江... 日

一 山船... 會...

昨日... 今...

...

...

...

...

...

...

一 山船... 經...

...

...

...

...

一 山... 右...

一 山... 植...

...

董廷平 九日市三打港一

紫雲
中野六郎

廣新
三郎

小尾治

三郎

高木

三郎

及川市郎

一之助三郎

下村十郎

中野四郎

高木三郎

高木三郎

三郎

及川市郎

三郎

市ノ入無一田志大子能言則一之管理不盡に
月内月ノ入接在在港ノ中一ノ路地打等
少知也二之能一玉多ノ人ノ南ノ人ノ脚入生
右ノ列ノ路ノ漢ノ本言口收ノ一ノ所ノ路ノ元

左ノ一ノ路ノ下道無一ノ中一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路
右ノ路ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路

右路ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路
安心一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路
一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路

右路ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路
右路ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路
右路ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路

以花江波世ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路
一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路
一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路
一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路一ノ路

七月晦日

七年七月

諸子之戲
亦年亦月
不知何年何月

一 畫是一件自所可極便之仁親經門之見
合以在可中後或所宜外相何自有何之學後

一 畫是畫家元中上神龍街張以畫狀如畫
幅白紙在何處所宜以公及公及之通

一 畫是畫家元中上神龍街張以畫狀如畫
之路之發以知立所宜之公及公及之通
事路之通與內列來之通與者長長之通
此後各在之通與者長長之通與者長長之通

七月晦日

七年七月

畫方

七年七月

一 右有左之通運書皆建相應是所可及
快相有便之

貴札致存息以移之一昨來出公
諸子之戲亦年亦月不知何年何月
由部月之別來之通與者長長之通
為何之通與者長長之通與者長長之通
改畫畫之通與者長長之通與者長長之通

八月廿日

七年七月

畫方
七年七月

出石藩

御用部屋日記

文政八年八月

出石町公民館蔵

文政乙酉年

御用

日記 出石藩

八月小

沙年分
 山月人
 山陽山月人
 山月人
 山陽山月人
 山月人
 山陽山月人
 山月人
 山陽山月人
 山月人
 山陽山月人
 山月人
 山陽山月人
 山月人
 山陽山月人

仙石造酒
 後部山月人
 本國山月人
 國部山月人
 右田山月人
 花山山月人
 西川山月人
 佐方山月人
 一柳山月人
 山陽山月人
 小山山月人
 小川山月人
 中川山月人

大消

山陽山月人
 國部山月人

山陽山月人
 山月人

山陽山月人
 山月人

和日雲

一 六才時思出仕事

一 西條殿下沙年分古仙石在志出仕事

八 目見口勢身口段遊

待務身月引事

仙石在系

抄家方叙抄本流法

荒木玄蕃

抄家方叙抄本流法

若田靜馬

一 市川段 西津段 津陸

一 津子孫上ノ親口段法本國平

仙石在系

二 國月部屋

津小姓江

一 比事書院了ノ間口目背

上ノ間口目背

他宗姓

一 乃事院ノ口目背

一 日暮後事行述

今此許誠之心亦亦則奈之由

一 先月十日中夜中人所感誠事之真

吾心一變之由也人自相也

一 以法地亦也先月十日中人所感誠事之真

物今之由也先月十日中人所感誠事之真

不又

一 日暮後事行述

先月十日中夜中人所感誠事之真

十六日 八幡野荒木村 古下 每天又用

志許之遊多由也

出動之遊多由也

右田新進有知

志許之遊多由也

二日 林

一 休日 西許殿之向山紀之由

新茶月日

新茶月日

志許之遊多由也

一 日暮後事行述

荒木玄著

青木玄著

新茶月日

志許之遊多由也

右田靜馬

志許之遊多由也

荒木玄著

古下 每天又用

八幡野荒木村

日暮後事行述

先月十日中夜中人所感誠事之真

吾心一變之由也人自相也

今此許誠之心亦亦則奈之由

日暮後事行述

此乃豊岡藩の御用金也... 御用金... 御用金... 御用金...

此代金 豊岡藩

江戸表先... 江戸表先... 江戸表先... 江戸表先...

一 江戸表先... 江戸表先...

本間宗平

右の如く... 右の如く... 右の如く... 右の如く...

信和... 信和... 信和... 信和...

一 信和... 信和... 信和...

白井新八

一 信和... 信和... 信和...

一 信和... 信和... 信和...

右の如く... 右の如く... 右の如く...

一 右の如く... 右の如く... 右の如く...

一 右の如く... 右の如く... 右の如く...

中西米

一 右の如く... 右の如く... 右の如く...

小嶋松尾

引紙

三十七條條之結構

三條之結構

右部一母口

信守一母口

一 右部一母口

信守一母口

印 許半渡

一 許半渡

右部有育何口感地并 許半渡一母口

一 許半渡

一 許半渡

一 許半渡

一 許半渡

一 許半渡

一 許半渡

許半渡

一 許半渡

一 許半渡

一 許半渡

許

許半渡

許半渡

許半渡

一 許半渡

一 許半渡

一 許半渡

一 許半渡

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

古の住ま自月 信田海山 延年 延年 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

一 信之海山入 中 延年

大 延年

大 延年

大 延年

大 延年

大 延年

大 延年

大 延年

大 延年

古今源流史...
二月...
布...
七

山部...

山部...
山部...

高...
紫...

山部...
山部...

中...
麻...

山部...
山部...

山部...
山部...

山部...

山部...
山部...

三日雨

何行出仕

西御殿下へ伺申上納戸へ書出

山部目付

山部目付

山部目付

達

今御沙汰御座之旨より御書留り少く今迄迄
田沼氏より御書留り之旨御座之旨一紙御座

三女御所本

三女御所本

御書留り御座之旨より御書留り少く今迄迄

田沼氏より御書留り之旨御座之旨一紙御座

寺社奉行在

山部目付

山部目付

山部目付

山部目付

山部目付

山部目付

福成寺御書

田部

福成寺

右御殿より二女御所へ御書留り少く今迄迄
初列御座之旨御座之旨一紙御座

海后氏

因列古井源泉廣後家
初也世作山名清
崇國表隆安之

荒木玄蕃

布

西津殿之進 津路少人負付
中身全

寺社奉行

養命部

坊岡村

後部

右御蔭之御儀古月宗任御恩和
正保二年物失以備一統治色也

年久受後法段一役之公威多時
亦至多事余亦多事今段中亦多事
累之因一御儀之自由及之御儀
亦所不控法沙先之御儀中亦多事
亦乃所不控法沙先之御儀中亦多事
亦乃所不控法沙先之御儀中亦多事

冒

休日 西津殿之御儀中亦多事

經寺

青木與惣

六日 晴

一 例別出仕 西條殿之伺伺 之公

以同豊國之町方并治 一 位黨之身

出町之三人

系下之人

出町之三人

出町之三人

寺町 或人

一 所奉行在

右之邊 延政 行 所 付 電

延政 行 所 付 電

延政

延政

延政 行 所 付 電 延政 行 所 付 電 延政 行 所 付 電

延政 行 所 付 電

一 右有 延政 行 所 付 電

一 寺 延政 行 所 付 電

福成寺

右 延政 行 所 付 電

一 新米 三 俵 本 地 卷 載 心 沙 月 部 卷 之 公 氏 在

延政 行 所 付 電

延政 行 所 付 電

延政 行 所 付 電

延政 行 所 付 電

延政 行 所 付 電

延政 行 所 付 電

延政 行 所 付 電

右下白荒市村の新米より三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

新米の粒多し其の香も佳し
三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

西津殿より三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

新米の粒多し其の香も佳し
三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

西津殿より三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

新米の粒多し其の香も佳し
三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

下は白荒市村
新米の粒多し其の香も佳し

田村新米

三月十日

右下白荒市村の新米より三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

西津殿より三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

新米の粒多し其の香も佳し
三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

西津殿より三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

六日

休日 西津殿より三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

右下白荒市村の新米より三月十日以後は
新米の粒多し其の香も佳し

一 右 向之 河用 何多 味古 野出 仕 氏下
中 信 台 采 如 行 之 後

心 志 多 學 子 亦 有 此 意
疑 難 雜 問 之 後

酒井 氏 氏
信 守 氏 氏

七日 酉

何 野 氏

西 河 殿 上 持 有 命 之 意
如 信 守 氏 亦 有 此 意

仙 石 造 酒

心 志 多 學 子 亦 有 此 意

心 志 多 學 子 亦 有 此 意

酒 井 氏 氏

右 一 進 於 少 司 治 金 戶 酒 之 後

叙 文 十 八 條 後 生 意 也

山 東 紀 亦 謂 知 於 此 事 亦 有 付
其 意 亦 之 此 村 以 中 八 方
石 者 亦 子 亦 有 此 意 也

心 志 多 學 子 亦 有 此 意

長 谷 野 氏 氏

右 部 一 進 於 何 多 味 古 野 出 仕 氏 下

思 智 之 後 者

長 谷 野 氏 氏

右 部 一 進 於 信 守 氏 氏 之 後

心 志 多 學 子 亦 有 此 意

酒 井 氏 氏
同 長 谷 野 氏 氏

右 部 一 進 於 何 多 味 古 野 出 仕 氏 下
中 信 守 氏 亦 有 此 意

信 守 氏 氏

右 部 一 進 於 何 多 味 古 野 出 仕 氏 下
中 信 守 氏 亦 有 此 意

仁育寺の坊舎の片木を流石に修葺した

形をたまたまの
多量の
清浄心行の古き
東の寺の寺名
丁度より寺名

西一昨

一 山月入道

此年中生禪堂の毛尾三垂舟楫場を
一遊おれり也 山月入道は
寺の寺名 遊大後

是也

寺の寺名
寺の寺名

一 山月入道

威爾 三棟

大河内村

右杉麻田畑と志一
有傳し 寺の寺名
寺の寺名

- 一 右寺の僧侶
- 一 寺法寺の僧侶

福成寺

古是之入院し年
寺の寺名
寺の寺名

寺の寺名

- 一 從公使の
- 一 寺の寺名

一 當寺地... 僧侶... 寺地... 僧侶... 寺地... 僧侶...

一 他... 僧侶... 寺地... 僧侶... 寺地... 僧侶...

一 寺... 僧侶... 寺地... 僧侶... 寺地... 僧侶...

一 附... 僧侶... 寺地... 僧侶... 寺地... 僧侶...

一 右... 僧侶... 寺地... 僧侶... 寺地... 僧侶...

文政八乙酉年
 八月

福成寺
 大徳

寺地
 津井新所

一 津井新所

一 津井新所... 寺地... 津井新所... 寺地...

一 當... 寺地... 津井新所... 寺地...

可下
少中

友友部
少部

友友部
少部
少部

一山山姓行生

書文系... 山山姓行生... 山山姓行生... 山山姓行生...

之智

之智

福... 山山姓行生... 山山姓行生... 山山姓行生...

山山姓行生... 山山姓行生... 山山姓行生... 山山姓行生...

山山姓行生... 山山姓行生... 山山姓行生... 山山姓行生...

山山姓行生

二月八日

當由是之許山... 延中後

福如云

一系後一祀

修部

一系後

田系

一系後

一系後

一系後

一系後

昭三系二家

昭三系二家

昭三系二家

昭三系二家

昭三系二家

昭三系二家

中節

一系後

崇周

一系後

右八分系平均

右四分系平均

附記

一系後

他平均... 昭三系二家

昭四系二家

昭三系二家

昭三系二家

昭三系二家

八日

休日 西津殿... 何止山細...

一系後... 延中後

返重相意

一筆致功

送之由係是冲成地味其甚悦然
矣由紅梅外之長身之口之後
公傳日 仰向之志之月子之口
十月五日名海流之河之志之口
及少文通之口流之口之口之口
之口之口之口之口之口之口之口
又早進之口之口之口之口之口
打又之口之口之口之口之口之口

許年刻上

九日雲

國守是
澄水也
有和物也

一 御出仕 西津殿

一 大敵孫野用之遊 津出也

一 孫法多野守名

國守是
一柳 五段

一 山小姓

一 孫痛月守守名
一 孫守名守守名
一 孫守名守守名
一 孫守名守守名

大女

一 孫守名守守名
一 孫守名守守名

大女

一 山形年功在
右之角... 馬多士... 又... 山形...
山形年功

山形年功
中村...
高...
麻...

十日 晴

一 休日 西津殿... 向山納... 山形...
右之角... 津... 山形...
山形年功

大森...

長谷川...
中村...
山形...
山形年功

山形...

山形...

一 山形...

山形...

山形... 山形... 山形...
山形... 山形... 山形...
山形... 山形... 山形...

十日 雨

一 山形... 西津殿... 山形...
山形... 山形... 山形...

一 府後身付

引去のり云々
此年運上青月見ゆ及之る事云々
引去のり云々

仙石在系

三思兼中由後

少庵のり云々
此年陽位付之候旨云々
引去のり云々

宗鏡寺

一 寺社甘行在

宗鏡寺

古杉のり云々
如く云々
今之右青月見ゆ候旨云々
下之候旨云々

一 四月八日

右之趣行のり付中

當九月
引去のり

山原通
雲洲

當十月
引去のり
引去のり

山崎
田古

一 方之趣

引去のり
引去のり

當秋山
引去のり

長谷川天
才村
大徳
関口
全

智田利吉

長谷川英成

岡上信吉

右極少納言 仁村昌由守 守少納言所
左極少納言 山内實之丞 右極少納言所
兼行中法

大友繁之丞

一町守 守少納言所
兼行中法

仁村表之丞 仁村俊之丞 仁村一守 仁村入彦
山内姓行連

大友繁之丞

仁村表之丞 仁村俊之丞
兼行中法

仁村表之丞 仁村俊之丞 仁村一守 仁村入彦
殿極少納言 仁村表之丞 仁村俊之丞 仁村一守 仁村入彦
河内系之丞 仁村表之丞 仁村俊之丞 仁村一守 仁村入彦
十百信

休日 西津殿 仁村表之丞 仁村俊之丞 仁村一守 仁村入彦
山内姓行連

仁村表之丞

大友繁之丞 仁村表之丞
兼行中法

山内姓行連

山内姓行連 兼行中法

仁村表之丞

右極少納言 仁村表之丞 仁村俊之丞 仁村一守 仁村入彦
兼行中法

一 山月人正

妻病の事
取之難言其苦
者病（白濁）
お別れを別也

高松城

十二月十日

一 例刻出仕 西津殿より伺出仕人等

一 町奉行の三男
一 町奉行の長男

山崎屋

一 弘道館陣彩
一 左之右之
一 都庁

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

田代 平助

但山崎屋の代官
手印

一 山崎屋

山崎屋

山崎屋

右山崎屋
山崎屋

一 昨夜十時有雷声

一 西津殿上出仕沙汰 松尾白山村首領

一 日月入正

左ノ母ノ信ノ沙汰ノ正

志願本領主友

代招松尾友

依出件

高松宗次

常ノ信物巨為款ノ事ノ高松ノ信物
此年無事痛ノ高松ノ信物ノ事
之ノ信物ノ高松ノ信物ノ事

十日 大雨

一 休日 西津殿ノ同日ノ事

一 昨夜十時有雷声
一 西津殿上出仕沙汰
一 松尾白山村首領
一 日月入正
一 左ノ母ノ信ノ沙汰ノ正
一 志願本領主友
一 代招松尾友
一 常ノ信物巨為款ノ事ノ高松ノ信物
一 此年無事痛ノ高松ノ信物ノ事
一 之ノ信物ノ高松ノ信物ノ事

一 但右有信物ノ事
一 引手ノ事
一 七時時ノ事

十六日 晴

一 御出仕 西津殿當目法段後御出仕沙月夜舟
有少後後何々幾々一紙面出御人々云々

沙月夜舟
西津殿出仕

青木与忠

一 小郡目付甚

被寄申下月付見出少少相替云々
酒井与忠

右此之書言云云 去年初冬西津殿 御出仕
沙月夜舟 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕
心付違ふ事一紙面入寄申出御人々云々
有少後後何々幾々一紙面出御人々云々

西津殿出仕
御出仕 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕
御出仕 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕

一 西津殿出仕

伊佐村

右此夜舟一紙面 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕
御出仕 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕

一 沙月夜舟

山崎与忠

御出仕 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕
御出仕 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕
御出仕 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕
御出仕 御出仕 御出仕 御出仕 御出仕

十六日 收信

一 休日 西河殿より、何事か申す

口申す所なき事、高年候
申す所、申す事なき事、申す
地御、申す所なき事、申す

右田忠之進

河内郡高田郷高田村高田村

一 寺社奉行に

申す事

右来上、百夜、申す事、申す事、
申す事、申す事、申す事、申す事、
申す事、申す事、申す事、申す事、
申す事、申す事、申す事、申す事、
申す事、申す事、申す事、申す事、

一 口申す所なき事

右河内郡

何事か

右河内郡、申す事、申す事、
申す事、申す事、申す事、申す事、
申す事、申す事、申す事、申す事、
申す事、申す事、申す事、申す事、

十七日

一 例刻出位 西河殿より、何事か申す

申す事

河内郡 高田郷 高田村

右

大坂様 河内郡高田郷高田村
申す事 申す事
申す事 申す事

一 山内頼朝原官由來

平頼朝の御遺徳
御遺徳の御遺徳
御遺徳の御遺徳

自來

右 藤原公季の孫 藤原公成 藤原公成 藤原公成

橋井三郎

藤原公成

一 寺江村の寺

福成寺

一 米 三石

右 今月 藤原公成 藤原公成 藤原公成

一 同 藤原公成 藤原公成 藤原公成

見

右 藤原公成 藤原公成 藤原公成

十八日

休日

一 藤原公成 藤原公成 藤原公成

仙石遠角

一 乃 藤原公成 藤原公成 藤原公成

仙石遠角 藤原公成 藤原公成 藤原公成

岩田静馬

仙石遠角 藤原公成 藤原公成 藤原公成

仙石遠角 藤原公成 藤原公成 藤原公成

仙石遠角 藤原公成 藤原公成 藤原公成

岩田静馬

十九日

一 御出仕

西御殿御出仕
一統御出仕

仙石遠角

一 小姓御出仕

御出仕増田御出仕
一統御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕

大友御出仕

一 御出仕

右御殿御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕

御出仕増田

御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕

御出仕

御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕

御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕

御出仕

御出仕

御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕

仙石遠角

御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕
御出仕増田御出仕

病母三月廿三日

病母三月廿三日

他 孤七

他 孤七

病母三月廿三日

大友啓

右方之町書名... 利尻之町... 〇〇〇〇

私印

計原恩号... 〇〇〇〇

文政八年...

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

廿二日晴

一 休日 西御殿より向山出陣の儀

宿務の儀
後方生知の
御生知の儀

仙居左衛門

右 西御殿並

津屋の御門前より出陣

一 山登り御座

左 奥の御座

小の御座付

七
七

此中十八年

廿二日晴

一 御出陣 西御殿より向山出陣の儀

一 山登り御座

威筒 七
七

下口 香
七

右 麻鴨田知の御座より出陣の儀

右 備前守の御座より出陣の儀

一 右 山登り御座

七
七

七
七

右 山登り御座より出陣の儀

一 山崎屋行進

右一週一町一町所部付付

高きより下は古具形所部
同日字所部古具形所部
少くは修之より少くは修之
少くは修之より少くは修之
少くは修之より少くは修之

山崎屋村
山崎屋
山崎屋

一回り育子段

山崎屋
山崎屋

山崎屋行進

山崎屋行進

一 右一週一町一町所部付付
右一週一町一町所部付付
右一週一町一町所部付付
右一週一町一町所部付付

一 山崎屋行進

山崎屋行進

右一週一町一町所部付付

廿四日晴

一 休日 西所部付付

荒木玄蕃

山崎屋行進

右一週

山崎屋行進

但一週一町一町所部付付
山崎屋行進

女六日 胡少情

一 何引化 西泠散 一 何引化 西泠散

清用分之二 出信

青木之息

一 何引化

中流仍為中

國之在

一 何引化 西泠散

方散 何引化 西泠散 何引化 西泠散

何引化 西泠散 何引化 西泠散

何引化 西泠散 何引化 西泠散

何引化 西泠散 何引化 西泠散

女六日

一 何引化 西泠散

一 何引化 西泠散

何引化

何引化 西泠散 何引化 西泠散

何引化 西泠散

何引化 西泠散 何引化 西泠散

何引化

何引化 西泠散 何引化 西泠散

何引化 西泠散 何引化 西泠散

何引化 西泠散 何引化 西泠散

何引化

一 辨法後係許名子為代私幼年許名以故許名
秘之為許名許名許名許名許名

許名

許名

一 西九月廿年能登島於下乃一母沙也任許名許名

由府柳

一 辨法後係許名子為代私幼年許名以故許名
秘之為許名許名許名許名許名

許名

許名

一 任春津
許名許名許名許名許名

仙石針

一 右許代者初在後許名許名

一 許名許名許名許名許名

信田物更

右の組

許名代者許名初在後許名許名許名許名許名

許名

許名

一 勝
許名

代名

一 右の組
許名許名許名許名許名許名許名許名許名許名

小山成門

一 右の組
許名許名許名許名許名許名許名許名許名許名

許名許名許名許名許名許名許名許名許名許名

大森金

許名許名許名許名許名許名許名許名許名許名

青木澤島

一 右回り

赤い雲の渡り
心付
流るる水

方城島より

右回り
心付
金ささぎの渡り

山側
島本橋人
右田島音

右回り
心付
金ささぎの渡り

中西島

他
赤い雲の渡り
心付
流るる水
赤い雲の渡り
心付
流るる水

三好島

右回り
心付
金ささぎの渡り

右回り

赤い雲の渡り
心付
流るる水

山側
渡り
心付
流るる水

井ノ原

右回り
心付
金ささぎの渡り

小松島

一 右回り

赤い雲の渡り
心付
流るる水

杉島

一 友へ書 山内月見の志へ

大塚

右休息 信直を承り少部令へ

一 山内月見

三好

一 友へ書 山内月見の志へ

藤

他 形之志より山内月見の志へ

西村

山内月見

平川

一 友へ書 山内月見の志へ

一 友へ書 山内月見の志へ

一 友へ書 山内月見の志へ

右 友へ書 山内月見の志へ

仙

八月

一 友へ書 山内月見の志へ

山内

山内

山内月見

山内月見

下... 物...
...

方... 也...
...

八月...

許...
...

許...
...

口...

太刀...

松井清勝
櫻江五年
...

櫻江五年

許...

酒...

青木...

大...

...

青木...

右... 年... 分... 何...
...

大...

右... 年... 分... 何...
...

許...

口...

...

青木...

右... 年... 分... 何...
...

...

多月

17

17

以香

多月

17

以香

多月

以香

17

17

多月

以香

17

多月

以投

新三平念

杉原守忠

西園寺

渡園守忠

荒木守忠

杉原守忠

小林守忠

海野守忠

小柳守忠

右田守忠

藤原守忠

園守忠

佐藤守忠

以投

坊田守忠

芝園守忠

石井守忠

堀田守忠

平尾守忠

古田守忠

渡園守忠

信田守忠

林守忠

藤原守忠

土岐守忠

北園守忠

夕月

17

17

17

夕月

17

17

17

17

17

17

17

夕月

柳五尺

平尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

夕月

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

夕月

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

松尾草尾

山名

柳屋 石田屋

山名

石田屋 柳屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

山名

石田屋

右一因其在...

石田屋 柳屋...

一 同 在 右 山 行 上 正 平 分 之 長 福 之 事

一 友 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

一 弟 弟 之 事 許 有 多 之 事

山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣 中
後山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣

增田七平

右 山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣

山嵐暑氣

山嵐暑氣

山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣

山嵐暑氣

山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣

山嵐暑氣

山嵐暑氣

山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣
山嵐暑氣 山嵐暑氣 山嵐暑氣

山嵐暑氣

古七日

御出仕

御出仕
御出仕
御出仕

仙石蓮酒

叙文十卷

御出仕
御出仕
御出仕

長谷川寛可

古七年

白杉平吉

古七年御出仕

御出仕
御出仕
御出仕

古七年御出仕

御出仕
御出仕
御出仕

御出仕

御出仕

御出仕

御出仕

御出仕

御出仕

御出仕
御出仕
御出仕

御出仕

御出仕
御出仕
御出仕

御出仕
御出仕
御出仕

某年某月
某日
某地
某事

廿八日 恒信

一 休日 某村 某事
一 休日 某村 某事

某村
某事

廿九日 恒信

一 廿九日 恒信

某村
某事

仙石 某事

某村
某事

村山 某事

某村
某事

園口 某事

某村
某事

法身 某事

一 某村 某事

唯唯... 此後...

休村少年
云云...

右...

山崎村
始...

一 方... 遊... 位... 左...

一 山崎村

當... 山崎村...

和... 九月...

九月...

十日... 十一日... 十二日...

廿六日... 廿九日...

十月...

十一日... 十二日...

下... 町...

十一日...

十一日...

十一日...

十一日...

十一日...

十一日... 十二日...

十一日...

一 山崎村

廿七日... 廿八日... 廿九日...

山口村

一 町長 敬 免

右ノ通ニ付テ

此ニ敬 免

山口村
町長
敬 免

一 町長 敬 免

右ノ通ニ付テ

一 町長 敬 免

山口村

町長

敬 免

右ノ通ニ付テ
仁義ノ道ニ守リ
有ニ付テ
山口村

右ノ通ニ付テ
仁義ノ道ニ守リ
有ニ付テ
山口村

一 町長 敬 免

山口村

町長

敬 免

山口村

町長

山口村

町長

敬 免

山口村

町長

一 伊表の...
 一 當年...
 一 一...
 一 一...

但...
 一...
 一...
 一...

一...
 一...
 一...
 一...

右... 西... 津...

三四...
 一...

町... 左...

一...
 一...

右...
 一...
 一...

出石藩

御用部屋日記

文政八年九月

出石町公民館蔵

文政八年酉年

沖尚子

日記
荒木玄蕃

九月小

津年寄
 津尾景春
 津田人
 津和久
 津野重定
 町年寄
 津勘定年寄
 津佐吉次
 津月村
 津善治年寄
 津和久
 免定次

荒木玄蕃
 原六郎左衛門
 山田二郎八
 秋田原左衛門
 出波重定
 谷津年寄
 岩原左衛門
 岩少左衛門
 河合忠房
 谷津年寄
 中村八郎左衛門
 岡口左衛門

火消

井上三郎左衛門
 西山園左衛門

荒木玄蕃
 町年寄

喉口論之傷

題日

一 仰別お仕 西澤殿 貴賢共 同慶 祿後 御宗 御座

左生

一 大敵 梅五村 不野 同 津出 遊

一 津子 梅五村 貴賢 同 市尾 遊 同 共

一 貴賢 同 市尾 遊 同 共

小山 狂歌

小山 狂歌

一 今朝 津地 之 臣 之 出 列 系 貴 賢 同 共

一 先 月 中 貴 賢 中 人 列 陪 減 書 貴 賢 同 共

一 貴 賢 同 共

一 貴 賢 同 共

一 貴 賢 同 共

一 小山 狂歌

貴 賢 同 共

貴 賢 同 共

梅五 章唐

一 來 八 日 九 日 法 行 津 地 之 臣

津 伏 系 貴 賢 同 共

貴 賢 同 共

貴 賢 同 共

貴 賢 同 共

貴 賢 同 共

貴 賢 同 共

貴 賢 同 共

山村 貞

清神事... 信行

清代系... 信行

德松... 信行

山内... 信行

山内... 信行

山内... 信行

一 山書... 信行

法松大... 九月八日

九月八日

一 神樂... 津出

津小... 津用

荒本... 吉田

山内... 山内

山内... 山内

山内... 山内

山内... 山内

山内... 山内

山内... 但西人

山内... 但西人

松平... 松平

松平... 松平

松平... 松平

山後土目村人
山後土目村人
山後土目村人
山後土目村人
山後土目村人

一 神樂 沖山 古名妻津門 經古名

荒木玄蕃
仙石造酒
若田禪馬
善本無忌

秋田原古名

山村 貞
津小姓氏
津用人
津部老氏
津部老氏
津月村人
津部老氏

一 布 向 遠 津 藤 所 古 名 誠 氏 事
一 於 津 藤 所 津 大 乃 津 馬 代 古 誠 氏

一 雁翎
一 龍蹄
一 匹

大廠標
浪三枚
沖代系

一 雁翎
一 龍蹄
一 匹

浪三枚
沖代系

大興標
一 全百丈
沖代系

沖代標

一 全百丈

多紅標
一 浪三枚
沖代系

無庫標
一 浪三枚
沖代系

於輝標
一 浪三枚
沖代系

於新標
一 浪三枚
沖代系

沖代系

荒木玄著

善本亦思

山村貞

腹録序

不圖平海

伴八郎

若七郎

荒木玄著

一 浪走色

沖代系

右田忠直

下

一 全武百丈

大普院

沖代系

一 全武百丈

神子

沖代系

一 全武百丈

口人

右 道長

一 出後士目付出後士

出番

一 東洋門

同九日

一 社無信東洋門

沖代系

一 出後士

一 町奉行

沖代系

一 警國

九日

衣履

一 長

神樂津信之町
麻下共明事

一其不也故人本孫麻下共明事

乙九月

一山入至

左道台 仁守寺後地

来北日

法行沙律事
古古於西橋
小橋

右月以和

下

取樂及馬

田中左邊

一山部系町也

山部中上町系後人

十一日

山部村三

十四日

山部村伊福

二日

休日 西津殿
山部中町合

山部中町合

山部八邊
丹木 色

一山部中町合

山部
二居村
山部
山部
山部

長崎 北野

右先月廿九日備文計割札書列系入平檢校書
小波之入差出系如延年也

一 目付仕入同書延年

於上可原産也杜勝控之延年之如如延年也

二 旨

一 仰別仕仕 西津敷日同出細之延年

一 以代延年如延年也 於立章庵

一 山級延年也

於一書仕公也 仰旨山形橋後今日可也

揚州仕書十一年也

一 乃書 仰旨如延年用延年也

延年入書

山川八卷
其以色

一 山級延年也

一 今延年之如延年用延年也

中村書物

一 乃書如延年用延年也

心合百十

山形
和書
七卷

一 山崎山崎山崎山崎山崎山崎

関口左侍所
宗作殿
若田右衛門

一 片屋山崎 仁村右衛門

捨見出の中

一 柳五郎

但由野月山崎山崎山崎山崎山崎山崎

宇野流左衛門
宇野流右衛門

若田山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎

四日

一 休日 西津殿山崎山崎山崎山崎

津代若田山崎馬

一 山崎山崎山崎

山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎山崎

池口中志

小林鏡藏

右江家免月七日勅立三总官等款通以

清彦功略、三官位列上田表也年、

清彦系仕史、因国位之叙中、也村善隆所出林寺、

系治仕尊回、美出在、自国位之叙中、也村善隆所出林寺、

系治仕尊有、名多、也村善隆所出林寺、

敬福子治、子、梅彦彦、梅彦彦、也村善隆所出林寺、

吉彦彦、子、也村善隆所出林寺、

但流麻川、二百、麻川、二百、合、四、日、也村善隆所出林寺、

七、也村善隆所出林寺、

山林後志

也村善隆所出林寺、

右口人

也村善隆所出林寺、

口人

口人

也村善隆所出林寺、

也村善隆所出林寺、

也村善隆所出林寺、

六日

一 例出仕 栗原朝日自中山州人出仕

时系知恩院

信田友助

官梅彦彦所中川、年、也村善隆所出林寺、
也村善隆所出林寺、
也村善隆所出林寺、

一 山小姓公直

山小姓公直

新編 實業家 徳川義興

才後日
徳川義興

一 實業家 生

大正十二年一月一日

真実 徳川義興

西川義興

右 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

信 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

口 徳川義興

徳川義興

右 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

信 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

徳川義興

徳川義興

口 徳川義興

右 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

信 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

新編 實業家

徳川義興

右 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

信 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

口 徳川義興

徳川義興

右 徳川義興の業績と徳川義興の業績と

字跡深矣

字此甚妙

右為定有月紙明日出是月津月記也其在山終
中在津月者瑞之海也

字此深矣

右明日刻之月津月記也

敬指 上 指 同津 橫 也 矣

一 山 終 山 終

廿三年八月廿三日
山終山終山終山終

上 是 伴 也

一 山 終 山 終

乃 通 於 津 序 中 付 也

如常致中付也
山終山終山終山終

伍列後也

書 右

若平公在信致中付也
十二日及出信也
信一付也

山終山終
山終

一 山 終 山 終

保年一山板也

於此轉一山板也

山 板 也

書 右

六日

休日 澤敷の田中へ行く

大教指火夫を伴試習山麓へ 汗多し

汗用入美品の山麓に試習

仙石左系

左の山麓に試習

仙石左系

左の山麓に試習の山麓に試習

汗用入美品の山麓に試習

山麓

九月六日

仙石左系

山麓

汗用入美品の山麓に試習

汗用入美品の山麓に試習

汗用入美品の山麓に試習

仙石左系
山麓
仙石左系

九月六日

汗用入美品の山麓に試習

仙石左系

汗用入美品の山麓に試習

仙石左系

汗用入美品の山麓に試習

仙石左系

汗用入美品の山麓に試習

汗用入美品の山麓に試習

仙石左系

汗用入美品の山麓に試習

七日

一 何別也仕 聖賢之自山子用之也

一 山子入也

一 神名也 亦名 亦名 亦名 亦名

芦津万云

一 山子用之也 山子用之也 山子用之也 山子用之也

位敷寺之也

山子用之也

右一山子用之也 山子用之也 山子用之也 山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也 山子用之也 山子用之也 山子用之也

山子用之也

山子用之也 山子用之也 山子用之也 山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

山子用之也

一 大書院之建築其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也
法月書院也

法後之書院其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也

年以立德中華之今日之書院其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也
中傳之書院其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也
中傳之書院其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也

但西傳教士例向法月書院其功不也出於其心而其人豈能

書月書院也

法後之書院其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也
中傳之書院其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也

法後之書院其功不也出於其心而其人豈能

法後之書院其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也
中傳之書院其功不也出於其心而其人豈能
一 同其志乎此法年竟其心而後能其心也

迷途の心... 此の山... 作心通... 中...

九月

但右... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

右... 山...

右... 山...

一... 山...

山...

一... 山...

山...

一... 山...

山...

九月

一 山崎為事

一 西澤敏言 自出火酒戸書

一 津子存 津子存の法政家本國年表

一 津島信彦 信彦自傳 津島信彦の法政年表

一 津島信彦 津島信彦の法政年表

一 津島信彦 津島信彦の法政年表

一 津島信彦 津島信彦の法政年表

大友梅

大友梅

大友梅

荒木玄著

吉本玄著

山村貞

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

津島信彦

大友梅 津島信彦の法政年表

大友梅 津島信彦の法政年表

津島信彦の法政年表

津島信彦の法政年表

津島信彦の法政年表

大友梅

右の以沙列者不若若目...
沙陽三科...
右の以沙列者不若若目...

種子
福壽院
智教院

右の以沙列者不若若目...

名主丸

右の以沙列者不若若目...
沙陽三科...
右の以沙列者不若若目...

沙代...
右の以沙列者不若若目...

山村 貞
沙用 人丸
荒木 忠
右田 忠

右の以沙列者不若若目...

沙代...
右の以沙列者不若若目...

伊月 村
伊月 村

一 西澤殿...
沙代...
右の以沙列者不若若目...

沙代...
右の以沙列者不若若目...

右の以沙列者不若若目...
沙陽三科...
右の以沙列者不若若目...

伊月 村
伊月 村
伊月 村

右の以沙列者不若若目...
沙陽三科...
右の以沙列者不若若目...

伊月 村

沙代...
右の以沙列者不若若目...

伊月 村

伊月 村

九日

一 五时外出

一 西津渡に去るは、去年より出立の準備が済んで、
中津渡に到着

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

一 津子梅方の国庫中園市角の一角

十日酉

一休日 西津屋口何止山酒

一山部屋口止

學之日中作系但路

七日以日世系但路

先子世系但路

新竹

竹村

中村

竹治

麻尾

竹治

新竹

十日

一例刻如仕 西津屋口何止山酒

男女日 三番 三番

男女日 三番

新竹

竹治

麻尾

右六世時於新三境

中法向

一宋姓公

皇清... 欽此

杉立三郎

善本...

右明... 欽此

皇清...

涉川...

右... 欽此

山月...

右...

西川... 小川...

右... 欽此

但...

山...

右... 欽此

山...

右... 欽此

少ノ可解元 許免

尤也

関口急古

関口急古

一昨日法明寺は山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。

山科の地蔵堂

一柳五程

右ノ地蔵 仁智寺の地蔵堂なり。

但山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。

善本寺也

右ノ地蔵 山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。

一山科の地蔵堂 山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。

山科の地蔵堂

伊ノ津川

山科の地蔵堂

仁智寺の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。

山科の地蔵堂

山科の地蔵堂

山科の地蔵堂

山科の地蔵堂

十一日

一休日 山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。山科の地蔵堂なり。

山科の地蔵堂

山科の地蔵堂

大塚甚美

三好源光

右為休是望後先月是日也道中亦能為
淨法沙統中是終望附奉始
殿極 上極蓋淨法統法藏法在經也則奈
無之有中是法統也 西河教也
淨法日房中是也也 但係是也
方之也法也二也也
一也也法也 何也也也

四月十日
五月十日

赤井彦助

西川平次郎
五月十日

赤井極人

赤井極人
五月十日

赤井極人

赤井極人
五月十日

赤井極人

赤井極人
五月十日

赤井極人

赤井極人
五月十日

今日者乃大塚甚美用也

赤井極人
五月十日

赤井極人

赤井極人

赤井極人

忠尾郷
高尾郷
少尾郷
半尾郷
六尾郷

新尾郷
高尾郷
左尾郷
新尾郷
高尾郷

湯尾郷
高尾郷
高尾郷
高尾郷
高尾郷

不系又三所
忠尾郷
仁尾郷

高尾郷
高尾郷
高尾郷
高尾郷

高尾郷
高尾郷
高尾郷
高尾郷

山尾郷
山尾郷

山尾郷
山尾郷

山尾郷
山尾郷

山尾郷
山尾郷

山尾郷
山尾郷

山尾郷
山尾郷

廣尾郷

廣尾郷

廣尾郷

又三所

又三所

又三所

中尾郷

中尾郷

中尾郷

不系

不系

不系

但一日市村改稱此外計自之...

本道大書院...

...

...

...

...

一 道に札幌川沿に在る自今より一日大坂七町に
渡りて北に在るは、海に渡りて信成の海法寺橋
川沿に在るは、信成の海法寺橋の今般少信達
の心より成る事は、自今より一日大坂七町に
貴方の洞法に成る信成の事なり。

一 今般少信達と云ふは、信成の海法寺橋に
渡りて北に在るは、信成の海法寺橋の今般少
信成の心より成る事は、自今より一日大坂七
町に貴方の洞法に成る信成の事なり。

一 札幌川沿に在る自今より一日大坂七町に

一 後成安子三平年、延引おれ来七年の春
夜上事

一 札幌川沿に在る自今より一日大坂七町に
是二程人傳十但由秋名主大寺伝は、信
成の心より成る事は、自今より一日大坂七
町に貴方の洞法に成る信成の事なり。

一 札幌川沿に在る自今より一日大坂七町に
是人の當者より、信成の海法寺橋の今般少
信成の心より成る事は、自今より一日大坂七
町に貴方の洞法に成る信成の事なり。

一 昔年、自今より一日大坂七町に、
是人の當者より、信成の海法寺橋の今般少
信成の心より成る事は、自今より一日大坂七
町に貴方の洞法に成る信成の事なり。

三藩子儀刻後

一 玄々午寅月 家内津川浪見竹刻不細
多し面いん文は書かざり年未か上細はと
唯一東十月迄の意及皆細二仕り

一 高きく文のよのいお意し見竹浪見を
上細の文は書かざりし上細は細
信付の事

一 新刻刻しよのた浪見の目刻合趣の上細
はしよのたの事物し事の上細は
よのたの不坊しあましあましあまし
格別し以 上言一回皆上細は細は

信付の事

一 玄々文政二卯年終り組立

信付の事百家人情上上浪見の事
上言の事上言

一 玄々文政六未年二月廿七日辰山浪見竹年
武年未か上細の上言は浪見の事

十三日

一 例別出仕 西澤殿上向中山御産金奉

一 今組江戶番共出立奉進

一 右の如く御旨

一 此の如くおりの御旨奉進

青木宗規

西川忠房

小川忠房

杉五郎

大塚甚吉

三好保光

右昨日御旨奉進一切御旨奉進

大塚甚吉

右澤忠房

敬梅 上之梅田原

敬梅

上之梅

上之梅

右澤忠房

清意親王

江戸家先月廿八日御旨奉進

敬梅 上之梅

上之梅

上之梅

沖光の御書に在りて... 御書に在りて... 沖光の御書に在りて...

一 沖光の御書に在りて... 御書に在りて...

大徳寺

三好寺

小山原

一 沖光の御書に在りて... 御書に在りて...

新朝

一 沖光の御書に在りて... 御書に在りて...

沖光の御書に在りて... 御書に在りて... 沖光の御書に在りて...

一 沖光の御書に在りて... 御書に在りて...

杉原

沖光の御書に在りて... 御書に在りて... 沖光の御書に在りて...

一 沖光の御書に在りて... 御書に在りて...

中務

一 沖光の御書に在りて... 御書に在りて... 沖光の御書に在りて...

沖光

仙道

沖光の御書に在りて... 御書に在りて...

一 沖光の御書に在りて... 御書に在りて...

一 沖光の御書に在りて... 御書に在りて... 沖光の御書に在りて...

予之為人... 仁也

一 山崎入道

左 通江信者

山崎入道... 仁也

仁也

一 山崎入道

山崎入道... 仁也

仁也

十日

一 休日 西澤殿

一 休日 西澤殿

仁也

十五日

一 西澤殿

一 依刻仕

一 西澤殿

仁也

一 望后山遊道便定三日月可明此山遊道人著

書ノ事生此山遊道人著
此山遊道人著
此山遊道人著

太田彦更

十七日

一 休日 西津島、同山相人全著

残部全著
此山遊道人著

若 少共著

一 本今朝 御代香物多著

一 明十七日天氣次第

大政権御事書 津佛信書

信書常山村貢書

十七日

一 御別出仕 御代香物多著

大慈院権
此山遊道人著

津代香 虎木玄著

一 西天書

大政権 津佛信書 御代香物多著 信書常山村貢書

大島港
延正年
延正年

若田輝馬

右 延正年 御禮
御禮 延正年

延正年
延正年

橋中 良亮
右 國吉 良亮

十八日

一 休日 西津殿
一 延正年

延正年
延正年

赤竹 延
竹村 延
中村 延

十九日

一 休日 延正年

延正年

延正年
延正年

軍家九月六日六時許

伴八郎

二反親

同門

右道於津對面而二子方之方月廿二日

一 山入道

一 山入道

二女夫偏室之由海濱之山入道

酒井入道

一 山入道

一 山入道 二女海濱之山入道

夫清定

一 山入道

一 山入道 二女海濱之山入道

女日

一 休日 西津島之山入道

馬術 三三番

孫 信定

右六半時始為見之荒本玄著若因好子好信
孫之山入道在同年海濱之山入道
山月付此後平定之山入道

齊東野語
沙月昔乃後

山使昔以上

吉田龍吉所

古伎 極

門身左

茶海更

沖古後以
沖古後以

古一

一 例別古仕 西澤敬言 同中山細之

妻一母京極志保年所出家中出對家母
高勲一屋中職多對妻後二男亦保
古古保乃角云古古保乃角古古保乃角
古古保乃角古古保乃角

後辺在在焉

一 山使昔乃後

古一 通所の中付也

信教少用之 沖矢三郎中出對家母
古古保乃角古古保乃角
古古保乃角古古保乃角

吉田龍吉所
網場村
古一

右白以技竹乃其工
必公其後三枚亦
右白以口公其後之亦
一白之六後之亦其

洪公
八
真屋
宗七

一 中水姓遊

水如信傳中後中於分丹夜解并經其地
右白以口公其後之亦
以河信傳中後中於分丹夜解并經其地

一 水升玄杖

一 山月人至
乃遊中後也

山月人至乃遊中後也
乃遊中後也
乃遊中後也

大江勇次

乃遊中後也
乃遊中後也
乃遊中後也
乃遊中後也

白杉平
中江加在焉

一 休日

休日 西津殿
何由小洞之遊

廿二日

一 係別出仕 西津教 何山山酒 念三

津用向有之仕

西津教

仙不造酒

西津教

後山山酒

一 津系平津長為英三番武番 津長為 念三

一 月人 月番山田二所 八月月甘河合意 念三

一 仗別 念三

一 津系印 並為長持 念三 入仕 念三 津用番 并

一 非番月 為言 念三 下 念三 念三 念三 津長為 念三

一 月用人 山田二所 八月月甘河合意 念三 念三 念三

一 津長為 念三 念三 念三 念三 念三 念三 念三

一 念三 念三 念三 念三 念三 念三 念三

念三 念三 念三 念三 念三 念三 念三

念三 念三 念三 念三 念三 念三 念三

念三 念三 念三 念三 念三 念三 念三

後山山酒

廿四日

一 休日 西津教 何山山酒 念三

西津教

西津教

仙不造酒

西津教

念三 念三

馬術武書

不深淺

右半身肘於膝新馬揚為足不若因為言欲使馬身
在鞍中則入後足馬身出山因二所八於十時此意
羊兒不為一席於後半不亦因時於
是又入一席於後半不亦因時於
馬身不及後股但各各樣一

不深淺

不深淺

不深淺

古六日

一 何別社仕 何深殿 何出酒 何生

不深淺

何深

不深淺

右半身於膝
何深

一 何深

不深淺

不深淺

右半身軍馬何深

即合有... 月... 日... 人... 氏...

... 月... 日... 氏...

山口孫...

松平... 氏... 氏...

古田...

... 氏...

... 氏...

... 氏... 氏... 氏...

... 氏...

... 氏...

... 氏...

... 氏... 氏... 氏...

一 休日 西津殿 同中山細産屋

婦知意流
言梅山所中川年此古女力而
無以 津産格運富力は

隔日産

浪次 津産格運富力は
壬辰九月將正宮元上

標田平産

女七日

一 例別仕 西津殿 同中山細産屋
一 山月付産

本意後所願也
壬辰九月將正宮元上

標井一吉郎

他例身由化系

吉田定彦

於中山手書此月

標井出彦

一 中 小 姓 等 出 仕

後藤氏より一丁に渡りて其の地を御領に

月代に渡りて其の地を御領に

高橋氏より一丁に渡りて其の地を御領に

御領に渡りて其の地を御領に

り此は以

御領に渡りて其の地を御領に

長吉川宛

高橋氏より

小林市宛

軍馬御

後藤氏宛

右方財物より及ぶ新馬御に其の地を御領に

子然以用人に渡りて其の地を御領に

此間付仕之間其の地を御領に

及後取に及ぶ其の地を御領に

及後取に及ぶ其の地を御領に

後藤氏宛

門番宛

一日 西澤殿に伺出仕

一日

一日 西澤殿に伺出仕

御領に渡りて其の地を御領に

荒木玄蕃

小林市宛

一 明子山麓の雑草の生長の様子

高橋格次
長谷川寛司

一 山形県中津川町の
山形県立中津川高等学校

高橋格次
川口長太郎

一 山形県
山形県立中津川高等学校

高橋格次
高山長太郎

一 山形県
山形県立中津川高等学校

高橋格次

一 山形県
山形県立中津川高等学校

一 山形県

高橋格次

一 山形県
山形県立中津川高等学校

出石藩

御用部屋日記

文政

八年

十月

出石町公民館蔵

文政八乙酉年

沖田守

日記

出石藩

十月大

朔日 小西

一 例刻出仕

一 大教極野間上沙下 茲有當日沙後條
依由上以中納戶上者也

一 津子極方上當日沙後條中同之也

一 先月中沙家中人引増減書家門家以家
一 後上上沙月人上者也

一 上後砲打先先月中遊上之也
如日付上上打局書家

一 日南野卷上家
高笑上上

如小姓
如刺人

一 上月人上

實方足松平伯者家沙中
久保一上上上上上上上上上
上上上上上上上上上上上上上
上上上上上上上上上上上上上

大室上上

一 上月人上

依組上上上上上上上上上
上上上上上上上上上上上上上

高橋上上
上上上上上上上上上上上上上

一 同並

昨日上上上上上上上上上上上上上
上上上上上上上上上上上上上上上上上

上上上上上上上上上上上上上
上上上上上上上上上上上上上上上上上

一 柳上上

上上上上

上上上上上上上上上上上上上上上上上

一 戶之通切 活月部 全 長 的 日 檢 見 設 者
今 非 能 中 楚 以 月 黃 湯 之

但 檢 見 設 者 今 在 於 新 檢 見 設 今 在 於 新 檢 見 設

三月組

北後 部

町合 山 組

山 組 檢 見 設 者

今 在 於 新 檢 見 設

山 組 檢 見 設 者

今 在 於 新 檢 見 設

山 組 檢 見 設 者

今 在 於 新 檢 見 設

山 組 檢 見 設 者

今 在 於 新 檢 見 設

山 組

山 井 檢 見 設 者

今 在 於 新 檢 見 設

山 井 檢 見 設 者

今 在 於 新 檢 見 設

志 沙 月 部 全 長 的 日 檢 見 設 者

今 非 能 中 楚 以 月 黃 湯 之

山 組 檢 見 設 者

明 二 日 檢 見 設 者

今 非 能 中 楚 以 月 黃 湯 之

山 組 檢 見 設 者

中 楚

山 井 檢 見 設 者

今 在 於 新 檢 見 設

山 井 檢 見 設 者

今 在 於 新 檢 見 設

山 井 檢 見 設 者

三 女 九 鬼 之 多 檢 見 設 者
今 非 能 中 楚 以 月 黃 湯 之
山 組 檢 見 設 者
今 在 於 新 檢 見 設

吾知及主候
以事人急候

山崎
西山公彦

本當月月者相前是山國付。兼可中道
眼目。少後。到。少。然。中。道。乃。是。月。主。是。候
忠。入。事。人。在。候。是。相。同。古。之。通。目。人。急。候。者
也。

山崎
西山公彦

本當月月者相前是山國付。兼可中道
眼目。少後。到。少。然。中。道。乃。是。月。主。是。候
忠。入。事。人。在。候。是。相。同。古。之。通。目。人。急。候。者
也。

方之通候評候中何也

三ノ家ノ事ノ心持ノ物ト云クモ
段ノ信知ノ事ト云クモ
此候評候ノ事ト云クモ
此ノ事ト云クモ

八木野
堀田金
市右衛門

田代名所
小倉屋
小倉屋

一 江利人達

方之通候評候中何也

山崎
西山公彦

日ノ子
西山公彦

山崎
西山公彦

山崎
西山公彦

同新

中世為諸
故亦其人

所見

日
張也

宜後今也

小御之
其以

二日

休日

淨用向之
淨用解

古有到位何

他家村本臨波身
福氣之區

其或將進為江
其則神祇

岩田靜馬

仙石厚信

一月之而、淨用之、後、乃、名、明、之、日、早、付

中、好、在、五、日、候、在、以、了、候

二心山定三在

梶田武司

橋本強盛在

源元壽在

小林煥藏

增田右海在

二宮清純

清村康吉在

河野源三在

山口順亮

池田中忠

江中理人

廣東省圖
湯子文書

一 吾師周之修之明之台之修之如之
のり法台所て月一後

二 白 少編

一 何則如也 西序原之何也何之如也

一 手書之文極其少也
今之辨之其台之也

他之序也

一 何之也 信信台之何也何之也

一 此信之何也
此信之何也
此信之何也

此信之何也

一 此信之何也
此信之何也

此信之何也

一 此信之何也
此信之何也

此信之何也

一 此信之何也
此信之何也

一 此信之何也
此信之何也

橫山純書

一 此信之何也
此信之何也
此信之何也
此信之何也
此信之何也
此信之何也

梶田武門

一 此信之何也
此信之何也
此信之何也
此信之何也
此信之何也
此信之何也

五代在十
西德帝
出与子

引信及
海王

出先以
修以

形古也
西

出先以
形古也

在西
西

出先以
西

西

博常所

西

西

道言

同门

西

西

西

山林

西

山口

池口

廣

溪

增

高

指

河

西

石高山是之遊記 作并之症相以得最甚哉
在好之遊

以落山出遊記
長路又應門

石定之全情也 作并之症相以得最甚哉
是今亦無以效其法也

引信及

石湖之遊記 作并之症相以得最甚哉

少部也

石嶺之遊記 作并之症相以得最甚哉
作并之症相以得最甚哉

同中連

石湖之遊記

石湖之遊記

石湖之遊記 作并之症相以得最甚哉
曾候之志也

六書
六書
六書

微戶臨物
橫山深處
梳田武月

石一也者入法 作并之症相以得最甚哉

湯首及首

以醫師也
以家法也
以歷中節也
以醫術也

石一也者入法 作并之症相以得最甚哉

月分、辰去、是、一、也、也、
今、秋、ハ、河、野、之、邊、に、於、て、

不日人

右、通、以、年、以、今、一、年、に、用、入、之、後、

湯、谷、友、宅

右、少、座、江、何、月、有、中、用、入、事、可、用、初、年、に、於、て、
少、礼、ノ、通、以、年、以、今、一、年、に、用、入、之、後、

但、先、年、ハ、一、年、に、於、て、用、入、之、後、

何、月、有、中、用、入、事、可、用、初、年、に、於、て、
何、月、有、中、用、入、事、可、用、初、年、に、於、て、

横、山、鶴、切
横、山、鶴、切
横、山、鶴、切

河、野、之、邊、に、於、て、
河、野、之、邊、に、於、て、

河、野、之、邊、に、於、て、

河、野、之、邊、に、於、て、
河、野、之、邊、に、於、て、

河、野、之、邊、に、於、て、

河、野、之、邊、に、於、て、
河、野、之、邊、に、於、て、

横、山、鶴、切
横、山、鶴、切

捕、手

右、如、見、之、以、上、之、人、を、洗、入、之、後、
河、野、之、邊、に、於、て、

横、山、鶴、切

若、結、身

位、辰
但、先、年、ハ、一、年、に、於、て、用、入、之、後、

中、西、之、邊、に、於、て、
大、志、以、之、
河、野、之、邊、に、於、て、

右、如、見、之、以、上、之、人、を、洗、入、之、後、

徳久松太郎

右津川親庵の書、少礼の連津川親庵の

徳久松太郎
志木三郎

右田の

徳久松太郎

書、少礼

右三の書、少礼の連津川親庵の
少礼の連津川親庵の

徳久松太郎
中村宗也

中村宗也

右の書

右の書、少礼の連津川親庵の

徳久松太郎
約丹三郎

約丹三郎

右の書、少礼の連津川親庵の

一 少礼の書

少礼の書、少礼の連津川親庵の

少礼の書

一 体自、少礼の書、少礼の連津川親庵の

徳久松太郎

徳久松太郎
仁不送酒

一 少礼の書、少礼の連津川親庵の

徳久松太郎
少礼の書、少礼の連津川親庵の

二 少礼の書

山日堂

一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志

山日堂

五知之相

山日堂

一 敬之醉外
一 櫻之海雲
一 鏡田武口

一 右江 仙月山月日 瑞草之志 今之志 今之志 今之志
一 右江 仙月山月日 瑞草之志 今之志 今之志 今之志

山日堂

二 友情

川信殿

何豐殿

一 右江 仙月山月日 瑞草之志 今之志 今之志 今之志
一 右江 仙月山月日 瑞草之志 今之志 今之志 今之志

山日堂

仁不送酒

一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志
一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志

一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志
一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志

一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志
一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志

一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志
一 仙洲公仕 一 西津殿之洞山出物之志

- 一 津波中ノ口江川ヨリ申上ル所ノ津波ノ高さは四尺程ありしを傳へ置

津波ノ卷一

津紀略 一

代官ノ御書上
治世ノ世系

但良子也

全二卷

右卷に廿一日ノ時ニ津波ノ高さは四尺程ありしを傳へ置

九月

津波ノ

津波ノ

- 一 右ノ時ニ下ノ高さは四尺程ありしを傳へ置

津波中ノ口江川ヨリ申上ル所ノ津波ノ高さは四尺程ありしを傳へ置

- 一 右ノ時ニ下ノ高さは四尺程ありしを傳へ置

津波中ノ口江川ヨリ申上ル所ノ津波ノ高さは四尺程ありしを傳へ置

- 一 右ノ時ニ下ノ高さは四尺程ありしを傳へ置

津波中ノ

鮮鯛

一箱

津波中ノ

鮮鯛

一箱

津波中ノ

鮮鯛

一箱

津波中ノ

鮮鯛

二反

津波中ノ

鮮鯛 一箱

津波中ノ

一 冊の書物。及通山等終山使志小清の書物

津島家蔵
法華經

千冊 一冊

津島家蔵
山崎家蔵

山崎家蔵 一冊
千冊 一冊

津島家蔵
法華經

千冊 一冊
山崎家蔵 一冊

津島家蔵
法華經

山崎家蔵 一冊
千冊 一冊

一 殿様八ヶ村の津島宛芝林の書物。是等津島給
七ヶ村の津島宛能津島宛書物中

一 女津入の書物有花紙伝成

津島丸 西丸と東丸は九月廿九日津島出立
一より信州日赤館中宛書物

一 松平邦一助信書中平比成り成り有津島
及及及及及同書成り成り成り成り成り成り
津島宛信書有目録一冊

一 津島書物中津島宛書物有津島宛書物
及及及及及同書成り成り成り成り成り成り
津島宛書物有目録一冊
一 西丸の書物

賞

一 盛徳書物中川校有白引紙書物有津島宛
九月中以後の書物有津島宛書物有津島宛書物

本日松山にて西へ候へば松山にて十月十日と云。
舟上りの事も亦此より言はれ候へりとの事あり
此等も亦舟上りの事なりと云はれ候へりとの事あり

一 舟上りの事

公候所松山より舟上りの事なりと云はれ候へりとの事あり
一 舟上りの事
中候所松山にて舟上りの事なりと云はれ候へりとの事あり
舟上りの事なりと云はれ候へりとの事あり
舟上りの事なりと云はれ候へりとの事あり
舟上りの事なりと云はれ候へりとの事あり
舟上りの事なりと云はれ候へりとの事あり

舟上りの事

一 舟上りの事

舟上りの事

舟上りの事

舟上りの事

舟上りの事

舟上りの事

舟上りの事

舟上りの事

舟上りの事
舟上りの事
舟上りの事
舟上りの事

舟上りの事

六日
西津殿上之約也紀名名

永屋集就

西津殿上之約也紀名名
但病也知紅羅殿之也
為名代名也

名在源次

西津殿上之約也紀名名
但病也知紅羅殿之也
為名代名也

十日
集就

一 例列也

一 西津殿上之約也紀名名

鐵挂虎
軍字

海江集就

一 西津殿上之約也紀名名
但病也知紅羅殿之也
為名代名也

一 西津殿上之約也紀名名
但病也知紅羅殿之也
為名代名也

舟車以薄

作八

右店月... 舟車... 伴... 上左親...

右店月

上左親...

右店月... 舟車... 伴...

上左親...

右店月... 舟車... 伴...

上左親...

右店月... 舟車... 伴...

右店月... 舟車... 伴...

上左親...

汗... 舟車... 伴...

十日

休日... 舟車... 伴...

休日... 舟車... 伴...

休日... 舟車... 伴...

上左親...

十一日 晴

一 俗別名江 一 雨川殿之 一 信山網子山

一 山月之堂

一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂

一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂

一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂 一 山月之堂

山月之堂

山月之堂

山月之堂

山月之堂

山月之堂

山月之堂

山月之堂

山月之堂

一 山月之堂

山月之堂

山月之堂

一 山月之堂

山月之堂

一 山月之堂

山月之堂

山月之堂

山月之堂

山月之堂

坪井村
 袴使村
 口山此村
 栗山此村
 田多此村
 安良村
 上浦山此村
 下浦山此村
 香住村
 立石村
 栗尾村
 之尾村
 實尾村
 栗山此村
 松尾村

右村名

元正位平均下

高六千武局此後在

伊山 山此後在

此後在三千九珍之七斗之此後在

但 高八倍之七斗之此後在

七斗之此後在

高六斗年涉此後在

系

高六斗九倍在

高六斗云在

高六斗
 高六斗
 高六斗

十月

丹後縣能登

善原村

菅原村

橋元村

海士村

願言

米百七拾石五斗中亦非常

内

公積金計半中亦以金之數

此以積金之年亦亦 亦以金之

一 殿推事編組松平安黨身殺津野

不カシ痛海、津野約、部為海、名之三倉度、

中守無以、津野自、中守、津野、中守、中守

一 左ノ部、所分、下、中、組、松、平、中、守

又、中守、津野、津野、津野、津野、津野

年、期、是、津、野、津、野、津、野

左ノ部、津野

中ノ部、津野

右ノ部、津野

津野、津野

津野、津野

津野、津野

十二月

一日 西津殿より国中へ廻り出で給ふ

十二日 晴

一日 俗別事

岩田輝馬

西津殿より国中へ廻り出で給ふ

一日 武目より出立給ふ

坂田重隆

一日 寺社より出立

久手重

一日 寺社より出立
寺社より出立給ふ

後田重隆

一日 寺社より出立
寺社より出立給ふ

石田重隆
中津重隆

寺社より出立
寺社より出立給ふ

一、江和草所達

荒榛見古道了也

如不野合

ありて村

野合

寺野合

野合

野合

六ヶ村

毛上住平地りい上

清 千七元拾七半中半中合

本田相屋友
麻田新野合

廿七元八拾八半中半中合

百端中半中半中合

井田友介

但 計百於中半中合

後見下り

外 拾七元七半中合

申下り

一 原拾七元中

六ヶ村中合

三三三三三三三三三三

皆奉行

下り

細見村

荒本村

多拾村

後湯村

表井村

中合村

丸合村

大谷村

行進村

福和村

治村

下拾元村

毛上住平地中一甲

三三三三三三三三三三

本田相屋友
麻田新野合

廿七元七半中合

二百八元八半中合

川場友介

但 二百九元八半中合

後見下り

七拾九元九半中合

申下り

外

一 裁捨案

一 口沙

一 高麗...

此...

...

...

十日 收信

一 休日 西河...

一 乃 南濟...

...

...

十日 雲

一 出仕前一統 西河...

...

但今日...

例別...

一 同以有部卷上卷末

水小坡人

一 冲子做方口音变如鸟音变如志云云

一 乃之通言 何曾音切 於沙用韵卷一

和先之相疏作
四如直字以

太田卷是

中善柄字以作
勤方是云云

阿合通韵

中使音律

固以侍舒

勤於字百之徐音云云

亮字音音

与修又音

中起音云

月音 山部音

右周上左侍中少卿等字以 何曾字音云云

月音 勤是音

右云波推之惠太田卷是史古勤是推以

中直音人

右惠字又属山音云云

西山音

右推之惠音云云 右音云云 右音云云

津用之儀非名
月後十七日與所
出紅銀一、後名
亦取在行、後

如定取
引後及
地力及
中代更
平物定
器處收

同上下等第

本按親王 伊賀作爲奉旨十九日與所奉
下後、名法合、自中局、行、全、以、後

誠及航
軍學

後、仁、德、也

引中、自、言、奉
各、代
後、年、三

本、中、半、以、外、力、能、少、何、意、二、三、也、引、中、行、也、
為、向、本、在、自、本、區、中、格、例、出、本、人、何、門、
費、其、左、人、二、三、間、中、地、本、長、尾、海、北、
三、後、和、後、

但、高、者、名、何、一、最、引、列、區、及、核、核、也、各、各、
中、也、各、各、

乃、事、也、

本、大、書、院、二、一、間、本、在、長、尾、月、者、二、三、法
間、本、在、長、尾、月、人、上、在、北、北、上、場、

本、在、北、北、及、其、後、
本、在、北、北、及、其、後、

本、在、北、北、也、

本、上、日、清、用、者、津、用、之、送、中、後、也、各、
本、在、北、北、及、其、後、
本、在、北、北、及、其、後、
本、在、北、北、及、其、後、

十六日

休日 西津殿より、何事も細く、

渡辺信隆、係、病氣、知、以、
津島、心、修、養生、上、難、在、后、何、合、否、
津島、恩、津、港、申、上、夜、各、末、期、三、日、申、並、夜、中、也、

江戸表、當月六日、古、以、区、役、相、甚、矣、

殿、様、甚、矣、上、三、様、益、津、極、謙、語、も、合、在、
都、を、津、別、系、一、書、津、在、當、中、年、未、出、申、而、在、也、

九月廿七日、
夕、七、時、不、相、夕、信、意、甚、矣、仙、名、三、計、別、也、以、也、
多、才、得、其、意、乃、在、也、自、自、相、并、快、也、其、三、人、也、
信、意、甚、矣、也、通、津、如、其、事、也、又、表、上、信、意、甚、矣、也、

石井元左

昨日、公、世、之、通、市、之、人、各、各、病、者、以、也、
中、一、不、相、也、一、信、意、甚、矣、也、
此、化、之、意、也、也、
先、之、信、意、甚、矣、也、
信、意、甚、矣、也、
信、意、甚、矣、也、
信、意、甚、矣、也、

一、公、之、自、序、一、知、一、中、信、入、以、信、也、
一、市、之、通、也、

何、之、也、
但、信、意、甚、矣、也、
三、及、之、信、意、甚、矣、也、

但、信、意、甚、矣、也、
信、意、甚、矣、也、
信、意、甚、矣、也、

信、意、甚、矣、也、
信、意、甚、矣、也、
信、意、甚、矣、也、

本自以

再展
後之在年也

方之史後

作之史後

辛費
竹村之命

常所及之史後

但所及之史後
於國平於之史後
於所及之史後

之及之史後

本中
後之史後

何之史後

後之史後

何之史後

後之史後

一於之史後

何之史後

何之史後

何之史後

何之史後

何之史後

何之史後

何之史後

一於之史後

何之史後

何之史後

一於之史後

何之史後

何之史後

一於之史後

何之史後

何之史後

何之史後

何之史後

一 昨日津山縣津野に於て是處に同族の子有るを以て
高城と云ふに及んで其の姓を以て其處を高城と云ふ
と云ふ事也

一 口名
高城と云ふ

今般津山縣津野に於て
高城と云ふ

一 口名

仙石と云ふ

右 津山縣津野に於て是處に同族の子有るを以て
高城と云ふに及んで其の姓を以て其處を高城と云ふ
と云ふ事也

一 津山縣一

右 仙石

右 仙石

津山縣津野に於て

仙石と云ふ

一 口名
仙石と云ふ

今般津山縣津野に於て
高城と云ふ

仙石と云ふ

右 仙石

仙石と云ふ

一 高城と云ふに及んで其の姓を以て其處を高城と云ふ
と云ふ事也

一 口名

仙石と云ふ

右 仙石と云ふに及んで其の姓を以て其處を高城と云ふ
と云ふ事也

一 口名

仙石と云ふ

右 仙石と云ふに及んで其の姓を以て其處を高城と云ふ
と云ふ事也

津山縣津野に於て

一

右形 友成屋有後

大形屋 一 津島一也也

右田人

一

右形 友成屋有後

右形 友成屋有後

津島一也也

右田人
四月廿五日
津島一也也

一

右形 友成屋有後
津島一也也

右形 友成屋有後

右田人

一

右形 友成屋有後

右田人

道音流

右田人

右形 友成屋有後
津島一也也

右形 友成屋有後

津島一也也

道音流

右田人

一

右形 友成屋有後
津島一也也

右形 友成屋有後

右田人

右形 友成屋有後

沖田の... 何れは...

右目人

右目 沖田...

右目 沖田...

山小...

山小...

右目...

今...

今...

少...

少...

右目...

右目...

右目...

右目...

本...

一 沖田...

中年...

中年...

一 沖田...

一 沖田...

定...

定...

右目...

右目...

一

宣統元年

本定府為引鐵以 津海通商口岸設局

宣統元年

不勞而食有餘 津海之間

津浦鐵路 仰有海河口岸設局

宣統元年

本國以自出產院

津浦鐵路 仰有海河口岸設局

宣統元年

宣統元年

宣統元年

一 津浦鐵路 仰有海河口岸設局

津浦鐵路 仰有海河口岸設局

十月十日

田安府津浦鐵路 仰有海河口岸設局

十月十日

大月十日

田安府津浦鐵路 仰有海河口岸設局

十月十日

大月十日

津浦鐵路 仰有海河口岸設局

十月十日

十七日收店

一 收到仕 西津殿 小納戸 津代名 津代名

一 大取極 津代名 津代名 津代名

一 所用入仕 一昨日昨日之出納 津代名 津代名 津代名

一 所用仕 所用仕 所用仕 所用仕

當月十二日揚取仕 揚取仕 揚取仕 揚取仕

一 所用仕 所用仕 所用仕 所用仕

今般園口在侍所出納仕 所用仕 所用仕 所用仕

右月所用仕 所用仕 所用仕 所用仕

所用仕 所用仕 所用仕 所用仕

者一回二回... 並其... 部全後... 淨... 通...

今致國... 以... 但... 伊... 伊...

母子... 醫... 田... 伊...

山歌... 伊...

右丹生... 伊... 伊... 伊...

澄文三通... 伊...

伊通... 伊...

田安極... 伊... 伊... 伊...

支... 伊...

十月十七日

山田... 伊...

山... 伊...

一... 一... 一... 伊... 伊... 伊...

櫻井... 伊...

太... 伊... 伊... 伊...

仙若針毒... 生功... 為面... 汗... 汗...

改此...

十八日

休日

汗...

西...

古...

比...

若...

与...

山...

汗... 但... 汗...

若... 汗...

山...

古... 但... 汗...

若...

十九日

山...

汗... 汗...

汗... 汗... 汗...

沙州... 通... 今... 物... 港...

一... 通... 者... 自... 自... 以... 後

一 通者...

一... 通... 者... 自... 自... 以... 後

一... 通... 者... 自... 自... 以... 後

一... 通... 者... 自... 自... 以... 後

先... 同... 感... 文

一... 通... 者... 自... 自... 以... 後

一... 通... 者... 自... 自... 以... 後

一... 通... 者... 自... 自... 以... 後

一... 通... 者... 自... 自... 以... 後

一 山... 村... 首... 末...

山... 村... 首... 末... 一... 村... 五... 里... 之... 云... 彼... 世... 遠... 矣... 矣...

一 山... 村... 首... 末...

山... 村... 首... 末... 一... 村... 五... 里... 之... 云... 彼... 世... 遠... 矣... 矣...

一 山... 村... 首... 末...

山... 村... 首... 末... 一... 村... 五... 里... 之... 云... 彼... 世... 遠... 矣... 矣...

一 山... 村... 首... 末...

山... 村... 首... 末... 一... 村... 五... 里... 之... 云... 彼... 世... 遠... 矣... 矣...

日... 古... 今...

日... 古... 今...

多... 居... 相...

新... 所... 運... 入...

山... 村... 首... 末...

山... 村... 首... 末...

山... 村... 首... 末...

日 古
日 古

丹後 古
津後 古

志山是
志山是
志山是

志山是
志山是
志山是

志山是
志山是
志山是

一 山月入道

一 山月入道
一 山月入道
一 山月入道

一 山月入道

一 山月入道

一 山月入道
一 山月入道
一 山月入道

一 山月入道

一 山月入道

一 山月入道
一 山月入道
一 山月入道

一 山月入道

一 山月入道
一 山月入道
一 山月入道

廿一日 晴

一 信列社 西津殿 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持
寺名 信行 年 號 永正
此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 通平 信行 寺 名 小網戸 寺
此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

一 信行 寺 名 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

此寺是平八右衛門奉公為其惣持

一 信行 寺 名 小網戸 寺

一 淨引系世運在命

女二百

一 休日 西津殿之 國山小納戸止

一 中教書以蓮

二 延平八

年劫是禁烟
大石中物靈石山故月自是故以書寫之云云
云云如也淨引系世運在命

女三百

一 休日 西津殿之 國山小納戸止

淨引向多之云云

仙石造酒

一 休日 西津殿之 國山小納戸止

淨引向多之云云

一 休日 西津殿之

淨引向多之云云

仙石造酒

一 休日 西津殿之 國山小納戸止

西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡

古田山

西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡

古田山

古田山

西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡

仙石山

仙石山

西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡

古田山

西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡

仙石山

西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡
西津渡 西津渡 西津渡

仙石山

在河以表 冲急難之名沙堤

一 殿極小

山月堂
山及人

九月以

一 涉法 獲身 正法 如無 有

一 西津殿 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 山歌 寺仍 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 友在 寺仍 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 友在 寺仍 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 友在 寺仍 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

此之六

名後年中 涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

涉法 獲身 復回 山對 負近 寺

一安於其後方不事於其前也

廿六日 晴

一休日 西津殿少人 園中小徑

廿七日 晴

一休日 西津殿少人 園中小徑

一昨日少人 園中小徑

梅井良苑

一不涉小書院 以波海釋其

張望

少人

一昨日少人 園中小徑

昨日少人 園中小徑

梅井良苑

廿八日

休日

昨日少人 園中小徑

昨日少人 園中小徑

山田禪寺

昨日少人 園中小徑

仙石良苑

以冲后物通官为江新之名以礼
中后物之名以礼为名以礼为名
文以礼为名

女九日 初昏

何利社 西津殿 何物 通官

高后物通官 何物 通官
何物 通官

何物 通官 何物 通官

何物 通官 何物 通官

何物 通官 何物 通官

何物 通官

何物 通官

何物 通官

何物 通官 何物 通官

何物 通官 何物 通官

何物 通官

何物 通官 何物 通官

何物 通官

何物 通官 何物 通官

何物 通官

何物 通官 何物 通官

何物 通官 何物 通官

人亦以相向者有方之通目之至也乃其國

增

一 休 日 為 濟 敵 之 國 也 小 何 也 故

出石藩

御用部屋日記

文政

八

年

十一

月

出石町公民館蔵

文政八乙酉斗

十月

日記 仙石五郎

十一月小

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

冲平会

火消

丹心

西山園在

定規

定規

定規

相

一 後世在在

一 津海自長 津自是書下沙校

年

一 應承津係但自內物以爲海沙校後

一 是又攻其堵校沙新造校以爲常沙校後

一 尸之沙校中一以校造行自一復

道教

一 俗利中在

一 津子極方不盡日沙校後

一 應承津係但自內物以爲海沙校後

一 是又攻其堵校沙新造校以爲常沙校後

一 不同中在是也自尸之

老日沙校後

一 應承津係但自內物

一 是又攻其堵校沙新

一 津用尸之也自尸之

沙校後
一 應承津係但自內物

一 道入在

一 應承津係但自內物以爲海沙校後

一 是又攻其堵校沙新造校以爲常沙校後

一 不及而云

此處之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

此處之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

右之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

此間之種種如海濱

此處之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

右之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

右之種種如海濱

右之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

右之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

右之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

右之種種如海濱
沙洲之種種如海濱
此間之種種如海濱

此間之種種如海濱

二日 姓信

一休

三冲服 同中冲服 一信

一火服 冲服 冲服 冲服 冲服 冲服

冲服

一今日 冲服 冲服 冲服 冲服 冲服

三日 姓信

一信

冲服 冲服 冲服 冲服 冲服

一冲服 冲服 冲服 冲服 冲服

冲服 冲服 冲服 冲服 冲服

冲服 冲服 冲服 冲服 冲服

全冲服

冲服

冲服

冲服

冲服

冲服

冲服

冲服

一今日 冲服 冲服 冲服 冲服 冲服

冲服

己卯 (1881)

昨日一、二、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、十三日、十四日、十五日、十六日、十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、

同日

本日一、二、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、十三日、十四日、十五日、十六日、十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、

昨日一、二、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、十三日、十四日、十五日、十六日、十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、

昨日一

昨日二

昨日三
昨日四
昨日五
昨日六
昨日七
昨日八
昨日九
昨日十
昨日十一
昨日十二
昨日十三
昨日十四
昨日十五
昨日十六
昨日十七
昨日十八
昨日十九
昨日二十
昨日二十一
昨日二十二
昨日二十三
昨日二十四
昨日二十五
昨日二十六
昨日二十七
昨日二十八
昨日二十九
昨日三十
昨日三十一

己卯 (1881)

昨日一、二、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、十三日、十四日、十五日、十六日、十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、

昨日一

昨日二

昨日三
昨日四
昨日五
昨日六
昨日七
昨日八
昨日九
昨日十
昨日十一
昨日十二
昨日十三
昨日十四
昨日十五
昨日十六
昨日十七
昨日十八
昨日十九
昨日二十
昨日二十一
昨日二十二
昨日二十三
昨日二十四
昨日二十五
昨日二十六
昨日二十七
昨日二十八
昨日二十九
昨日三十
昨日三十一

昨日一、二、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、十三日、十四日、十五日、十六日、十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、

己卯 (1881)

昨日一

昨日二

一 仙居... 不... 仙居...

二 仙居...

三 仙居...

四 仙居...

五 仙居... 仙居...

六 仙居...

七 仙居...

八 仙居... 仙居...

九 仙居...

十 仙居...

十一 仙居... 仙居...

十二 仙居...

十三 仙居...

十四 仙居...

十五 仙居...

十六 仙居... 仙居...

十七 仙居...

十八 仙居... 仙居... 仙居...

付
一 系三石

一 目三石

一 田三石

一 田三石

右 甲子所 年功

系三石

系三石

一 系三石

但 甲子所 年功 二五七下 為至信

法七石六石

法七石三石下

日七石五石下

日七石三石

日七石五石

法七石三石下

六石

休下

一 山 院 極 沙 之 田 忌 法 相 意 法 高 日 系 石

一 山 院 極 沙

一 山 院 極 沙

一 大 殿 極 石 何 法 極 意 法 高 日 系 石

一 山 院 極 沙

一 山 院 極 沙

一 山 院 極 沙

一 山 院 極 沙

一 山 院 極 沙

右 今 期 抄 每 一 石 五 石 五 石

七日 姓名

佐野 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

松井 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

一 田村 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

右の汁小書況より係録に記述あり

右の汁小書況より係録に記述あり

一 田村 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

宇崎 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

田村 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

右の汁小書況より係録に記述あり

一 田村 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

松本 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

右の汁小書況より係録に記述あり

右の汁小書況より係録に記述あり

長谷川 忠

右の汁小書況より係録に記述あり

口口口口口

天合印

三行村

保勤字

本天合部之南也村名古寺之信台
物年系第仁之也之私今供具中
熱改之也丹故德野部丁之村能
年之字實道信信成仁部之也之
相改之也中一也代之也相改之也
之之之領河之也之也之也

大園字

者也之也沙部之也之也之也

今供流右仁地信信成流自之也
与書檢中一應改之也相改之也
相改之也右信部之也之也之也
信之也中改

八口書

体口

一 西行殿之向也小信之也

一 是道信檢打之也

少幼年所一述

兵合部

三河村

休幼年

右兵合部之兵位村長官等之信言
據云兼市任了少幼年之令快早熱
後之三月後進所記了村長等
實道信位感信言官等之書也
相與之年中一也及之相與之友
後之一年一也及之相與之友

一日述

大國年

右兵合部之兵位村長官等之信言
今放治長仁出信位感信言官等
書程中熱後之三月後進所記了
碩名右信言官等之書也
中後

八日書

休

一 休
一 休
一 休

九月 叔信

何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何

何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何

何 何 何 何

何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何

是這法珍也一六下八

法法一六

一六下下場

一六下下場

一六下下場
一六下下場
一六下下場

是這法珍也一六下八

法法一六

一六下下場

一六下下場

一六下下場
一六下下場

是這法珍也一六下八

法法一六

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場
一六下下場

是這法珍也一六下八

一六下下場

法法一六

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場

一六下下場

と甘んじんとて一理一或今此の
物も人の心も此の心も此の心も
相成りて相成りて相成りて相成り
とて此の心も此の心も此の心も
此の心も此の心も此の心も此の心も
此の心も此の心も此の心も此の心も
此の心も此の心も此の心も此の心も
此の心も此の心も此の心も此の心も
此の心も此の心も此の心も此の心も

十月九日

佐々木

〓

此の心も此の心も此の心も此の心も
此の心も此の心も此の心も此の心も

一 右の心も此の心も此の心も此の心も
一 此の心も此の心も此の心も此の心も

十日

一 休

一 此の心も此の心も此の心も此の心も

物海言はば此の心も

此の心も

以冲后服也子信
常明也慈心也

一海心也

十日晴

例別也

一冲后服也子信

以冲后服也子信

以冲后服也子信

以冲后服也子信

一海心也

一海心也

一海心也

一海心也

右为见下付也公大少说二一以言也

回所二一以言也

三二二言也

之序也

但此月八日也

冲后服也子信

一海心也

右回門後方也

部也

一海心也

右久書院二一以言也

公亦好以事為己... 用者為己

一 田記

名之... 田記

心... 田記

一 田記

一 田記... 田記

利... 田記

一 田記... 田記

一 田記... 田記

一 田記

一 田記... 田記

一 田記... 田記

一 田記... 田記

一 田記... 田記

一 田記... 田記

一 田記... 田記

田記

田記

田記

日

費

公同大出
中世大出

右大出...

十日...

十日...

十日...

右大出...

十日...

十日...

十日...

右大出...

右大出...

右大出...

十日...

十日...

十日...

十日...

右大出...

十日...

十日...

十日...

右大出...

右大出...

右大出...

右大出...

右大出...

右大出...

右大出...

右大出...

右大出...

右大出...

1. 1950年10月1日

2. 1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日

1. 1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日

1. 1950年10月1日
1950年10月1日

1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日

1950年10月1日

1950年10月1日

1950年10月1日

1. 1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日

1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日

1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日

1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日

1950年10月1日
1950年10月1日
1950年10月1日

1950年10月1日

1950年10月1日

Handwritten text in Arabic script, top right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in Arabic script, middle right section.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or date.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or date.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or date.

Handwritten characters, possibly '十日'.

Handwritten character, possibly '休'.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten characters, possibly '十日'.

Handwritten character, possibly '休'.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten character, possibly '休'.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

名平の志を以てしるす
部と云ふ事也

名平集

一 山部集の序

山部集の序

十三年の十月の廿二日

一 山部集の序

山部集の序
又と云ふ事也
山部集の序
山部集の序

山部集の序
山部集の序
山部集の序
山部集の序

山部集の序
山部集の序
山部集の序
山部集の序

十一廿十三

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

仙居

系名

法八拾八

右二下取年他

大夏名

日六拾八

神三也

系名

九拾八

所記

下方何之也

但年物之

大夏名

七拾九

但年物

右二下取年他

十拾八

一 係 正沖原之

一 係 正沖原之

正沖原之

正沖原之

正沖原之

正沖原之

正沖原之

正沖原之

正沖原之

正沖原之

西川流

（每）（每）（每）（每）
（每）（每）（每）（每）
（每）（每）（每）（每）

麻

（每）（每）（每）（每）

車

（每）（每）（每）（每）

田

（每）（每）（每）（每）

中

（每）（每）（每）（每）

法

（每）（每）（每）（每）

法

（每）（每）（每）（每）

法

（每）（每）（每）（每）
（每）（每）（每）（每）
（每）（每）（每）（每）

行

十

例

（每）（每）（每）（每）

（每）（每）（每）（每）

（每）（每）（每）（每）

（每）（每）（每）（每）

（每）（每）（每）（每）

（每）（每）（每）（每）

（每）（每）（每）（每）

法

（每）（每）（每）（每）

（每）（每）（每）（每）

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

山崎 徳次郎

先主

中德

总行

市村

平島

少部

市村

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

市村少部... 市村少部... 市村少部...

中山縣人 王季

中山縣人

中山縣人 王季

中山縣人

中山縣人 王季

中山縣人

中山縣人 王季

中山縣人

中山縣人

中山縣人

中山縣人

中山縣人

中山縣人

中山縣人 王季

中山縣人 王季

中山縣人

中山縣人

中山縣人 王季

中山縣人 王季

中山縣人

中山縣人

中山縣人

此乃...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

お

其法法部

父子同也

行东源氏

父子同也

其法法部
父子同也

右印一法中御書之御式御書之御書

福

一 御書之御書

御書之御書

右一法中御書之御式御書之御書

御書之御書

一 御書之御書

御書之御書

御書之御書

御書之御書

一 御書之御書

御書之御書

御書之御書

御書之御書

長園平二
御書之御書

十一日

一 御書之御書

一 御書之御書

御書之御書

大慈輪經卷之

淨修經卷之

一 淨修經卷之

一 淨修經卷之

一 淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

淨修經卷之

秋之長
亦好他之也
西畫師九

一 江之春... 亦好他之也

梅丹之長

右... 亦好他之也

一 亦好他之也

亦好他之也

亦好他之也

亦好他之也

亦好他之也

亦好他之也

十八日

一 亦好他之也
一 亦好他之也
一 亦好他之也
一 亦好他之也

亦好他之也

名方付子以成得正析一様少人
中婦一様至子可也
年速訪名

- 一 名方付子以成得正析一様少人
- 一 名方付子以成得正析一様少人
- 一 名方付子以成得正析一様少人

十九日使信

- 一 例刻如七
- 一 西津屋一田大田
- 一 田大田

- 一 大庭権持
- 一 田大田
- 一 田大田
- 一 田大田

名方付子以成得正析一様少人
中婦一様至子可也
年速訪名

二月一日

名方付子以成得正析一様少人
中婦一様至子可也
年速訪名

一 只 既 既 既

此 故 也 予 之 意 也 故 也
予 之 意 也 故 也 故 也

此 故 也

大 下 之 意 也

一 付 予 之 意 也 故 也

此 故 也 予 之 意 也 故 也

大 下 之 意 也

一 付 予 之 意 也 故 也

此 故 也 予 之 意 也 故 也

此 故 也

一 只 既 既 既

此 故 也 予 之 意 也 故 也

此 故 也

一 只 既 既 既

此 故 也 予 之 意 也 故 也

此 故 也

一 只 既 既 既

Handwritten signature or name at the top right.

Handwritten text block below the top signature.

Handwritten text at the bottom right.

Handwritten text block on the right side.

Handwritten text at the bottom right.

Large handwritten text block in the middle right.

Handwritten text block below the middle right.

Handwritten text block on the left side.

Handwritten text at the bottom left.

Handwritten text at the bottom left.

Large handwritten text block in the middle left.

Handwritten text block on the left side.

Handwritten text block on the left side.

Large handwritten text block on the left side.

Handwritten text block on the left side.

Large handwritten text block at the bottom left.

許子不情此字能

許厚恩愛其友大痴狂語

許信公信古語其性雖存此命也

宋高僧判其友公性其性也

金枝下仁信之性也

許般先以性下以性多故不若也

直攻其性存心也

文及之有年十月廿一

許公年一〇

荒木玄為後

信和道師後

表也釋息後

洵白法由後

信和主計後

書本之也後

政師海之也後

許公年一〇

許公年一〇

許公年一〇

許公年一〇

許公年一〇

許公年一〇

家口餘命存以女
中在在亦未幾相如也
張力之不為中法也

張力不為

女人口

何到如此

何到如此
何到如此
何到如此

何到如此

何到如此
何到如此

何到如此

何到如此
何到如此
何到如此
何到如此

何到如此

何到如此
何到如此
何到如此
何到如此

何到如此

何到如此
何到如此
何到如此
何到如此

石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之
石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之

石之海濱及七海一岸一海之

右
大庭様 此は昔の御書に
計りし事一 然るに

本
白

一 御別紙に 御書に
あり

一 御書に 御書に
御書に 御書に
御書に 御書に
御書に 御書に

一 御書に 御書に

一 御書に 御書に
御書に 御書に
御書に 御書に

一 御書に 御書に
御書に 御書に
御書に 御書に

一 御書に 御書に

本
白

一 御書に 御書に
御書に 御書に
御書に 御書に

有以

仙居

卷下

例別出仕西計處之回中酒心者

梅井長

本程計書流月次海教仕例之通可也

有以

一、取旨心出仕西計處之回中酒心者

如仕出仕西計處之回中酒心者

有以

一、取旨心出仕西計處之回中酒心者

如仕出仕西計處之回中酒心者

如仕出仕西計處之回中酒心者

如仕出仕西計處之回中酒心者

如仕出仕西計處之回中酒心者

如仕出仕西計處之回中酒心者

如仕出仕西計處之回中酒心者

如仕出仕西計處之回中酒心者

有以

仙居

有以

仙居

有以

六十一 卷

一 体

一 西泠殿上青白沙秋后个之纸面出个
言善如

一 清釋之月以通雁下出帝

一 破野溪舟

廿九日

一 西泠殿上出仕前仙名在系沙年壽共
兼仙石在右者所之出寒中何也機嫌中上
御自見被 作甘

但此用高八下上

一 沙字極多
一 沙其字出及人若尔也何也一切沙日都知不
一 定中一何沙極多也上沙用甚多

出石藩

御用部屋日記

文政

八年

十二月

出石町公民館蔵

文政八年

御用部屋

日記

御用部屋

十二月大

致白雲

一 御利在 雲行及 前住清月德宮 仰觀香堂日
一 涉渡成相 涉渡地 涉渡爾 涉渡戶 涉渡家
一 涉子 涉方 涉為 涉可 涉及 涉原 涉野 涉意 涉上 涉下
一 日涉 涉月 涉影 涉如 涉心
涉如 涉心 涉如 涉心
涉心 涉如 涉心 涉如

一 涉心 涉如 涉心 涉如

一 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如

一 涉心 涉如 涉心 涉如

一 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如

一 涉心 涉如 涉心 涉如

一 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

涉心 涉如 涉心 涉如

老舍白也 古有言曰 人老心不老 志氣常如壯年
少兒上進福

二日言

一 休白 之所及 何能納 人之言
一 大 厥極 之 才 財 地 官 之 進 行 也

二日言

一 休利 且 任 西 行 處 何 能 納 人 之 言
一 少 則 人 也

結 實 亦 思 人 處 亦 亦 亦 亦
結 實 亦 思 人 處 亦 亦 亦 亦

久 保 能 為
後 亦 亦 亦

一 休 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

小 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦

一 休 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 休 亦 亦 亦

一 休 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦

一 休 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦
一 休 亦 亦 亦

免定以所
地之及人
代在方
安現主式人

一 昔思以中一何物是身
向來延書力德孝後之
中後本海之

四白

一 西所殿一國以物
經王守
許代言 山石回轉

一 乃一國一材刻
乃刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻

楊地
大原
左回

一 但
但
被中

一 村刻
小
亦

木白
村別場所...
麻...

一 物別出仕
西...

一 物別出仕
...

...

...

...

岩田部

一 村別家...
...

...

一 戸...

...

浦...

...

小...

...

...

...

左田考左史

右村別場所載江載有治平九年

一 右書院一 右書院下 右書院下 右書院下

此載之新 然其是年以四月廿日 故自其年

右書院一 隔之 右書院下 右書院下 右書院下

亦以是年 或人口 帳面 和名 在 作 年

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

右書院下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

但 以 月 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

右書院

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

但 以 月 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

右書院

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

右書院 下 右書院 下 右書院 下

但 以 月 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

右書院 下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

右書院 下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

一 月所 有 右書院 下 右書院 下 右書院 下

非... 一... 正... 法... 和... 志... 浦... 子... 海... 運... 意... 事... 也...
 不... 利... 也... 何... 有... 故... 有... 子... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...
 給... 七... 今... 一... 何... 正... 法... 運... 切... 也... 何... 用... 一... 也... 也... 也... 也...
 則... 凡... 一... 世... 何... 正... 法... 運... 切... 也... 何... 用... 一... 也... 也... 也... 也...
 中... 後... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...
 江... 戶... 春... 夜... 月... 正... 法... 運... 切... 也... 何... 用... 一... 也... 也... 也... 也...
 散... 振... 也... 始... 上... 正... 法... 運... 切... 也... 何... 用... 一... 也... 也... 也... 也...
 山... 列... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...

一 偏... 也... 一... 正... 法... 運... 切... 也... 何... 用... 一... 也... 也... 也... 也...

禮... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...

右... 一... 正... 法... 運... 切... 也... 何... 用... 一... 也... 也... 也... 也...

一 他... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...
 何... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...
 意... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...
 正... 法... 運... 切... 也... 何... 用... 一... 也... 也... 也... 也...
 有... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...
 一... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...

六日

一 休日 西行殿より御領へ出立の儀ありし事

物取の件等産物中
月番の儀あり

可成り
台帳等類

一 少部子行
一 可成り
一 少部目録

少部子
可成り
少部目録

本屋の儀より申付た事所々之儀ありし事
少部目録より申付た事所々之儀ありし事
少部目録より申付た事所々之儀ありし事

七日

一 物利の儀 西行殿より御領へ出立の儀ありし事

物利の儀

一 哲政の儀 西行殿より御領へ出立の儀ありし事

一 能成り

一 少部目録

一 明日より西行殿より御領へ出立の儀ありし事

一 物取の件等産物中

一 月番の儀あり

一 可成り

一 少部目録より申付た事所々之儀ありし事

六日

休日

沙弥白
西行殿白
佛母白

残照

沙弥白
佛母白

柱下

佛母白

山石

九日

佛母白
西行殿白

年
西行殿白

芦花

西行殿白
佛母白

佛母白
西行殿白

佛母白

佛母白

佛母白
西行殿白

佛母白
西行殿白

十日

佛母白
西行殿白

佛母白
西行殿白

西行殿白
佛母白

一 河内... 渡辺...
他病... 自是...
...

十一日

一 伯利... 西... 何...
一 少利人...

一 昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

一 當... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

一 昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

一 昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

一 昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

一 昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

一 昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

一 昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

昭... 昭... 昭...
昭... 昭... 昭...

汗之通

一 藤三右

浪以取七

但此合右之物、九之五下、七之七也

一 大藤三右

浪以取七

但此合右之物、九之五下、七之七也

一 吉田年子持 浪以取七

浪以取七

一 藤三右

浪以取七

一 藤三右

浪以取七

一 藤三右

浪以取七

一 藤三右

浪以取七

浪以取七

浪以取七

汗之通

一 藤三右

浪以取七

浪以取七

但此合右之物、九之五下、七之七也

一 藤三右

浪以取七

但此合右之物、九之五下、七之七也

但此合右之物、九之五下、七之七也

浪以取七

但此合右之物、九之五下、七之七也

浪以取七

但此合右之物、九之五下、七之七也

浪以取七

浪以取七

但此合右之物、九之五下、七之七也

浪以取七

但此合右之物、九之五下、七之七也

但此合右之物、九之五下、七之七也

但此合右之物、九之五下、七之七也

立文在延成王命申不引在成王之子也
心在信修治自有道也 何年

生性非也地没人善治
十和能能修在但于修

右回延秀

一 考厥道也 何年自山同自之也

一 山度回王者也

一 渡也至公部

一 考之通也 何年自山同自之也

一 定系流之何年自之也

一 易年也

一 何年自之也

一 引割甚在也

一 世例甚公部

一 考知不及其故也

一 渡也至公部

一 考自之通也 何年自之也 何年自之也 何年自之也

一 考在十二日 西河教修之 海也探也

一 河初年中也 河探也 考之自當年也

一 河上故也 考之自當年也 河探也 考之自當年也

一 考自之通也 考之自當年也

一 考自之通也 考之自當年也 河探也

一 考自之通也 考之自當年也

一 考自之通也

一 考自之通也

一 考自之通也

一 考自之通也

竹

極松十軒

余

西

北

南

東

西

竹

丹

西

北

竹

西

北

東

竹

信恭院梅汁

竹

西

北

南

東

竹

山田

山田 程助

山田 中徳

山田 宗行

山田 中村

山田 海井

山田 水井

山田 関

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

山田 菅

右取上日 志高在国以

志高在国以

志高在国以 志高在国以 志高在国以

志高在国以

志高在国以 志高在国以 志高在国以

右取上日 志高在国以

志高在国以

志高在国以 志高在国以 志高在国以

右取上日 志高在国以

志高在国以

志高在国以

志高在国以 志高在国以 志高在国以

右取上日 志高在国以

志高在国以

志高在国以

志高在国以

志高在国以

志高在国以 志高在国以 志高在国以

無 聖物

名成之... 聖物... 名成之...

但... 聖物... 但...

小... 聖物...

名成之... 聖物... 名成之...

川口... 聖物...

名成之...

信... 聖物... 信...

小... 聖物... 小...

名成之... 聖物... 名成之...

小... 聖物...

名成之... 聖物... 名成之...

一 山部女子以蓮

武名 品一類

王部山部
劉物部

右之書言那中四日取以時法之よりより出
柳之極久之怪我人亦今之り建村中其
清名白也

十六日

一 佛日 西行殿日何山部

十七日

一 佛日 西行殿日何山部

經王守

大教極 汗代多形能

荒及玄著

中道月 汗念月念少禮蓮 汗能

右之部 蓮之取于其言

改坐海雲

一 山物 以志來甚也蓮

痛身有身水 在胸中其也

蓮部下 石物也

右之部
山物

橋升 山部

右之部 山物 蓮月 吹講 秋仕 何 道 何 也 蓮 蓮

一 山物 入蓮

右之部 蓮 蓮 蓮 蓮

右之部 蓮 蓮

右之部 蓮 蓮

蓮部
右之部
新部

一 体白 西河原白河川小納戸口等處

十八日

一 体白 西河原白河川小納戸口等處
一 体白 西河原白河川小納戸口等處

業合仕合

法師代
同門世話

西河原白河川小納戸口等處
西河原白河川小納戸口等處
西河原白河川小納戸口等處

西河原白河川小納戸口等處

法師代
同門世話

西河原白河川小納戸口等處
西河原白河川小納戸口等處
西河原白河川小納戸口等處

業合仕合

法師代
同門世話

法師代
同門世話

業合仕合

法師代
同門世話

西河原白河川小納戸口等處
西河原白河川小納戸口等處
西河原白河川小納戸口等處

右款字為海島... 亦時給... 許... 後

一 乃... 後

此後

結語

此後... 乃... 後

此後

此後

右田... 乃... 後

此後

此後

右田... 乃... 後

此後

此後

右田... 乃... 後

此姓公命

西川流之野
河增武在
依及在在
山修其之野

名我門者何心在者之原之也修何之也
且也且之修之者何也修何之也
思名之也何自修之也何之也何之也
原之也何之也何之也何之也
何之也

女日

一 体日 西川流之野

女日

一 何利也仕 西川流之野

一 大何也仕 西川流之野

一 小何也仕

此十也也

水也某也

一 少何人也

此十也也

水也某也

此十也也

此十也也

水也某也

水也某也

有而刺之甘之

つ仕所へて自ら女徳を教へて其の徳を
示す事なれば其の徳は人の心に流る也

以て世に

私淑初めは先づ沙収也

沙収とは成るるは子類の品類之通也

作は序示ふ事也

何れも其の徳は仕合ふ事也其の徳は
何れも其の徳は

沙収とは成るるは子類の品類之通也

沙収とは成るるは子類の品類之通也

沙収とは成るるは子類の品類之通也

沙収とは成るるは子類の品類之通也

沙収とは成るるは子類の品類之通也

正 石田神馬の子類の品類之通也

子類の品類之通也

文政八乙酉年十二月廿一日

品類の品類之通也

石田神馬
少年志の通也

石田神馬

夫れは其の徳は先づ沙収也
其後平口徳の徳は先づ沙収也
以て其の徳は先づ沙収也

一 江戸の徳は先づ沙収也
其後平口徳の徳は先づ沙収也
以て其の徳は先づ沙収也

廿二日

一 体日 西行徳は先づ沙収也

一 沙石散沙石也自有其序

荒林之著
仙石之計

女二日

一 仙刻出仕

西行履也何止小細戶也

一 厚道也

作有旨引席之破之也

沙石之子沙石之孫
生此家之也

古伎雅之也

一 笑人甚

忠意之海客也
沙石之子也

沙石勤年

小童之新反沙石未大也

仙之同也

沙石之子也沙石之孫也

女一日

一 体日

西行履也沙石之子也

仙之同也

仙石之子也

仙石之子也

右

大厥後 沙代香也

沙石之子也沙石之孫也

沙石之子也

沙石之子也沙石之孫也
沙石之子也沙石之孫也
沙石之子也沙石之孫也

- 一 佛剎出住 高升殿口 何州州 戶口 家
 一 西門殿 上 沙 解 揭 沙 設 故 紙 回 上 存 止 材 真 地 蓮
 一 何月月蓮

沙路子方計用向身
 生華家上子胡好故能

七 友 雄 之 世

浙路之子善德住今身引移
 沙北十蓮

水 東 九 野 亦

- 一 佛 自 何 州 殿 何 州 州 何 州 州
 一 佛 自 何 州 殿 何 州 州 何 州 州

廿七日

一 佛 剎 出 住 西 門 殿 何 州 州 戶 口 家
 一 何州州 戶口 家

有法藏門才因心者向之免也 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家

一 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家
 何州州 戶口 家

佐恭院極

前書三回忘

忠意院極

前書三回忘

非亮院極

前書三回忘

一 澤川殿の御入道

澤川殿の御入道

澤川殿の御入道

水原、長吉

一 山崎子外道

山崎子外道

一 山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

山崎子外道

近き事なれども又虚実の存亡不常
坐此の世に於ては其の理の不明なる
如くとも其の理の明白なるは其の
理の明なるを以て其の理の明なる
は其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て

其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て
其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て

其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て

二子 石田 安藤

二子 村上 海舟

二子 伊藤 道行

其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て

其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て

其の理の明なるを以て其の理の明
なるを以て其の理の明なるを以て

程之維山後地也

用之山後地 其長約

大筒水堤 山形武田後

山後地後四段人 各年入分五段之

山形之指緒 長約七

山後山形也 長約八

山形 白雲 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約二丈

一 山形山形也 長約七丈 中約山形

一 山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也

一 乃丹也 山形山形也 長約七丈

一 山形山形也 長約七丈 中約山形

其人十二人 也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

山形山形也 長約七丈 中約山形

此後各處之好孫也...
 一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

有...
 一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...

二十

一、...
 二、...

此列...

有...
 一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一 取取... 子... 子...

百十...

作列...

八...

...

...

一 取取... 子... 子...

一 取取...

作列...

八...

廿八...

一 取取... 子... 子...

一 取取... 子... 子...

作列...

八...

...

作列...

一 取取... 子... 子...

沙月書端

但山小書端の白紙の紙袋を綴る事

一山小紙の白紙の紙袋を綴る事

一山小紙の白紙の紙袋を綴る事

一山小紙の白紙の紙袋を綴る事

但玄著の白紙の紙袋を綴る事

一山小紙の白紙の紙袋を綴る事

一山小紙の白紙の紙袋を綴る事

門松礼上納致・進席の白紙の紙袋を綴る事

山来の白紙の紙袋を綴る事

有の白紙の紙袋を綴る事

十二月十八日

山月書中

お取次の白紙の紙袋を綴る事

山月書中

お取次の白紙の紙袋を綴る事

お取次の白紙の紙袋を綴る事

但玄著の白紙の紙袋を綴る事

山月書中

お取次の白紙の紙袋を綴る事

山月書中

お取次の白紙の紙袋を綴る事

お取次の白紙の紙袋を綴る事

山月書中

山月書中

山月書中

山月書中

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

中村八郎

但此花... 是... 中...

一 山... 人...

一 忽... 一 月... 一 月...

未四月上旬出...

小林...

小...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

山...

日... 山...

三夜

初之新修書物其不...

其年...

深

...

合式...

...

...

...

...

廿九日

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

當道王公大臣等... 十二月廿九日

口約中

... 此後...

... 此後...

中西

...

... 此後...

...

中西

...

... 此後...

...

... 此後...

...

...

...

聖父及母

聖母及弟

孫

孫父及母

同姓

中河津村

村方親父

中河津村

同姓親父

中河津村

中河津村

中河津村

姓

中河津村

同姓親父

中河津村

中河津村

大親父

中河津村

同姓

中河津村

中河津村

同姓親父

中河津村

中河津村

中河津村 又中河津村 中河津村 中河津村

中河津村

中河津村 中河津村 中河津村 中河津村

中河津村 中河津村 中河津村 中河津村

中河津村 中河津村 中河津村 中河津村

中河津村 中河津村 中河津村 中河津村

中河津村 中河津村 中河津村 中河津村

山田家

河野少次

廣林玄長

廣橋玄長

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

石井良史

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

石井良史

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

山田家

石原新吉

山田家

石井良史

山田家

山田家

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

山田家

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

一 龍門寺 門前 門左 門右 門前 門左 門右 門前 門左 門右

一 盛雅君存許川移... 此乃... 此乃...

許君存 之二文

一 山田之仲人... 此乃...

山田... 此乃...

一 幸也

始於... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃...

一 台所出火... 此乃... 此乃...

一 但此... 此乃... 此乃...

一 此乃... 此乃... 此乃...

一 此乃... 此乃... 此乃...

一 此乃... 此乃... 此乃...

一 此乃... 此乃... 此乃...

一 幸也

此乃... 此乃...

此乃... 此乃...

一

此乃... 此乃...

此乃... 此乃...

一

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃...

右一也... 流... 入... 上... 也

此... 爲... 人... 爲... 也
故... 爲... 也

右一也... 爲... 中... 人... 也

此... 爲... 也

晦日

一... 何... 也

此... 也

此... 也

一... 也

一... 也

中... 也

法... 也

法... 也

法... 也

法... 也

法... 也

法... 也

但... 也

此... 也

一... 也

此... 也

一... 也

當百年中德川入用此科一會常事每以

一 銀元百貳拾元 亦入用過

二 銀元百貳拾元 亦入用過

三 銀元百貳拾元 亦入用過

四 銀元百貳拾元 亦入用過

五 銀元百貳拾元 亦入用過

三月廿七日 元日 六日 計用者計

十六日 計用者計

何處不取知不友之...

一 西行...